

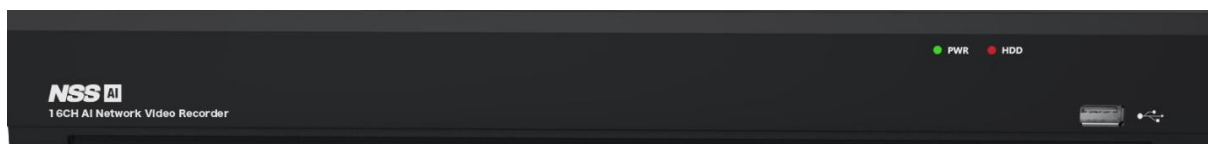


NSV-AI5000 シリーズ

取扱説明書

8/16 チャンネル共通

AI Network Video Recorder Ver.2.0.1



- この度は、デジタルビデオレコーダーをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前にこの取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますようお願い致します。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニター・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

安全上の注意



ご注意:

感電の危険を減らすため、カバー(または背面)を取り外さないでください。
内部にユーザーが修理できる部品はありません。サービス担当者にサービスを依頼してください。



正三角形内の矢印記号の付いた稲妻は製品の筐体内に絶縁されていない“危険な電圧”が存在し、人に感電の危険をもたらす可能性があることをユーザーに警告することを示しています。



正三角形内の感嘆符は、アプライアンスに付随する資料に重要な操作及びメンテナンスの指示があることをユーザーに警告することを示しています。

ご注意:

火災や感電の危険を防ぐため、このアプライアンスを雨や湿気のある場所に置かないでください。

目次

CHAPTER 1 製品概要	11
1.1 リアパネル	11
CHAPTER 2 NVR インストール & 接続	13
2.1 HDD インストール	13
2.2 接続図	14
2.3 電源接続	14
CHAPTER 3 NVR の共通操作	15
3.1 付属マウスの使用	15
3.2 仮想キーボードの使用	15
3.3 パスワード	16
CHAPTER 4 NVR 起動	18
4.1 起動ウィザード	18
4.1.1 起動ウィザード	18
4.1.2 ネットワーク構成	19
4.1.3 日付/時間	20
4.1.4 IP カメラ	22
4.1.5 ディスク	24
4.1.6 解像度	25
4.1.7 モバイル	25
4.1.8 概要	26
4.2 ライブビュー画面の概要	27
4.2.1 カメラクイックツールバー	28
4.2.2 ステータスバー	29
4.2.3 スタートメニュー	29
4.2.3.1 ロック解除とロック画面	30
4.2.3.2 シャットダウン	30
CHAPTER 5 NVR システム設定	32
5.1 チャンネル	32
5.1.1 チャンネル	32
5.1.1.1 チャンネル設定	32
5.1.1.2 ワイヤレスカメラ	33
5.1.1.3 IP チャンネル	33
5.1.1.4 プロトコル管理	35
5.1.1.5 POE 電源	36
5.1.2 ライブ	37
5.1.3 イメージコントロール	38
5.1.4 PTZ	39
5.1.4.1 PTZ 制御	40

5.1.5 ビデオカバー.....	41
5.1.6 モーション.....	42
5.1.7 PIR.....	43
5.1.8 投光(白色 LED).....	43
5.1.9 IVS (Intelligent Video analysis System).....	44
5.1.9.1 LCD (Line Crossing Detection):ラインクロス検知	44
5.1.9.2 SOD (Stationary Object Detection): 静止物体検知	45
5.1.9.3 CC (Cross-Counting):クロスカウント(人数カウント)	47
5.1.9.4 音声検知.....	49
5.1.9.5 映像遮断検知.....	50
5.1.9.6 インテリジェントスケジュール.....	50
5.1.9.7 CC 統計(クロスカウント統計)	51
5.2 録画	51
5.2.1 エンコーダ設定.....	52
5.2.2 録画設定.....	53
5.2.2.1 録画設定.....	53
5.2.2.2 予約録画.....	53
5.2.3 キャプチャー	54
5.2.3.1 キャプチャー.....	54
5.2.3.2 キャプチャー予約.....	55
5.3 アラーム.....	56
5.3.1 モーションアラーム設定.....	56
5.3.2 PIR.....	57
5.3.3 I/O アラーム設定	58
5.3.4 IVS.....	59
5.3.5 PTZ アクション.....	60
5.3.6 システムアラーム	61
5.4 AI	62
5.4.1 顔検出、人&車両検出の設定.....	62
5.4.1.1 顔検出.....	62
5.4.1.2 人&車両検出設定.....	65
5.4.1.3 PID(Perimeter Intrusion Detection) 境界侵入検知機能	67
5.4.1.4 LCD (Line Crossing Detection):ラインクロス検知.....	68
5.4.1.5 CC (Cross-Counting):クロスカウント(人数カウント)	69
5.4.1.6 ヒートマップ(HeatMap).....	71
5.4.1.7 AI スケジュール	72
5.4.2 認証.....	73
5.4.2.1 モデル構成	73
5.4.2.2 データベース管理	74
5.4.3 アラーム.....	77
5.4.3.1 顔認識.....	77
5.4.3.2 マスクの検出	80
5.4.3.3 人&車両検出/PID/LCD/CC.....	81

5.4.4 統計.....	82
5.4.4.1 顔認識統計.....	82
5.4.4.2 人&車両検出.....	83
5.4.4.3 カウント統計.....	83
5.4.4.4 ヒートマップ統計.....	84
5.5 ネットワーク.....	86
5.5.1 一般設定.....	86
5.5.1.1 一般設定.....	86
5.5.1.2 PPPoE.....	87
5.5.1.3 ポート構成.....	88
5.5.2 DDNS.....	89
5.5.3 メール.....	89
5.5.3.1 メール設定.....	90
5.5.3.2 メールスケジュール.....	90
5.5.4 FTP.....	91
5.5.4.1 NVR が画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする。.....	92
5.6 デバイス管理.....	93
5.6.1 ディスク管理.....	93
5.6.1.1 ディスク.....	93
5.6.1.2 S.M.A.R.T.....	94
5.6.2 クラウド.....	95
5.6.2.1 クラウドアカウントの有効化.....	95
5.7 システム.....	97
5.7.1 一般設定.....	97
5.7.1.1 一般設定.....	97
5.7.1.2 日付と時間.....	98
5.7.1.3 出力構成.....	99
5.7.2 マルチユーザー.....	101
5.7.2.1 パスワードの変更.....	101
5.7.2.2 新しいユーザーを追加.....	102
5.7.2.3 ユーザー権限設定.....	103
5.7.3 保守設定.....	103
5.7.3.1 ログ.....	104
5.7.3.2 工場出荷設定読込.....	105
5.7.3.4 パラメーター管理.....	106
5.7.3.4 自動リブート.....	107
5.7.4 IP のメンテナンス.....	107
5.7.4.1 IP カメラアップグレード.....	108
5.7.4.2 工場出荷設定読込(IP カメラ).....	108
5.7.4.3 IPC リブート.....	109
5.7.4.4 パラメータ管理.....	109
5.7.5 システム情報.....	110
5.7.5.1 システム情報.....	110

5.7.5.2 チャンネル情報	111
5.7.5.3 録画情報	111
5.7.5.4 インターネット状態	112
CHAPTER 6 検索、再生&バックアップ	113
検索機能を使用する	113
6.1 検索 - 全般	115
6.2 検索 - イベント	116
6.3 検索 - 時間帯(SUB-PERIODS 再生)	119
6.4 検索 - スマート	120
6.5 検索 - スライス	122
6.6 検索 - 画像	123
6.7 検索 - IVS	126
6.7.1 顔検索 & 再生	126
6.7.2 人&車両 検索	131
6.7.3 再訪問者	132
6.7.4 顔の出席	133
6.8 フィルター	135
6.8.1 フィルターツールボタン	135
6.8.2 フィルターツール統計	136
CHAPTER 7 ウェブクライアントによるリモートアクセス	138
7.1 システム環境条件	138
7.2 ウェブプラグインのダウンロードとインストール	139
7.3 ビューア操作	140
7.3.1 ライブインターフェース	140
7.3.2 再生	142
7.3.2.1 再生検索	143
7.3.2.2 再生コントロール	145
7.3.3 リモート設定	146
7.3.4 現地設定	147
CHAPTER 8 APPENDIX	148
8.1 トラブルシューティング	148
8.2 使用メンテナンス	149

免責事項

- このマニュアルの情報は、現在正確で信頼できるものと考えられています。ここに含まれる情報は予め通知なく変更されることがあります。このような変更を反映するため、本書の改訂または新版を発行されるかもしれません。
- ネットワークビデオレコーダー、ソフトウェア、ハードドライブ、パーソナルコンピューター、周辺機器、未承認/サポートされていないデバイスの誤操作または誤動作によるデータの破損、損失については保証しません。

警告

- 風抜きやアウターケーシングのスロットを覆わないでください。機器の過熱を防ぐには、風抜きとスロットの周囲に少なくとも2インチの空間を確保してください。
- 金属部品をスロットに落とさないでください。ネットワークビデオレコーダーに永久的な損傷を与える可能性があります。すぐにNVRの電源をオフにするか、電源コードを電源コンセントから抜きます。機器の販売代理店によって承認されたサービス担当者に連絡してください。
- このガイドで説明されていない機器の部品を分解または改造しないでください。分解または改造すると、高電圧の感電を引き起こす可能性があります。機器の販売代理店によって承認されたサービス担当者が内部検査、変更、修理を行う必要があります。
- 装置から煙や有毒ガスが発生した場合は、直ちに操作を停止してください。火災・感電の原因となります。すぐにNVRの電源を切り、電源コンセントから電源ケーブルを取り外します。煙と煙の排出がなくなったことを確認してください。NVR販売店にご相談ください。
- 重いものを落としたり、ケースが破損したりした場合は、操作を中止してください。ぶつけたり振ったりしないでください。火災・感電の原因となります。すぐにNVRの電源をオフにするか、電源コードを電源コンセントから抜きます。NVR販売店にご相談ください。
- 機器を水やその他の液体に接触させたり、水に浸したりしないでください。内部に液体が入らないようにしてください。NVRは防水されていません。外部が液体や塩気に触れた場合は、柔らかく吸収性のある布で拭いてください。水やその他の異物が内部に入った場合は、すぐにNVRの電源を切るか、電源コードを電源コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。NVR販売店にご相談ください。
- アルコール、ベンゼン、シンナー、またはその他の可燃性物質を含む物質を使用して、機器の清掃やメンテナンスを行わないでください。これらの物質を使用すると、火災を引き起こす可能性があります。定期的に乾いた布を使用して、デバイスに溜まったほこりや汚れを拭き取ります。ほこりっぽく、湿るまたは油っぽい環境では、長時間にわたって換気または外部ケーシングのスロットの周りに集まるほこりが湿気で飽和して火災を引き起こす可能性があります。

- 電源コードを切断、損傷、改造、または電源コードの上に重いものを置かないでください。これらの行為で電氣的短絡を引き起こし、火災または感電につながる可能性があります。
- 濡れ手でデバイスや電源コードを触れないでください。濡れ手で取り扱うと感電の原因となります。コードを抜くときは、プラグのしっかりした部分を持ってください。コードの柔軟な部分を引っ張ると、電線や絶縁体が損傷したり露出したりして、火災や感電を引き起こす可能性があります。
- 推奨する電源部品のみ使用してください。この機器に推奨されていない電源を使用すると、過熱、機器の歪み、火災、感電、またはその他の危険が発生するかもしれません。
- バッテリーを熱源の近くに置いたり、直火や熱に身をさらさないでください。それらを水に浸してはいけません。このような露出はバッテリーを損傷し、腐食性の液体の漏出、火災、感電、爆発、または重傷につながる可能性があります。
- バッテリーを分解したり、改造したり、加熱しないでください。爆発による重傷のおそれがあります。バッテリーの内部の内容物と接触する目や口、衣服を含め、すべての身体の部位を直ちに水で洗い流してください。目や口がこれらの物質に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、医療専門家の診療を受けてください。
- バッテリーを落としたり、ケースを損傷するような激しい衝撃を与えたりしないでください。露出や負傷の原因となります。
- バッテリー端子をキーホルダーなどの金属物で短絡させないでください。過熱、やけどなど負傷の原因となります。
- 提供された電源装置と電源コードは、ネットワークビデオレコーダー専用設計されています。他の製品や電池には使用しないでください。火災などの危険があります。

ご注意

- 指定された温度、湿度、または電源定格を超えて機器を操作しないでください。高温または高湿度の環境で機器を使用しないでください。+ 0° C+ 40° C(32° F-104° F)内の温度および90%未満の湿度でデバイスを使用します。このデバイスの通常の動作電源はDC12V 50 / 60Hzです。

誤動作の防止

- 強い磁場を避けてください。NVRを強力な電磁場を生成する電気モーターまたはその他の機器の近くに配置しないでください。強い磁場に露出すると、誤動作や画像データの破損を引き起こす可能性があります。
- 結露に関連する問題を避けてください。機器を高温と低温の間で急速に動かすと、その外部と内部の表面に結露(水滴)が発生する可能性があります。再密封可能なビニル袋に機器を入れ、温度変化にゆっくりと調整して袋から取り出しますとそのような問題を防止できます。
- ネットワークビデオレコーダー内で結露が発生した場合、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、機器が破損することがあります。コンセントから電源コードを抜き、水分が完全に蒸発するまで待つてから使用をしてください。

規制

FCC Compliance (遵守事項): この装置は FCC 規則のパート 15 に基づいてテストされ、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠しています。これらの制限は、機器が商業環境で操作された場合に有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。この装置は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用されていない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの機器を操作すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。



NOTE: 製造者はこの機器に対する許可されていない変更によって引き起こされたラジオやテレビの干渉については責任を負いません。そのような変更は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にすることができます。

CAUTION

- バッテリーが不適切なタイプに交換された場合、爆発の危険があります。使用済みバッテリーは、指示に従って廃棄してください。
- コンセントは機器の近くに設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。

パッケージ内容

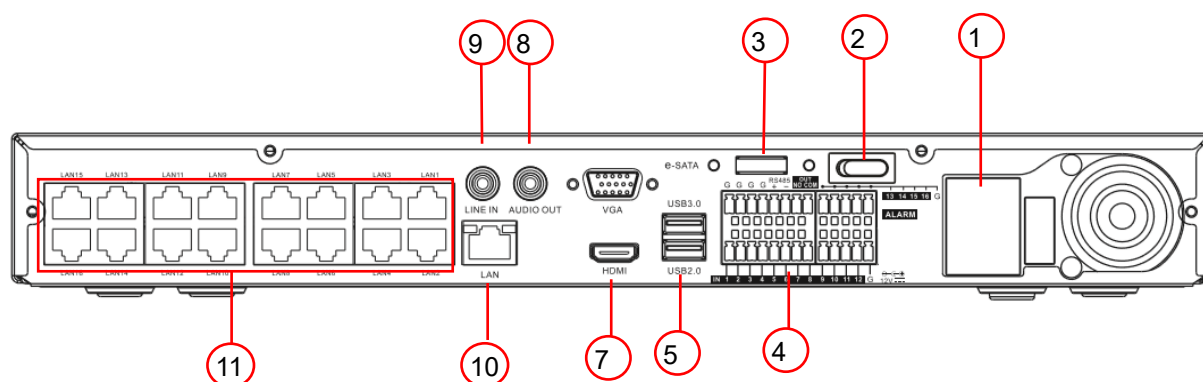
パッケージと内容物に破損、不足がないか確認してください。部品が破損または不足している場合は、直ちに販売店に連絡してください。

内容	数量	備考
ネットワークビデオレコーダー	1 ユニット	
ユーザーマニュアル & クライアントソフトウェア CD	1	
ユーザーマニュアル(冊子)	1	
電源アダプター	1	48V2A(8CH Model) 16CH はなし
電源コード	1	
マウス	1	

Chapter 1 製品概要

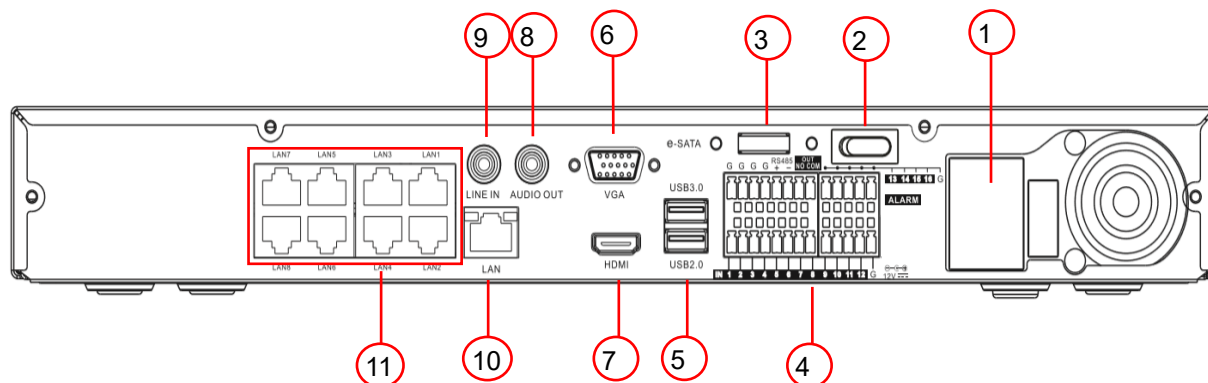
1.1 リアパネル

<POE 16CH MODEL>



番号	ポート	接続方法
1	電源ポート	付属の電源コードを接続します。
2	電源スイッチ	起動とシャットダウン
3	E-SATA	オプション。録画とバックアップのためe-SATA HDDを接続できます
4	センサー/アラーム	センサーまたは警報装置に接続します
5	USB ポート	USBマウスやUSBフラッシュメモリなどのUSBデバイスを接続します
6	VGA ポート	PCモニターなどのVGAモニターに接続します
7	HDMI ポート	HDMIモニターに接続します
8	オーディオ出力	オーディオ信号出力、RCAインターフェイス
9	ラインイン	インターコム音声入力
10	WAN ポート	ルーターのネットワーク入力インターフェイス/ IPカメラに接続します
11	LAN ポート	LANネットワークインターフェイス、POEをサポート、カメラに電源を供給できます

<POE 8CH MODEL>



Item	Physical Port	接続方法
1	電源ポート	付属の電源アダプター(48V 2A)を接続します。
2	電源スイッチ	起動とシャットダウン
3	E-SATA	オプション。録画とバックアップのためe-SATA HDDを接続できます
4	センサー/アラーム	センサーまたは警報装置に接続します
5	USB ポート	USBマウスやUSBフラッシュメモリなどのUSBデバイスを接続します
6	VGA ポート	PCモニターなどのVGAモニターに接続します。
7	HDMI ポート	HDMIモニターに接続します
8	オーディオ出力	オーディオ信号出力、RCAインターフェイス
9	ラインイン	インターコム音声入力
10	WAN ポート	ルーターのネットワーク入力インターフェイス/ IPカメラに接続します
11	LAN ポート	LANネットワークインターフェイス、POEをサポート、カメラに電源を供給できます

Chapter 2 NVR インストール & 接続

2.1 HDD インストール

購入したパッケージによっては、ハードディスクドライブがフルパッケージに含まれている場合があります。プリインストールされていない場合は、このユーザーマニュアルを参考してください。

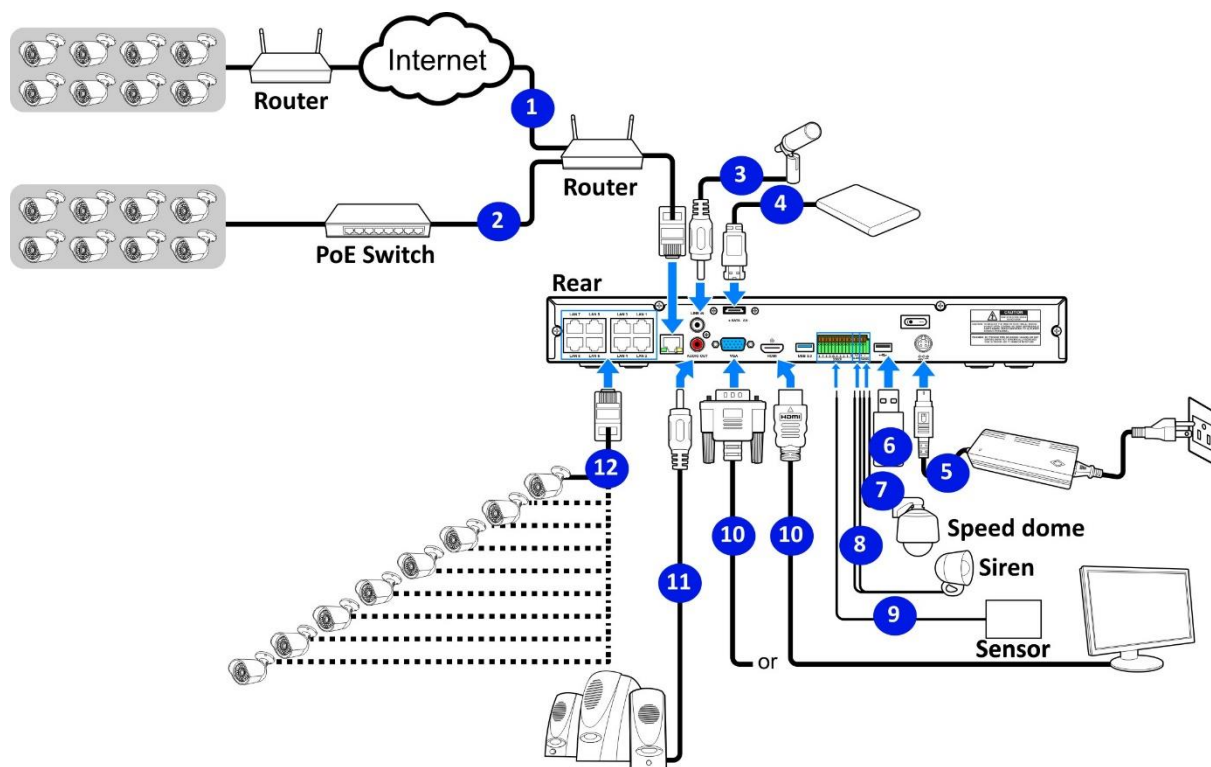
注意: デバイスの電源がオンになっている間は、ハードディスクドライブのインストールや取り外しを行わないでください。

HDDのインストール:

- (1) まず電源を切り、両側と背面パネルのネジを外し、NVR上部のカバーを開きます。
- (2) データと電源ケーブルをHDDに接続し、HDDをNVRケースに配置します。NVRケースを慎重に裏返し、HDDをネジでNVRに固定します。
- (3) 上部カバーを注意深く戻し、カバーをネジで固定します。

Note: 上記の手順は参考用です。購入したNVRによって実際の操作は異なる場合があります。

2.2 接続図



Note: 上図は参考用です。実際の接続は購入したNVRによって異なる場合があります。

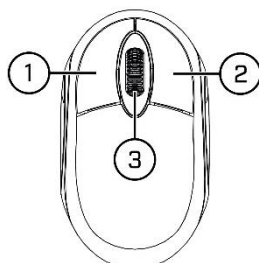
2.3 電源接続

注意: NVR に付属している電源アダプターのみを使用してください。

電源アダプターの一端を NVR の背面にある電源コネクタに接続します。電源アダプターのもう一方の端を壁のコンセントに差し込みます。

Chapter 3 NVR の共通操作

3.1 付属マウスの使用



1. 左ボタン:

- クリックしてメニューオプションを選択します。
- 分割画面ビューでライブビューする間、チャンネルをダブルクリックすると全画面で表示されます。チャンネルをもう一度ダブルクリックすると、分割画面表示に戻ります。
- ライブビュー画面でチャンネルをクリックして、カメラクイックツールバーを開きます。
- クリックして押し続けると、メニューモードでスライダーとスケールをドラッグできます。

2. 右ボタン:

- 1 回クリックするとライブ表示画面のステータスバーを開きます。ステータスバーについては 4.2.2.を参照してください。
- メニューでクリックして元に戻る/メニューを閉じる。

3. スクロールボタン:

- メニューで、スクロールしてメニュー内容を上下に移動します。
- ボリュームコントロールホイールをスクロールして、システムのボリュームを調整します。

3.2 仮想キーボードの使用

データを入力する度に仮想キーボードが画面に自動で表示されます。

キーボードを大文字と記号に切り替えるには
ここをクリックします。



3.3 パスワード

本製品は出荷時初期状態では、下記の情報でログインすることが出来ます。

ユーザー名: admin
パスワード: 00000000

セキュリティ上の問題により、本製品へのログイン後はパスワードを変更することをお勧めします。

また、本製品を工場出荷設定(初期化)後、初めて利用する場合は、パスワードの初期設定を行う必要があります。ユーザー名とパスワードを記録し、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れると、システムにログインできなくなります。販売店に連絡して、パスワードをリセットしてください。

言語: 日本語
デバイスID: 000000 (000000)
新しい管理者名: admin
パスワードの強さ: 低
新しい管理者パスワード:
パスワードを確認します:
パターンロックを解除します: 無効
適用

言語: 日本語
デバイスID: 000000 (000000)
新しい管理者名: admin
パスワードの強さ: 低
新しい管理者パスワード:
パスワードを確認します:
パターンロックを解除します: 有効 ペイント
適用

言語: OSD 言語を選択します。

デバイス ID:初期設定: ID は 000000 です。

パスワード強度: パスワードの強度によって色が変わります。

赤 (低), 黄 (中), 緑 (高)

新しい管理者名: 管理者の新しい ID 名を設定します。

新しい管理者のパスワード: 管理者の新しいパスワードを設定します。パスワードは 5 文字以上の組み合わせでなければなりません。

パスワード確認: 新しいパスワードを再び入力します。

ロック解除パターンを有効にする: パターンパスワードを有効にすると、製品ロックの解除にパターンパスワードが利用できます。

パスワードは忘れないようにメモを取るなどし、忘れないようにご注意ください。



適用 をクリックして設定を確認し、ログインインターフェースに移動します。ユーザー名とパスワードを入力し、NVR システムにログインします。

NVR をしばらく操作しないと、画面をロックして不正な OSD 操作から保護します。必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。これを行うには、マウスポインタをモニターの下端に移動してポップアップタスクバーを表示し、タスクバーの左端にある[スタートメニュー]アイコンをクリックしてスタートメニューバーをポップアップします。スタートメニューバーの[画面のロック]アイコンをクリックします。



Chapter 4 NVR 起動

4.1 起動ウィザード

スタートアップウィザードでは、システムを構成し、NVR をすばやく設定出来ます。

NVR の起動が完了すると、起動ウィザードが表示されます。設定しない場合は、「次回はこのウィンドウを表示しない」をクリックしてキャンセルしてください。

ウィザード設定メニューには、スタートアップウィザード、ネットワーク、IPC セットアップ、録画スケジュール、HDD 管理が含まれています。

4.1.1 起動ウィザード

スタートウィザードをクリックして次のステップに進みます。



4.1.2 ネットワーク構成

起動ウィザード

インターネット

ローカル接続

DHCP ☒

IPアドレス 192.168.001.100

サブネットマスク 255.255.255.000

ゲートウェイ 192.168.001.001

DNS

DNS1 168.126.063.001

DNS2 008.008.008.008

ポート

	サービス	プロトコル	内部ポート	外部ポート	UPNP ステータス	Mapping Strategy	UPNP
1	Web	TCP	09000	09000	停止方法	自動	☒
2	ディアボー	TCP	07000	07000	停止方法	自動	☒
3	Rtsp	TCP	00554	00554	停止方法	自動	☒
4	Https	TCP	00443	00443	停止方法	自動	☒

PPPOE

PPPOE起動 ☐

ユーザー

パスワード ☐ パスワード表示

ルーターに接続して DHCP が使用できる場合、DHCP ボックスをチェックしてください。ルーターは、NVR のすべてのネットワークパラメーターを自動的に割り当てます。DHCP が利用出来ない場合は、下でネットワークパラメーターを手動で設定してください。

IP アドレス: IP アドレスは、ネットワーク内の NVR を識別します。これは、ピリオドで区切られた、0～255 の 4 つの数字グループで構成されます。例)192.168.001.100

サブネットマスク: サブネットマスクは、ネットワークで利用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。サブネットアドレスも、ピリオドで区切られた 4 つの数字グループで構成されます。例)255.255.255.000

ゲートウェイ: このアドレスにより、NVR はインターネットにアクセスできます。ゲートウェイアドレスの形式は、IP アドレスと同じです。例)192.168.001.001

DNS1/DNS2: DNS1 は優先 DNS サーバー、DNS2 はバックアップ DNS サーバーのアドレスを設定します。

ポート

Web ポート: これは NVR にリモートでログインするために使用するポートです(例:Web クライアントを使用)。デフォルトポート 80 が他のアプリケーションによって既に使用されている場合は、番号を変更してください。

クライアントポート: これは NVR が(モバイルアプリなどを使用して)情報を送信するために使用するポートです。デフォルトポート 9000 が他のアプリケーションによってすでに使用されている場合は、番号を変更してください。

RTSP ポート: これは NVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信できるポートです。ストリーミングメディアプレーヤーなどで利用可能です。

UPNP: Web クライアントを使用して NVR にリモートでログインする場合は、ルーターのポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート転送が手動で完了していることを確認してください。

PPPoE

PPPOE	
PPPOE起動	☒
ユーザー	
パスワード	☐ パスワード表示

これは NVR が DSL モデムを通してさらに直接ネットワークに接続できるようにする高度なプロトコルです。

「PPPOE 起動」ボックスをチェックし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。

4.1.3 日付/時間

このメニューでは日付、時刻、日付表示形式、時刻表示形式、タイムゾーン、NTP、DST を設定できます。

日付と時間

現在のシステムの日付を設定するには、カレンダーアイコンをクリックします。

日付/時間		
日付と時間	NTP	夏時間
日付	05/16/2020	
時刻	13:50:41	
日付表示形式	MM/DD/YY	▼
時刻表示形式	24時	▼
タイムゾーン	GMT+09:00	▼

日付: カレンダーアイコンをクリックして、システムの日付を設定します。

時刻: クリックしてシステムの時刻を設定します。

日付形式: ドロップダウンメニューから、希望の日付表示形式を設定します。

時刻形式: 24 時間と 12 時間の中で時間表示形式を選択します。

タイムゾーン: 正しいタイムゾーンを設定してください

NTP

NTP は Network Time Protocol の略です。この機能により、インターネット上のタイムサーバーと日付、時刻を自動的に同期できます。そのため、NVR をインターネットに接続する必要があります。



「NTP」ボックスをチェックし、NTP サーバーを選択します。

夏時間

DST は Daylight Savings Time (夏時間)の略です。



DST: お住まいの地域で夏時間(DST)が採用されている場合に有効にします。

時間オフセット: DST のオフセット時間を選択します。

夏時間: 夏時間を週単位または日単位で設定することを選択します。

開始時刻/終了時刻: 夏時間の開始時刻と終了時刻を設定する。

4.1.4 IP カメラ

このメニューでは、NVR に IP カメラを追加できます。



同じネットワーク内の IP カメラを検索するには、[検索]をクリックします。追加する IP カメラを選択した後クリックします。➡ NVR に追加するアイコン。



カメラを追加するにはカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。

➕ ボタンをクリックしたら個別 IP カメラをシングルチャンネルに追加できます。

IP カメラ追加

番号	IPアドレス/ドメインネーム	ポート	製造者	デバイスタイプ	MACアドレス	ソフトウェアバージョン
1	10.10.25.153	9988		IP CAMERA	00-23-63-6D-B2-36	V2.1.3.5_1708
2	10.99.50.2	9988		IP CAMERA	00-23-63-6F-CB-58	V2.31.5.0_181
3	10.99.50.9	7000		ATS-XRT6108	00-23-63-73-92-2B	V8.1.0-20200
4	10.99.50.25	9988		IP CAMERA	00-23-63-69-4E-71	V2.31.5.0_181
5	10.99.50.50	9001		IP CAMERA	00-23-63-78-C0-5B	V4.43.5.0_191
6	10.99.50.50	80	IPC		32-52-5A-A0-0A-3F	
7	10.99.50.100	7000		PDR-NHD6832	00-23-63-70-73-6D	V8.1.0-20200
8	10.99.50.101	9988		IP CAMERA	00-23-63-69-B3-29	V2.31.5.0_181
9	10.99.50.102	80	IPC		00-23-63-69-B3-26	
10	10.99.50.103	9988		IP CAMERA	00-23-63-6E-30-01	V2.31.5.0_181
11	10.99.50.112	80	I58F910		00-02-F1-58-F9-10	

IPアドレス/ドメインネーム

10.99.50.101

エイリアス

IP CH3

位置

左上

ポート

9988

プロトコル

プライベートプロトコル

ユーザー名

admin

パスワード

●●●●

☐ パスワード表示

チャンネルバインド

IP CH3

カメラモード

自動

検索

デフォルトパスワード

追加

キャンセル

[検索]ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストから IP カメラの中で一つをクリックします。

IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

エイリアス: IP カメラ名

位置: 画面にカメラ名を表示する位置。

ポート: IP カメラのポート

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

4.1.5 ディスク



NVR に初めて HDD をインストールする場合は、フォーマットする必要があります。HDD を選択し、[HDD のフォーマット] ボタンをクリックして HDD をフォーマットします。

上書き: HDD の容量不足のとき、HDD 上の古い録画を上書きするには、このオプションを使用します。例えば、7 日間のオプションを選択すると、最新の 7 日間の録画のみ HDD に保存されます。古い録画を上書きしないようにするには、[無効] を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDD の容量を定期的を確認してください。

e-SATA に録画: NVR の背面パネルに e-SATA ポートが付属している場合は、e-SATA HDD に録画できます。

4.1.6 解像度

モニターに出力する解像度を選択します。

起動ウィザード

×

解像度

出力解像度

4K(3840x2160)

▼

適用

4.1.7 モバイル

モバイルアプリから QR コードをスキャンし、NVR にリモートでアクセスできます。

起動ウィザード

×

モバイル

P2P ID

P2P ID

RSV1905033065228



ローカル接続

IPアドレス

10.99.50.70

サブネットマスク

255.255.192.0

ポート

Web

7000

メディアポート

9000

前ステップ

次ステップ

キャンセル

4.1.8 概要

起動ウィザードで設定したシステム概要情報を確認して、ウィザードを終了できます。
次回システムを再起動するときに起動ウィザードを表示しない場合は、[次回このウィンドウを表示しない]を選択してください。保存して終了するには、[完成]ボタンをクリックしてください。

起動ウィザード

✕

概要

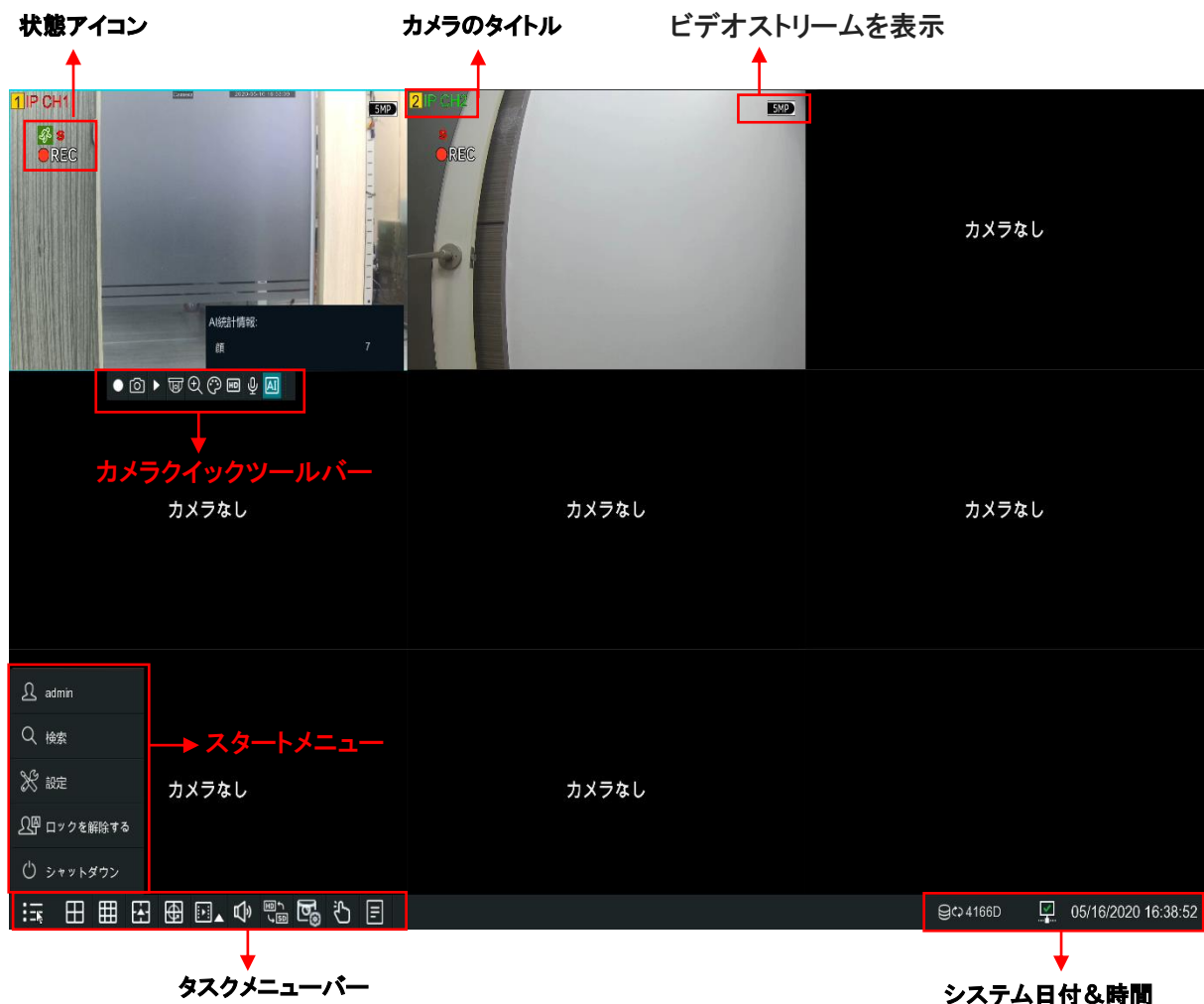
システム	
解像度	4K(3840x2160)
日付/時間	05/16/2020 16:00:16, GMT+09:00
NTP	ON
インターネット	
DHCP	ON
IPアドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
DNS1	168.126.63.1
DNS2	8.8.8.8
PPPOE	オフ
ポート	
Web	9000
メディアポート	7000
Rtsp	554
UPNP	ON
TOE	ON
ディスク	
上書き設定	自動

☐ 次回このウィンドウを表示しないでください。

前ステップ

完成

4.2 ライブビュー画面の概要



カメラタイトル

カメラタイトルの表示色について(白:録画無、赤:モーション録画、緑:連続録画/インテリジェント/ AI 録画、黄色:マニュアル録画)

状態アイコン

-  これは NVR が現在録画中であることを示しています。
-  このアイコンはカメラにモーション/インテリジェント/ AI 検出モーションがある場合に表示されます。
-  このアイコンは外部 I/O アラームデバイスがトリガーされたことを示します。
-  このアイコンは HDD 動作にエラーがあることを示します。
-  このアイコンは HDD がフォーマットされていないことを示します。
-  このアイコンは HDD の容量が不足することを示します。



このアイコンは HDD が読み取り専用であることを示します。

カメラなし: IP カメラが接続されていません。



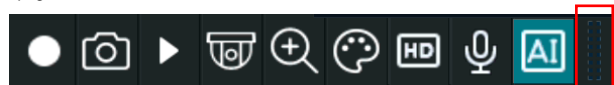
[クイック追加]メニューを開き、IP カメラを追加します。



現在の IP カメラを編集するにはクリックします。

4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブ表示で、接続されているカメラでマウスの左ボタンをクリックして、カメラクイックツールバーを表示します。



このツールバーをマウスでクリックした状態で移動すると自由に位置を変更することができます。



(**マニュアルレコードを起動する**) クリックすると、チャンネルをすぐに手動で録画します。手動録画が進行中の場合、アイコンは赤色になります。もう一度クリックすると、手動録画が停止します。



(**手動キャプチャ**) クリックすると、現在のカメラ画像のスナップショットが保存できます。この機能を使用するには、手動キャプチャを有効にします。手動キャプチャの活性化の詳細については、[5.2.3.1 キャプチャ](#)を参照してください。



(**インスタント再生**) クリックすると、このチャンネルの最新 5 分の録画データが再生できます。



(**PTZ**) クリックすると PTZ コントロールパネルに入ります。



(**デジタルズーム**) クリックするとチャンネルを拡大します。マウスホイールでズーム倍率の調整が可能です。



(**カラー設定**) クリックしてチャンネルの画像の色合いを調整します。画像の色調、明るさ、対照、彩度を調整できます。



(**ストリーム切換え**) HD と SD の間でライブビュービデオストリームを切り替えます。HD はメインストリームライブビュー、SD はサブストリームライブビューです。



(**TalkBack**) クリックして、カメラのスピーカーでオーディオアウトを送る。



(**AI統計情報**) クリックすると、チャンネルの AI 機能によって検出された統計が表示されます。6.8 フィルター統計で設定された制限時間内に検知された顔の数を表示します。

4.2.2 ステータスバー



- クリックしてスタートメニューを開きます。
- クリックしてライブビューの異なるレイアウトを選択します。
- クリックしてライブビューのさらに異なるレイアウトを選択します。
- 自動シーケンスで順番にチャンネルを表示するにはクリックします。
- クイック再生。1日の初めからすべてのチャンネルの最新の録画を再生するか、最新の5秒、10秒、30秒、1分、5分から再生を選択できます。
- クリックしてオーディオの音量を調整します。
- クリックしてすべてのIPチャンネルをメインストリームとサブストリームの間で切り替えます。(ライブビューの解像度用)
- クリックすると、リアルタイム表示、バランス表示、またはスムーズ表示に切り替わります。ビューエフェクトモードは、ビットレートとフレームレートによってライブビューのビデオ品質にのみ影響しますが、記録品質には影響しません。
- このアイコンは、ネットワークが接続されている場合にのみ表示されます。
- 手動録画と手動アラームを開始または停止します。
- システム情報、チャンネル情報、録画情報、インターネット状態を表示します。

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューを使用すると、ユーザーの切り替え、検索と再生、設定、画面のロックとロック解除、シャットダウン、システムのリブートとログアウトを行うことができます。

admin	→ ユーザを切り替えます。5.6.3 複数ユーザーを表示します。
検索	→ 検索 & 再生 Chapter 6 検索、再生&バックアップを表示します。
設定	→ NVR システムセットアップ。Chapter 5 NVR システムセットアップを表示します。
ロックを解除する	→ ロック&ロック解除画面。4.2.3.1 ロックとロック解除画面を表示します。
シャットダウン	→ シャットダウン、リブート、ログアウト。4.2.3.2 シャットダウンを表示します。

4.2.3.1 ロック解除とロック画面



特定時間 NVR の操作を行わないと、画面がロックされ権限のない操作を保護します。

必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。スタートメニューに移動し、画面のロックアイコンをクリックするとシステムをすぐにロックします。

システムがロックされている場合は、操作をするため、[ロック解除]アイコンをクリックしてロックを解除することができます。

4.2.3.2 シャットダウン



スタートメニューの[シャットダウン]ボタンをクリックし、希望する電源操作を選択してください。OK ボタンをクリックすると、管理者パスワードを入力する必要があります。



システムのログアウトを選択すると、ライブ表示画面が消えます。
NVR の操作をするためにはシステムにログインする必要があります。

言語	日本語	▼
デバイスID	000000	(000000)
ユーザー	admin	▼
パスワード	パスワード表示	
パスワードをお忘れですか		ログイン

Chapter 5 NVR システム設定

スタートメニューから MVR のチャンネル、録画、アラーム、AI、インターネット、設備管理、システムを設定できます。→ [設定](#)

設定	 チャンネル	 録画	 アラーム	 AI	 Network	 設備管理	 システム
	チャンネル	エンコード設定	モーションアラーム設定	設定	一般設定	ディスク管理	一般設定
	ライブ	録画設定	PIR	認証	DDNS	クラウド	マルチユーザー管理
	イメージコントロール	キャプチャ	IOアラーム設定	アラーム	電子メール		保守設定
	PTZ		IVS	統計	FTP		カメラメンテナンス
	ビデオカバー設定		PTZアクション		IPフィルター		システム情報
	モーション		システムアラーム				
	PIR		アラーム予約				
	投光						
	IVS						

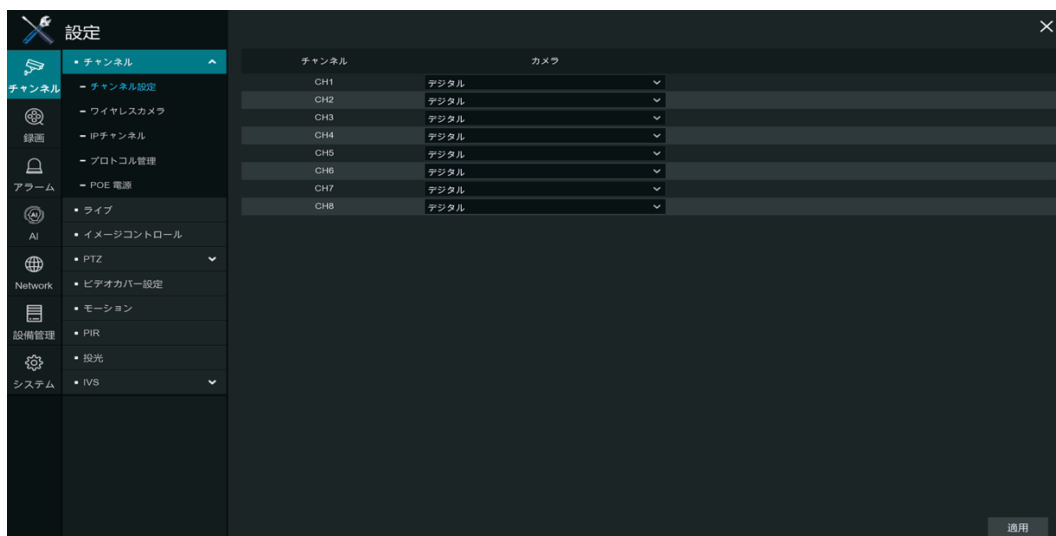
5.1 チャンネル

5.1.1 チャンネル

このセクションではカメラの設定、ライブビュー表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像調整、PTZ 設定、モーション設定、IVS 設定などを行うことができます。

5.1.1.1 チャンネル設定

カメラ: デジタル→ IP カメラ



5.1.1.2 ワイヤレスカメラ

本機では現在ご利用いただけません。

5.1.1.3 IP チャンネル

番号	編集	IPアドレス/ドメインネーム	ポート	製造者	デバイスタイプ	MACアドレス	ソフトウェアバージョン
1		10.99.50.2	9988		IP CAMERA	00-23-63-BF-CB-58	V2.31.5.0_181029
2		10.99.50.3	9988		IP CAMERA	00-23-63-75-BF-0A	V7.11.4.5_180913
3		10.99.50.5	80	OET-213H-NB		E4-F1-4C-26-25-8D	
4		10.99.50.25	9988		IP CAMERA	00-23-63-69-4E-71	V2.31.5.0_181029
5		10.99.50.38	9988		IP CAMERA	00-23-63-73-2C-05	V4.41.4.8_181011
6		10.99.50.101	9988		IP CAMERA	00-23-63-69-B3-29	V2.31.5.0_181029
7		10.99.50.102	9988		IP CAMERA	00-23-63-69-B3-26	V2.31.5.0_181029
8		10.99.50.103	9988		IP CAMERA	00-23-63-6E-30-01	V2.31.5.0_181029
9		10.99.50.112	80	I58F910		00-02-F1-58-F9-10	
10		10.99.50.113	80	I58EF1C		00-02-F1-58-EF-1C	
11		10.99.50.114	80	I599045		00-02-F1-59-90-45	

チャンネル	モード切替	POE モード	編集	状態	IPアドレス/ドメインネーム	サブネットマスク	ポート	製造者	デバイスタイプ	プロトコル	MA
POE IP CH1	自動モード	自動			10.10.25.151	255.255.0.0	9988		IP CAMERA	プライベートプロトコル	00-23
POE IP CH2	自動モード	自動									
IP CH3	手動モード	自動			10.99.50.35	255.255.192.0	9988		IP CAMERA	プライベートプロトコル	00-23
IP CH4	手動モード	自動									
POE IP CH5	自動モード	自動									
POE IP CH6	自動モード	自動									
POE IP CH7	自動モード	自動									
POE IP CH8	自動モード	自動									

追加&IP チャンネル修正: ローカルネットワークから IP カメラを検索するには[検索]をクリックします。

個々の IP カメラを追加するには希望するカメラのチェックボックスに☑を入れ、[追加]をクリックし、すべての IP カメラを追加するには[全て追加]をクリックします。

IP 自動設定: 追加された IP カメラは IP アドレスが NVR と同じネットワークセグメントにない場合、接続できません。この機能を使用すると追加されたすべての IP カメラに IP アドレスを再割り当てします。

チャンネル削除: 追加した IP カメラを 1 つ以上選択し、このボタンをクリックして削除します。POE NVR の場合、[モード切替]を選択すると、チャンネルに接続されたカメラが表示されます。「手動モード」を選択すると、ルーターに接続されたカメラと POE チャンネルに接続されたカメラを選択することができます。

デフォルトパスワード: プライベート、onvif、複数のカスタムプロトコルのデフォルトパスワードを入力します。ここでプロトコルごとに対応するパスワードを入力することで、同じプロトコルのカメラを追加した際にパスワードを入力する必要がなくなります。



NVR に接続されているデバイスリストでいずれかの編集  アイコンをクリックします。



IP アドレス/ドメイン: IP カメラの IP アドレスまたはドメイン名

エイリアス: IP カメラ名

位置: 画面にカメラ名を表示する位置を選択します。

ポート: IP カメラのポート番号

プロトコル: ドロップダウンメニューから IP カメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名: IP カメラのユーザー名

パスワード: IP カメラのパスワード

バインドチャンネル: 接続する NVR のチャンネルを選択します。

5.1.1.4 プロトコル管理

プロトコル管理を使用すると、IP カメラ接続するための独自の RTSP プロトコルを編集できます。

カスタムプロトコル: 最大 10 個のカスタムプロトコルを設定できます。

プロトコル名: カスタムプロトコルに名前を付けます。



サブストリームを有効にする: サブストリームを有効にするにはチェックボックスに ☒ を入れてください。

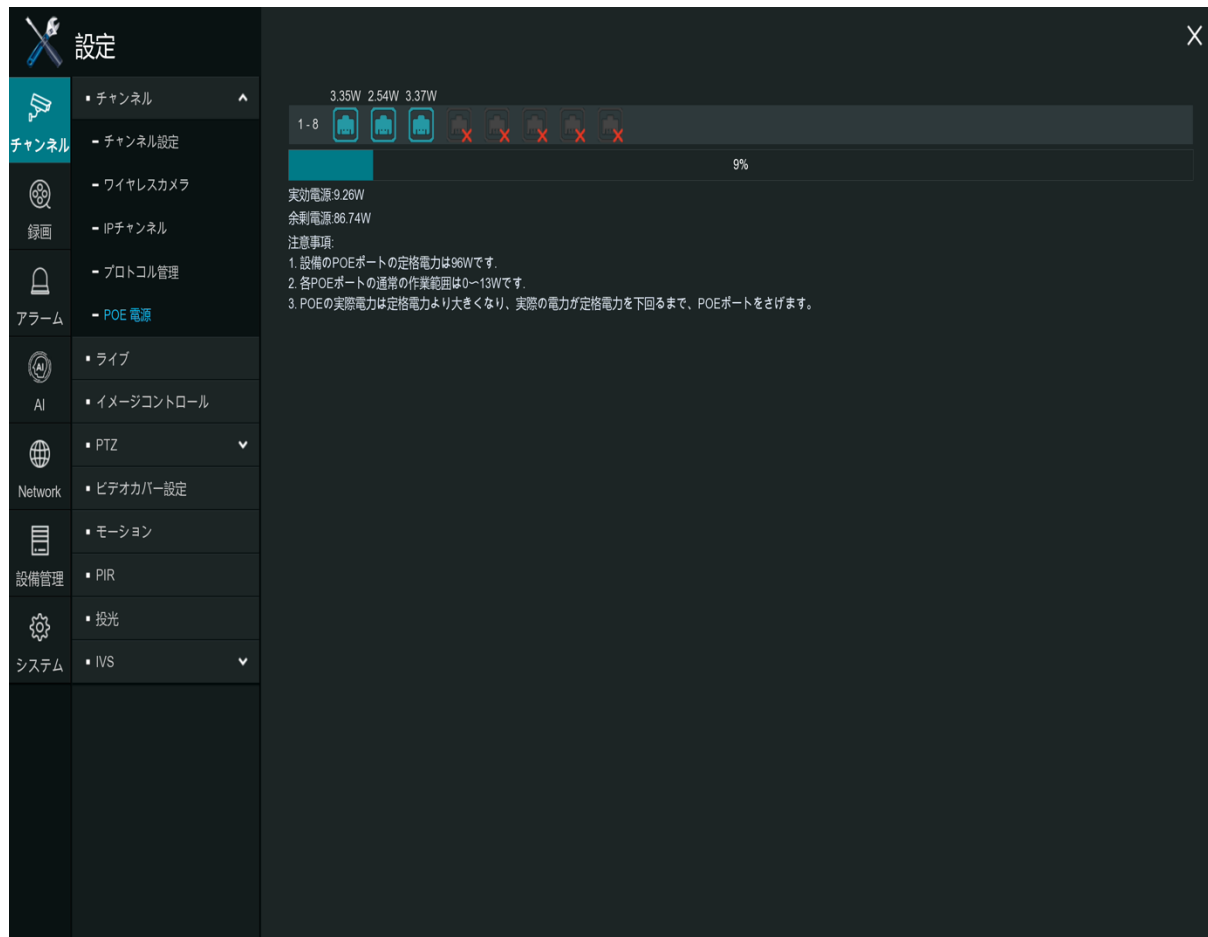
タイプ: 現在 RTSP のみ利用できます。

ポート: IP カメラの RTSP ポートを入力します。

リソースパス: IP カメラの RTSP アドレスを入力します。

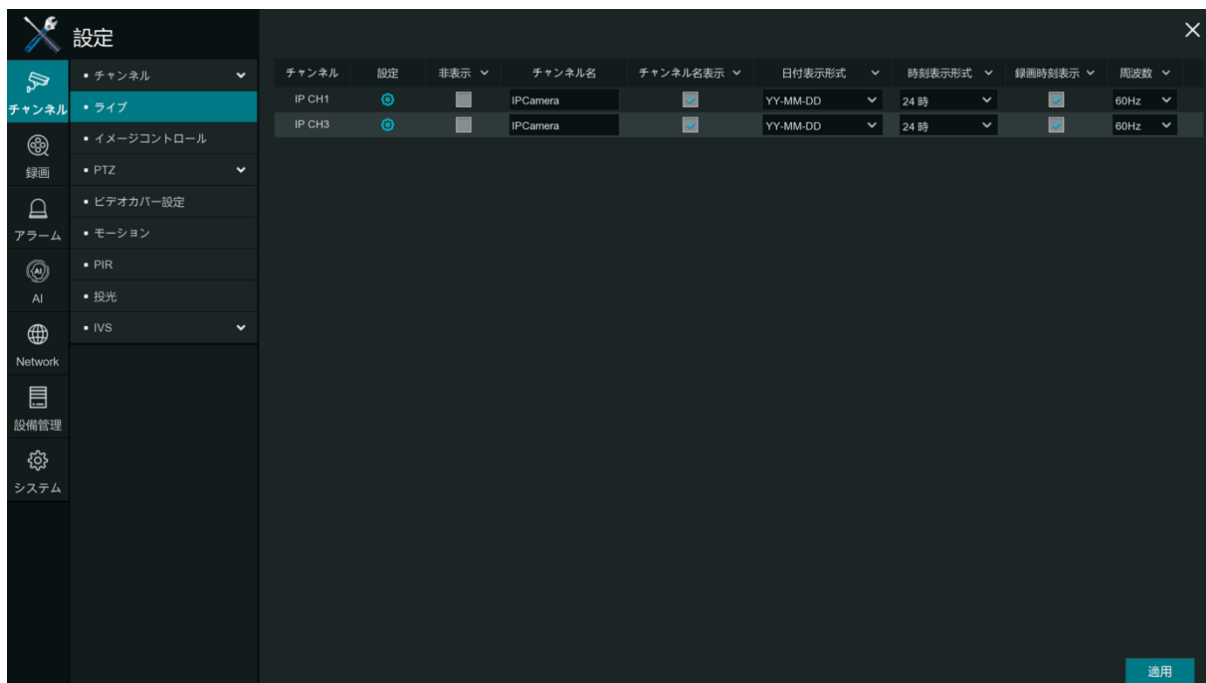
5.1.1.5 POE 電源

NVR の各 PoE ポートの使用状況を確認できます。



5.1.2 ライブ

カメラパラメータを設定します。



チャンネル: チャンネル名を表示します。

非表示: このチャンネルのライブ画像を非表示にする場合は、ボックスをチェックしてください。録画には影響はありません。

チャンネル名: チャンネルに名前を付けます。

チャンネル名表示: チェックを入れると、映像上にチャンネル名が表示されます。

日付表示形式: ドロップダウンメニューから選択して、希望の日付形式を設定します。

時刻表示形式: 24 時間と 12 時間の中、時間形式を選択します。

録画時刻表示: チェックを入れると、映像上に時刻が表示されます。

周波数: リフレッシュレートを変更します。

設定: カメラ設定ページから アイコンをクリックします。

チャンネル: IP CH1
 チャンネル名: IPCamera
 日付表示形式: YY-MM-DD
 時刻表示形式: 24 時
 周波数: 60Hz
☒ チャンネル名表示
☒ 録画時刻表示
 Alpha: 64
 色相: 128
 輝度: 128
 コントラスト: 128
 彩度: 128
 デフォルト
 適用

→ 設定するチャンネルを選択してください
 → カメラに名前を付けます。
 → カメラに表示する日付形式
 → カメラに表示する時間形式
 → カメラの周波数
 → ライブビュー画面にカメラ名を表示
 → ライブビュー画面にシステム時間を表示
 → 画像の色相を調整
 → 画像の明るさを調整
 → 画像のコントラスト値を調整
 → 画像の彩度を調整する

デフォルトをクリックするとデフォルトの設定値をロードします。適用をクリックして設定を保存し、マウスの右ボタンをクリックして終了します。

5.1.3 イメージコントロール

このメニューでは、サポートされている IP カメラの画像設定をコントロールできます。

設定

チャンネル: ライブ
 イメージコントロール
 録画: PTZ
 ビデオオーバーレイ設定
 アラーム: モーション
 PIR
 投光
 IVS
 Network
 設備管理
 システム

チャンネル	設定	赤外線カットモード	赤外線カット遅延	レンズフリップ	アングルフリップ	角度回転	BLCレベル	3Dノイズリダクション	DWDR	AGC	ホワイトバランス
IP CH1	GPIO自動	2	オフ	オフ	0	オフ	自動	オフ	中	自動	
IP CH3	GPIO自動	2	オフ	オフ	0	オフ	自動	オフ	高	自動	

チャンネル: チャンネル名

設定: 設定ページに  アイコンをクリックします。



設定するチャンネルを選択してください。

カメラのデイナイトの切替方法を設定します。自動、カラー、白黒、スケジュール。

デイナイト切り替えの遅延時間を設定します。

IRLED の切替方法を設定します。自動、オン、オフ。

チェックしてX軸フリップを有効にします。

チェックしてY軸フリップを有効にします。

90° 右折を有効にします。

0および180° 回転を設定します。

バックライト補正を有効または無効にします。

3D ノイズリダクション機能を有効または無効にします。

自動、手動(赤と青と緑のゲインの手動調整)、屋内(屋内環境に応じて最適化)を選択します。

自動ゲイン値調整します。

ホワイトバランスを設定します。

シャッターモードを設定します。

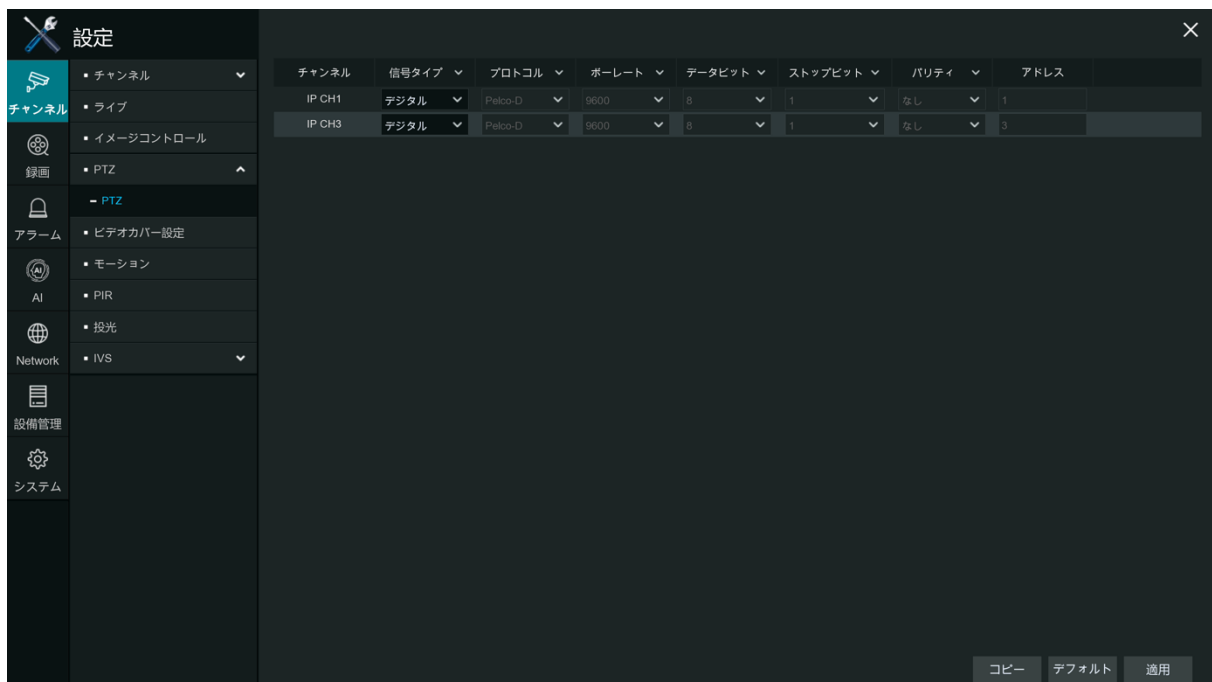
カメラのシャッター速度を設定します。

Defogモードを設定します。品質を向上するため霧の多い環境で使用します。

デフォルト

5.1.4 PTZ

このメニューではドームカメラのPTZ(パンチルトズーム)設定を構成できます。



設定

チャンネル

チャンネル	信号タイプ	プロトコル	ボーレート	データビット	ストップビット	パリティ	アドレス
IP CH1	デジタル	Pelco-D	9600	8	1	なし	1
IP CH3	デジタル	Pelco-D	9600	8	1	なし	3

コピー デフォルト 適用

チャンネル: チャンネル名

信号タイプ: アナログかデジタルを設定します。

プロトコル: PTZ カメラと NVR 間の通信プロトコルを選択します。PTZ カメラのプロトコルと一致していることを確認してください。

ボーレート: NVR から PTZ カメラに送信される通信速度。PTZ カメラのレベルと一致していることを確認してください。

データビット/ストップビット: NVR と PTZ 対応カメラ間の情報は、個別のパッケージで送信されます。データビットは送信されたビット数を示し、エンドビットはパッケージの終わりと次の(情報)パッケージの始まりを示します。データビットで利用できるパラメーターは、8、7、6、5 です。ストップビットで利用できるパラメーターは 1 または 2 です。

パリティ: エラーチェック用。この設定を構成するには、PTZ 対応カメラのドキュメントを参照してください。

アドレス: PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。各 PTZ 対応カメラが正しく機能するには、唯一のアドレスが必要です。

5.1.4.1 PTZ 制御

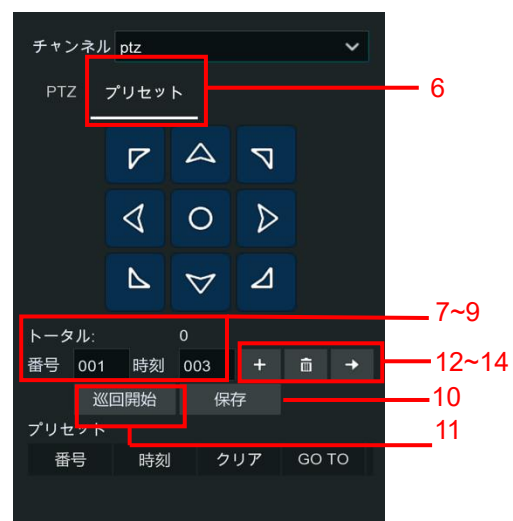
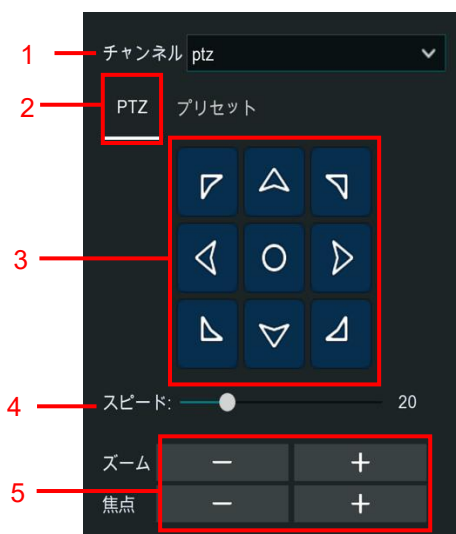
PTZ 設定が完了したら、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御できます。

1) ライブビュー画面のチャンネル上でマウスの左ボタンをクリックして、カメラクイックツールバーを開きます。

2) PTZ 制御アイコンを選択します。



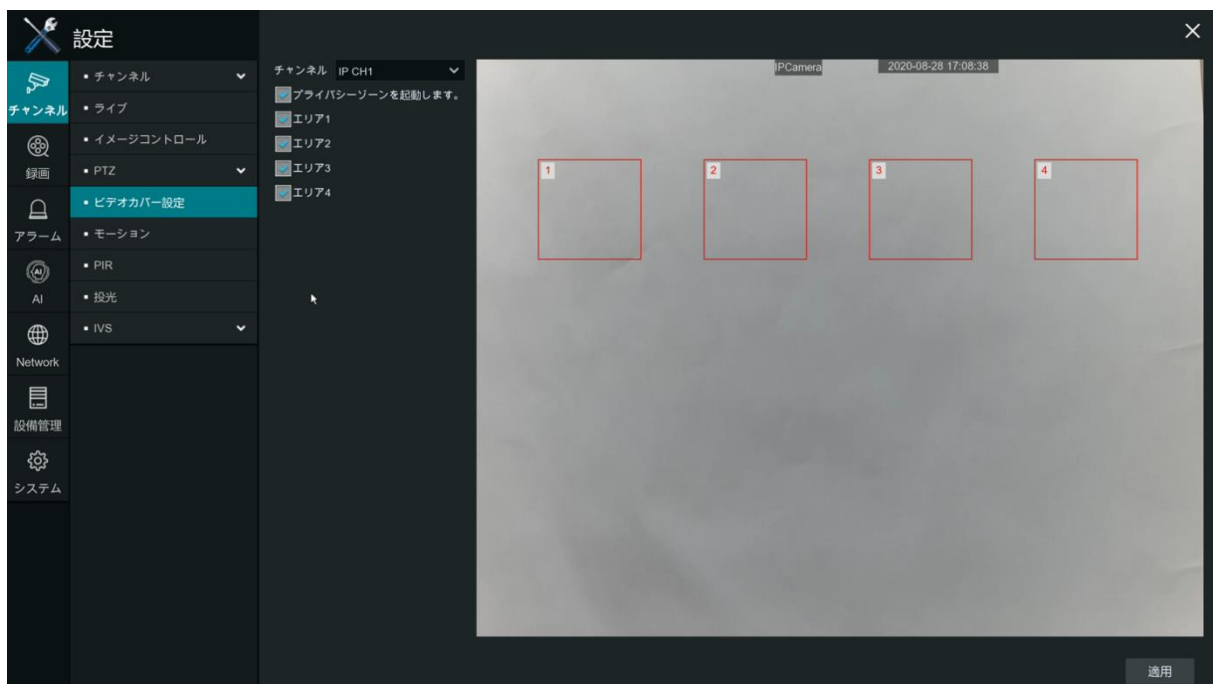
2) PTZ コントロールパネルが表示されます。



No.	アイコン	アイテム	説明
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルをクリックして選択します。
2		PTZ	ズーム&フォーカス制御ボタンを表示します。
3		ポインタパネル	A) PTZ カメラの方向を選択するには、方向矢印をクリックします。 B) クリックして自動パンモードに切り替えます
4		スピード	PTZ 速度を調整します。
5		ズーム	クリックして拡大/縮小します。
		焦点	クリックしてフォーカスを調整します。
6		プリセット	プリセットポイントパネルを表示します。
7		トータル	プリセットポイントの総数を表示します。
8		番号	プリセットポイント番号
9		時刻	カメラがプリセットポイントに留まる時間を設定します。
10		保存	クリックして設定とプリセットポイントを保存します。
11		クルーズ	プリセットポイントで PTZ 巡回を開始/停止します。5.8.3 PTZ 設定でこのチャンネルのクルーズ機能を有効にします。
12		セットする	特定のプリセットポイントの番号を入力し、このボタンをクリックして PTZ カメラをプリセットポイントに移動します。
13		削除	クリックして、選択したプリセットポイントを削除します。
14		移動する	クリックして、PTZ カメラの特定のプリセットポイントを設定します。 NVR には最大 255 のプリセットポイントを追加できます。ただし、実際のプリセット数量は PTZ カメラの機能によって異なります。

5.1.5 ビデオカバー

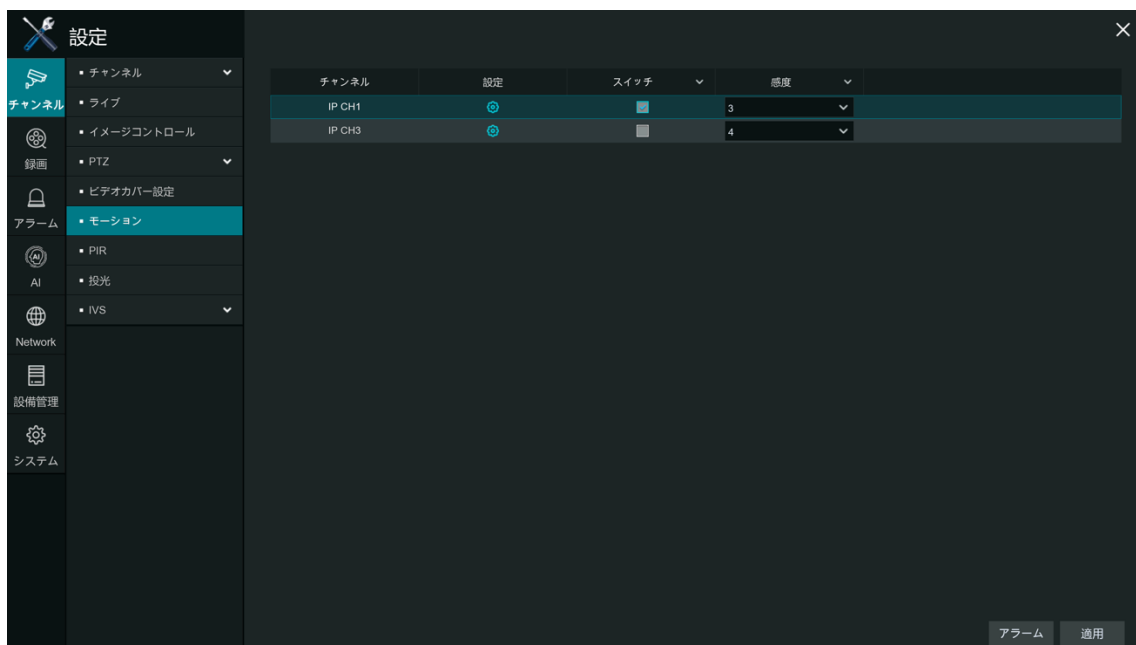
このメニューでは、映像内の特定の部分にプライバシーゾーンを設定できます。カメラ画像内に様々なサイズと場所の最大 4 つのプライバシーゾーンを設定できます。プライバシーゾーンを有効にし、必要な数だけエリアにチェックを入れます。ゾーンは「赤いボックス」として表示されます。赤いボックスの端をクリックして任意のサイズにドラッグし、プライバシーゾーンを設定します。



Note: 設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画映像の両方で非表示になります。

5.1.6 モーション

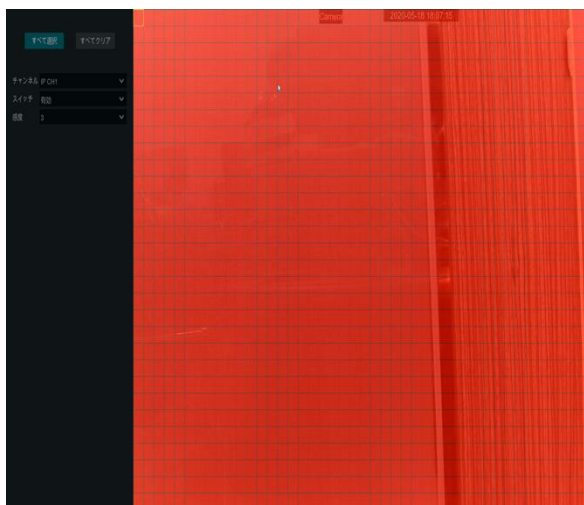
このメニューでは、モーションパラメータを設定できます。



スイッチ: モーション検知を有効または無効にします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル 1 は最低の感度レベルで、レベル 8 は最高の感度レベルです。

設定: 設定ページを表示するには⚙️アイコンをクリックします。



モーション検知エリア:

全体画面でモーション検知はデフォルトとして表示されています。(赤いブロックエリア)
特定の領域でモーション検知を無効にするには、グリッドカーソルをクリックしてからマウスをドラッグし、領域を透明なブロック表示にすると解除できます。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、[保存]をクリックしてエリア設定を有効にします。

アラームボタンをクリックしてモーション検知アラーム機能を設定します。
操作は [5.3.1 モーションアラーム](#) を参照してください。

5.1.7 PIR

本機では現在ご利用いただけません。

5.1.8 投光(白色 LED)

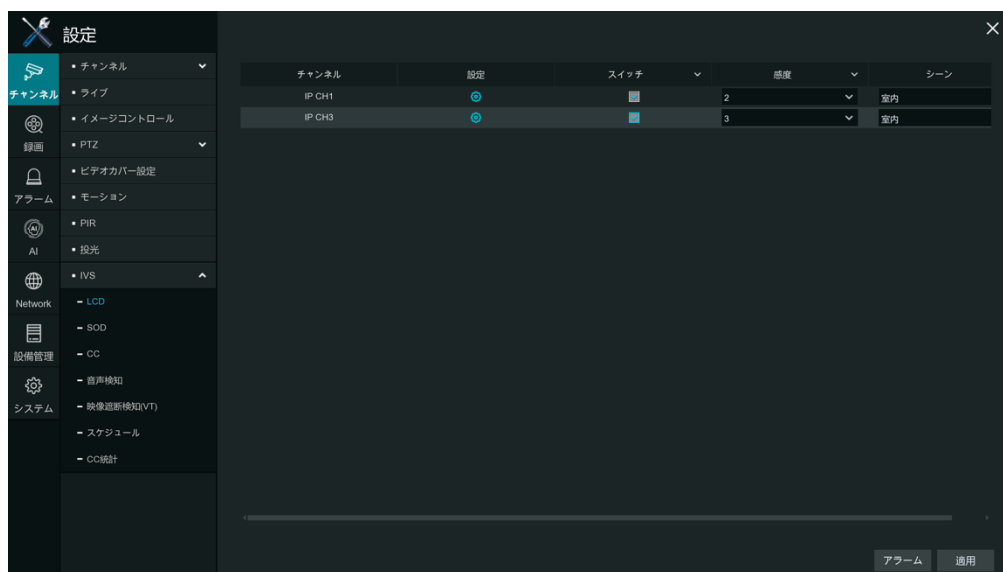
本機では現在ご利用いただけません。

5.1.9 IVS (Intelligent Video analysis System)

本設定では、ラインクロス検知、静止物体検知、クロスカウントなどのオプションのインテリジェント機能に関する設定が可能です。

5.1.9.1 LCD (Line Crossing Detection):ラインクロス検知

ラインクロス検知機能は、事前に定義した画面上のバーチャルラインを横断する人、車両、またはその他のオブジェクトを検出し、アラームがトリガーされたときに特定のアクションを実行できます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: LCD機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは1～4です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

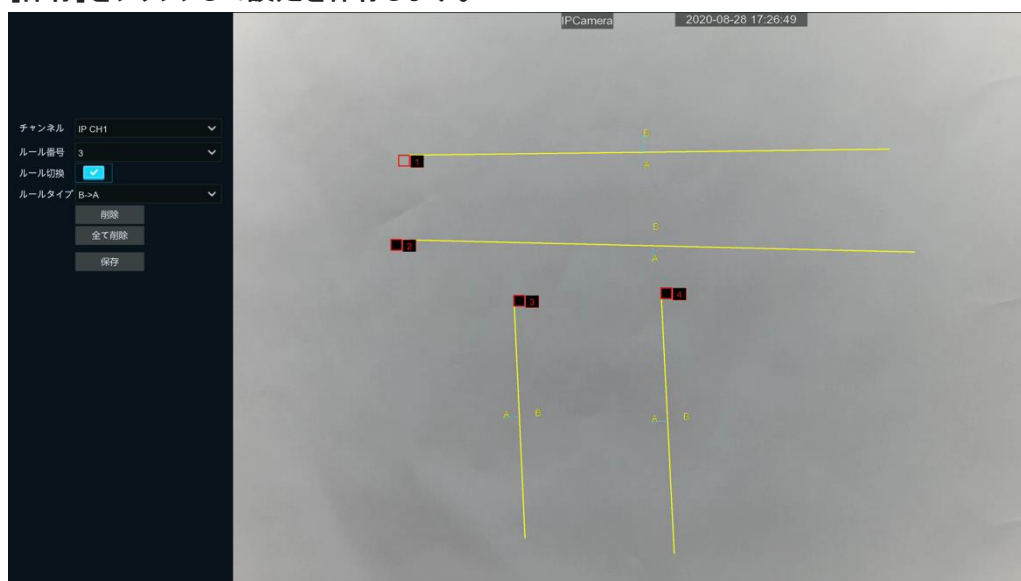
シーン: シーン設定では、屋内と屋外が選択できます。カメラの設置場所に合わせてシーンをお選びください。

アラーム: 5.3.4 インテリジェントアラームを参照してください。

設定: [設定]をクリックして、カメラ画像にバーチャルラインを描画します。

1. ルール番号を1つ選択します。これはLCDラインの番号です。設定できるラインは最大4つです。
2. ルールスイッチをクリックし  アイコンになっているルール番号(ライン)だけが有効になります。
3. ルールタイプを選択します。
A→B: NVR はサイド A からサイド B への横断のみを検知します。
B→A: NVR はサイド B からサイド A への横断のみを検知します。
A↔B: NVR は、サイド B からサイド A、またはサイド A からサイド B への横断を検知します。
4. マウスを使用してカメラ画像の2点をクリックし、バーチャルラインを描きます。

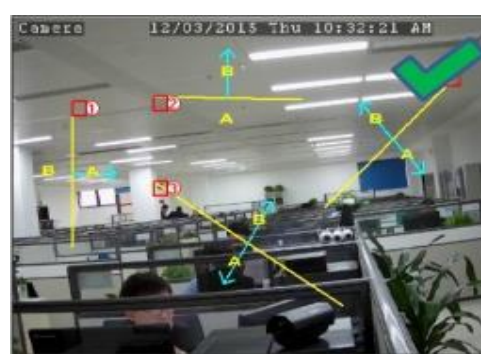
5. [保存]をクリックして設定を保存します。



6. ラインの位置または長さを変更したい場合は、ライン端の赤いボックスをクリックすると、ラインの色が赤に変わります。マウスの左ボタンでライン上をドラッグすると位置が、ラインの端をクリックしてドラッグすると線の長さや位置が変更できます。
7. カメラの画像からラインの1つを削除する場合は、希望するラインの赤いボックスをクリックしてから、[削除]ボタンをクリックします。[すべて削除]をクリックすると、すべてのラインが削除されます。

注意:

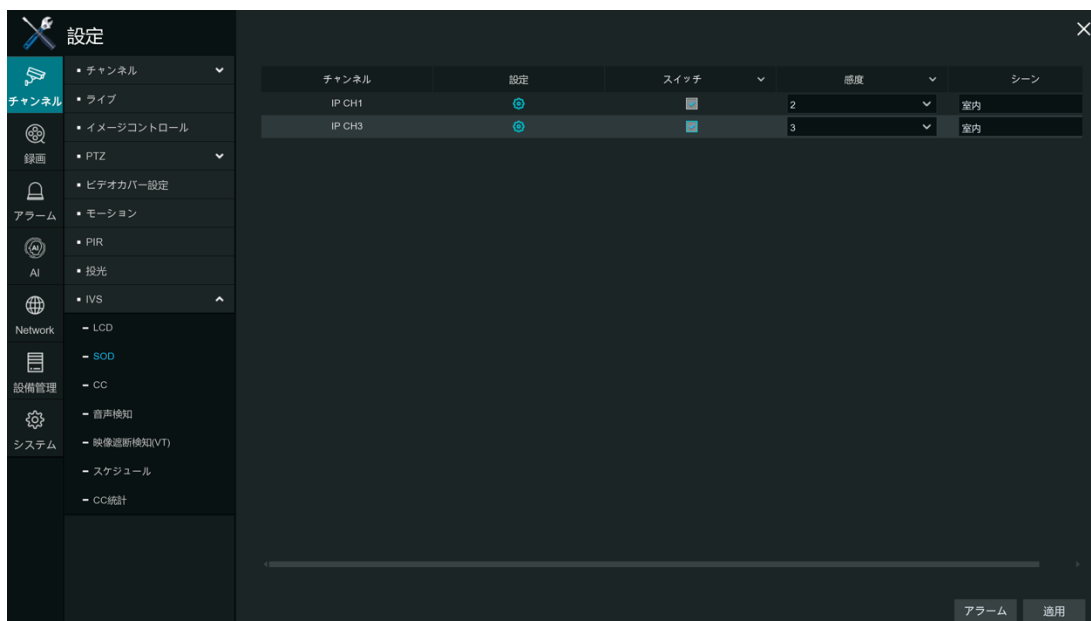
- 1) カメラ画像の端でラインを設定しないでください。誤作動の原因になります。
- 2) ラインは短くなり過ぎないように設定してください。誤作動の原因になります。



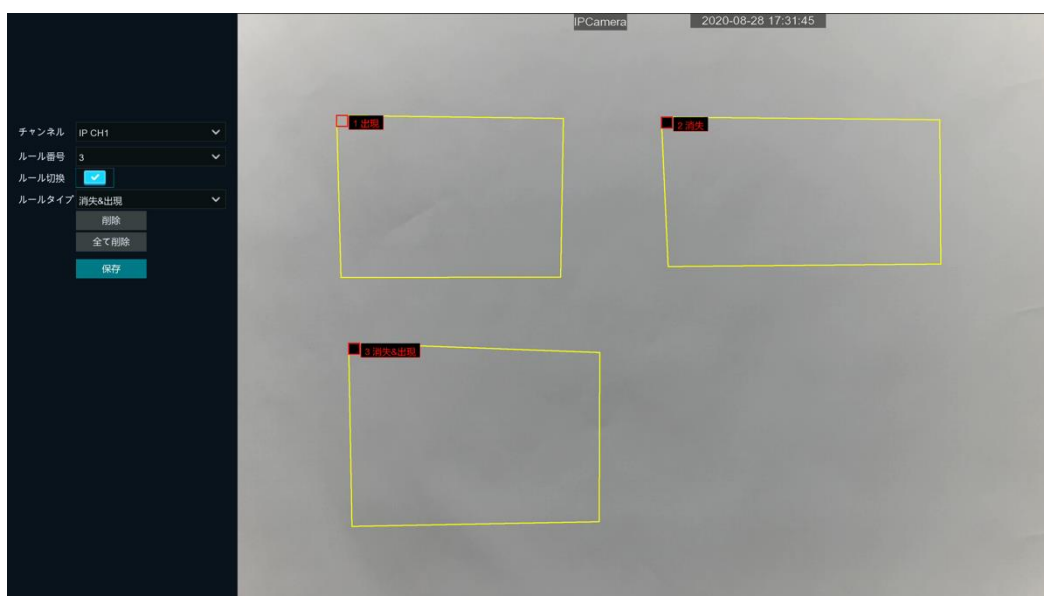
5.1.9.2 SOD (Stationary Object Detection): 静止物体検知

静止物体検出機能は、事前に定義した領域内の物体の置き去り(放置)、または消失を検出します。危険物、荷物、貴重品などの検出に利用できます。物体を検知しアラームがトリガーされたときに一連のアクションを実行できます。

アラーム: [5.3.4 インテリジェントアラーム](#)を参照してください。



設定: [設定]をクリックして、カメラ画像にバーチャルエリアを作ります。



1. ルール番号を1つ選択します。これは検知エリアの番号です。設定できるエリアは最大4つです。
2. ルールスイッチをクリックし アイコンになっているルール番号(エリア)だけが有効になります。
3. ルールタイプを選択します。
 出現:オブジェクトの出現を検知します。
 消失:オブジェクトの消失を検知します。
 出現&消失:オブジェクトの出現と消失の両方を検知します。
4. マウスを使用してカメラ画像の4点をクリックし、バーチャルエリアを作ります。領域の角は、凸多角形である必要があります。凹多角形は保存できません。
5. [保存]をクリックして設定を保存します。
6. エリアのサイズを調整する場合は、エリアの赤いボックスをクリックします。エリアの枠線が赤色に

変更されます。マウスの左ボタンを枠線上をドラッグすると移動、コーナーをドラッグするとエリアのサイズを変更できます。

7. カメラ画像から一つのエリアを削除する場合は、エリアの赤いボックスをクリックしてから、[削除] ボタンをクリックします。[すべて削除]をクリックすると、すべてのエリアが削除されます。

Notice:

- 1) 検知するエリアは、オブジェクトのサイズより大きいか同等のサイズ以上で設定してください。

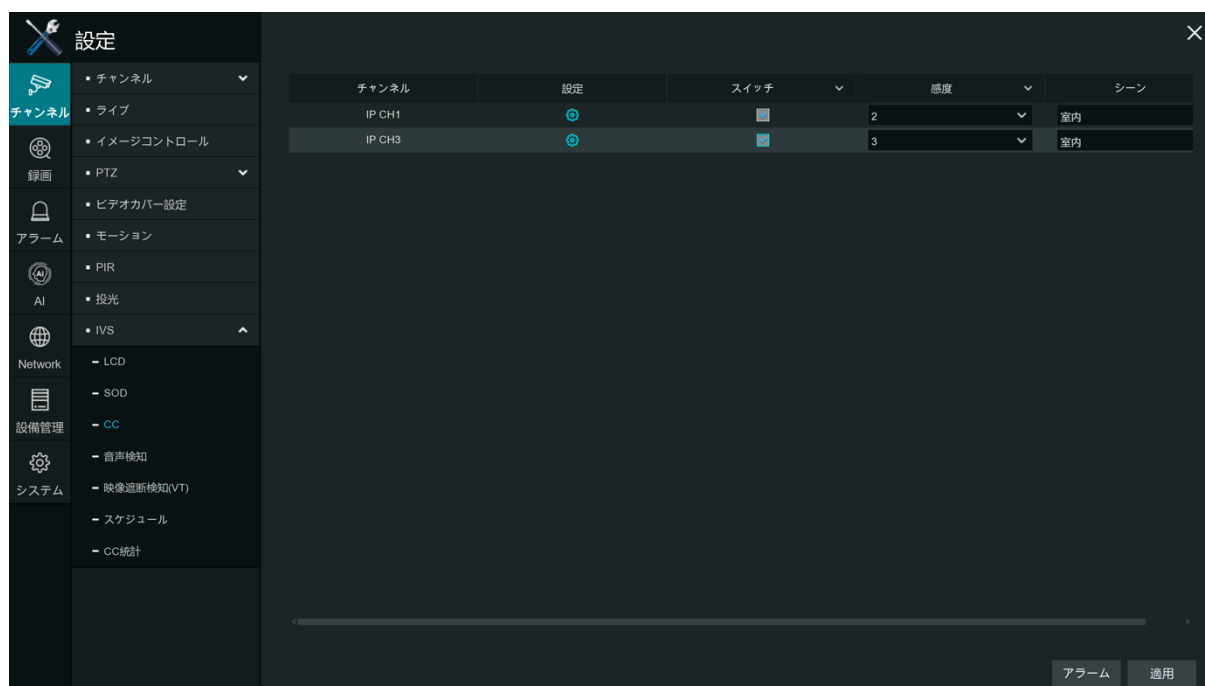
例) 下記画像白い瓶の検出の場合



5.1.9.3 CC (Cross-Counting): クロスカウント(人数カウント)

クロスカウント機能は、バーチャルラインを横断するオブジェクトや人をカウントします。

アラーム: [5.3.4 インテリジェントアラーム](#)を参照してください。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

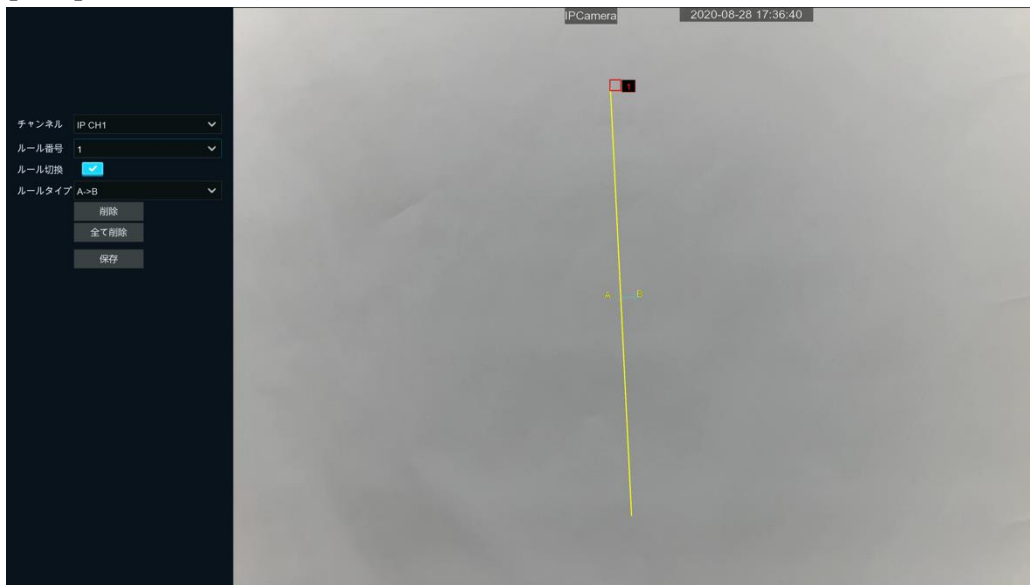
スイッチ: CC機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは1～4で、デフォルト値は2です。感度が高いほど、検知しやすくなります。

シーン: シーン設定では、屋内と屋外が選択できます。カメラの設置場所に合わせてシーンをお選びください。

エリア:  [設定]をクリックして、カメラ画像にバーチャルラインを描画します。

1. ルール番号を選択します。CCでは作れるバーチャルラインの数は1つのみです。
2. ルールスイッチをクリックします。  このアイコンになっている場合に検知が有効になります。
3. マウスを使用してカメラ画像の2点をクリックし、バーチャルラインを描きます。ルールタイプでサイドA-B2点間のIN/OUTを定義します。
4. [保存]をクリックして設定を保存します。



5. ラインの位置または長さを変更したい場合は、ライン端の赤いボックスをクリックすると、ラインの色が赤に変わります。マウスの左ボタンでライン上をドラッグすると位置が、ラインの端をクリックしてドラッグすると線の長さや位置が変更できます。
6. カメラの画像からラインの1つを削除する場合は、希望するラインの赤いボックスをクリックしてから、[削除]ボタンをクリックします。[すべて削除]をクリックすると、すべてのラインが削除されます。

Notice:

- 1)カメラ画像の端でラインを設定しないでください。誤作動の原因になります。
- 2)ラインは短くなり過ぎないように設定してください。誤作動の原因になります。



5.1.9.9 インテリジェント分析では、クロスカウントの統計結果を検索および表示できます。

5.1.9.4 音声検知

スイッチ: 音声検知機能を有効または無効にします。

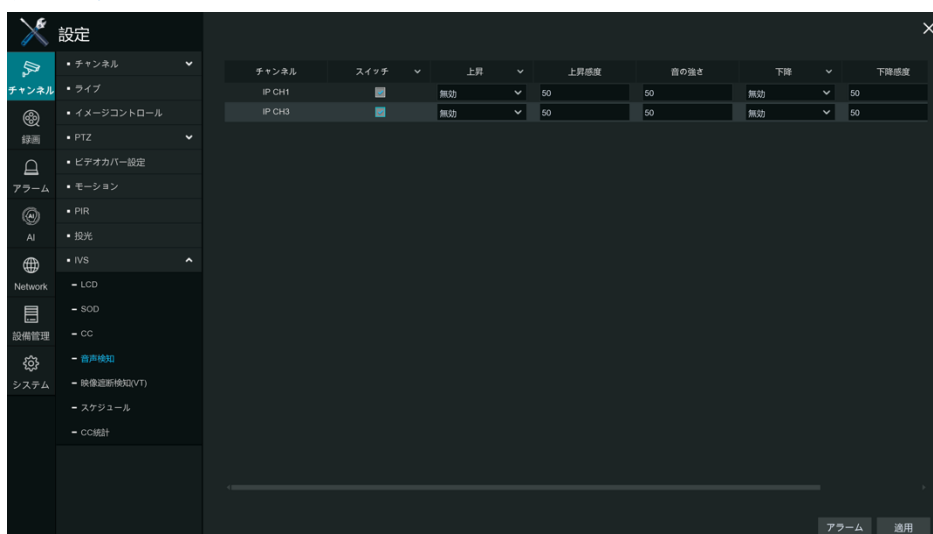
上昇: 音の上昇の検知を有効または無効にします。音が出ないと、突然音が立ち上がるのを検知します。

上昇感度: 音の上昇感度を設定します。最大100が最も感度が高くなります。

音の強さ: 音の強さを設定します。最大100が最も敏感です。

減少: 音の減少の検知を有効または無効にします。

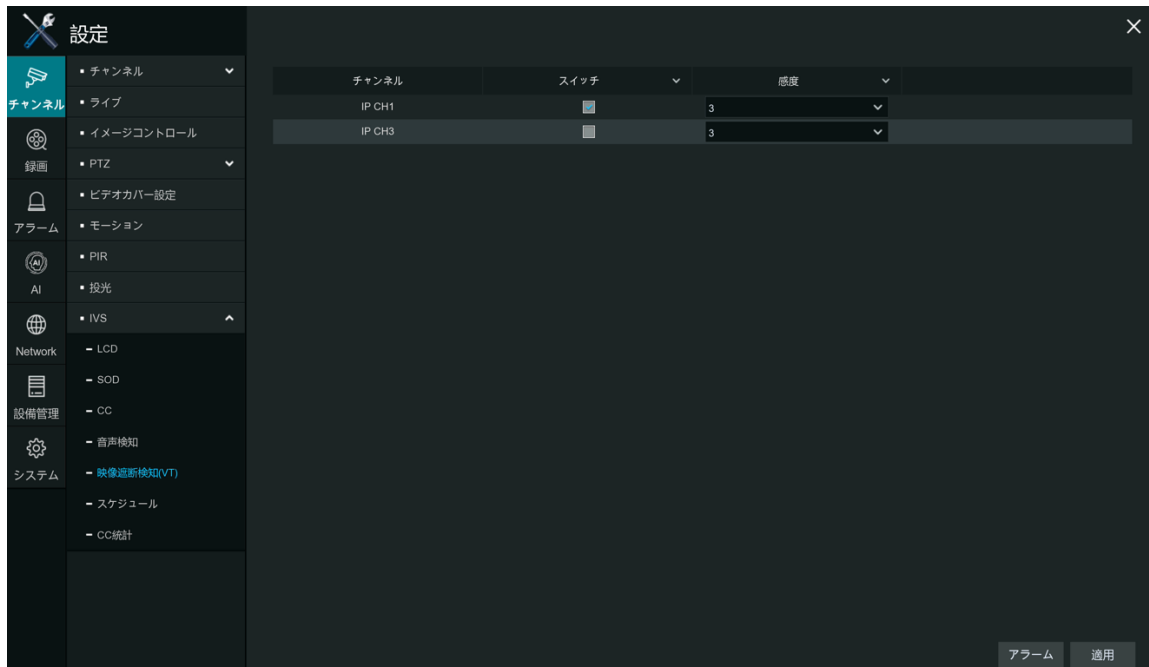
減少感度: 音の減少感度を設定します。最大100が最も感度が高くなります。



アラーム: [5.3.4 インテリジェントアラーム](#)を参照してください。

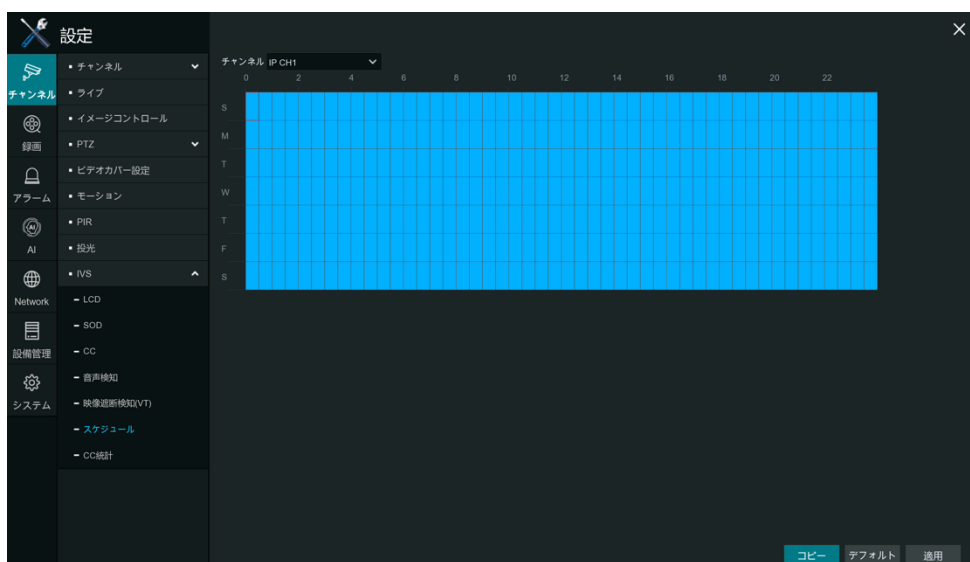
5.1.9.5 映像遮断検知

スプレーなどでカメラ映像が遮断され、表示できないことを検知します。



アラーム: [5.3.4 インテリジェントアラーム](#)を参照してください。

5.1.9.6 インテリジェントスケジュール

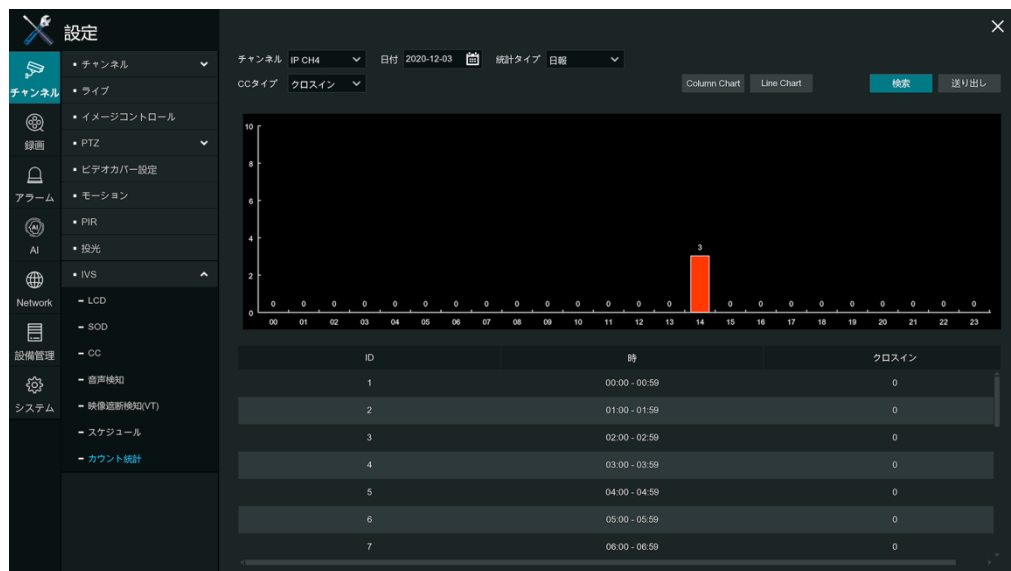


インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは 24 時間 x 1 週間で設定できます。

スケジュールを設定するには、チャンネルを 1 つ選択し、スロット上(マス目の上)をマウスカーソルでドラッグします。タイムスロットの水色のブロックの時間帯が、インテリジェント検知が有効な時間帯になり

ます。スケジュールは、選択したチャンネルでのみ有効です。他のチャンネルで同じスケジュールを使用したい場合は、コピー機能を使用してください。[保存]をクリックして設定を保存します。

5.1.9.7 CC 統計(クロスカウント統計)



統計結果はクロスインおよびクロスアウトの日/週/月/年単位の統計を参照できます。

コラムチャート: 棒グラフでデータを表示します。

ラインチャート: 折れ線グラフでデータを表示します。

5.2 録画

このメニューでは、録画パラメーターを設定できます。

設定	チャンネル	録画	アラーム	AI	Network	設備管理	システム
	チャンネル	エンコーダ設定	モーションアラーム設定	設定	一般設定	ディスク管理	一般設定
	ライブ	録画設定	PIR	認証	DDNS	クラウド	マルチユーザ背景
	イメージコントロール	キャプチャ	IOアラーム設定	アラーム	電子メール		保守設定
	PTZ		IVS	統計	FTP		カメラメンテナンス
	ビデオカバ設定		PTZアクション		IPフィルター		システム情報
	モーション		システムアラーム				
	PIR		アラーム予約				
	投光						
	IVS						

5.2.1 エンコーダ設定

このメニューでは、録画映像やネットワーク伝送の画質を設定できます。

メインストリームでは、主に HDD に保存される録画映像の品質を定義します。

サブストリームでは、デュアルストリーム録画を使用する場合の映像品質や、Web クライアントや CMS などのリモートアクセスを介して表示される映像の品質を定義します。

モバイルストリームでは、モバイル端末を利用したリモートアクセスを介して表示される映像の品質を定義します。



解像度: このパラメーターは、画像の大きさを定義します。

FPS: このパラメーターは、1 秒あたりのフレーム数を定義します。

ビデオエンコードタイプ: ビデオを圧縮するアルゴリズムを選択します。(H.264, H.265)

ビットレート制御: ビットレートのレベルを選択します。壁など単色の簡単なシーンには、固定ビットレート (CBR) が適しています。にぎやかな通りなどのより複雑なシーンには、可変ビットレート (VBR) が適しています。

ビットレートモード: 自分でビットレートを設定する場合は、ユーザー定義モードを選択します。事前定義ビットレートを設定する場合は、事前定義モードを選択します。

ビットレート: このパラメーターは、映像のデータ転送の速度を意味します。より高いビットレートでエンコードされた録画は、より良い品質になります。

音声: オーディオ機能付きのカメラを使用する場合は、この機能を選択してください。

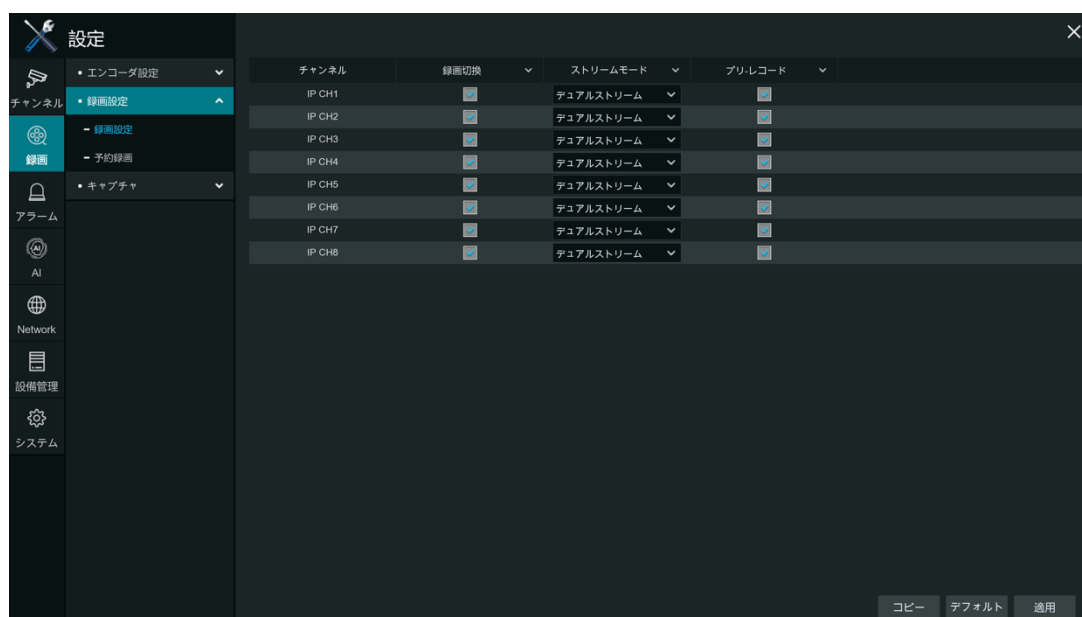
ETR: ETR オプションがチェックされた場合、このチャンネルでアラーム (モーションまたは I / O アラーム) が発生すると、このチャンネルは最大フレームレートとビットレートで録画されます。

5.2.2 録画設定

このメニューでは、チャンネル録画パラメータを構成できます。

5.2.2.1 録画設定

録画切換: 録画を有効にするチャンネルにチェックを入れてください。



ストリームモード: 録画品質を選択します。デュアルストリームを選択すると、システムはメインストリームとサブストリームの両方を録画します。デュアルストリームを録画する時、メインストリームは単一画面の再生に使用され、サブストリームは複数チャンネルの再生に使用されます。

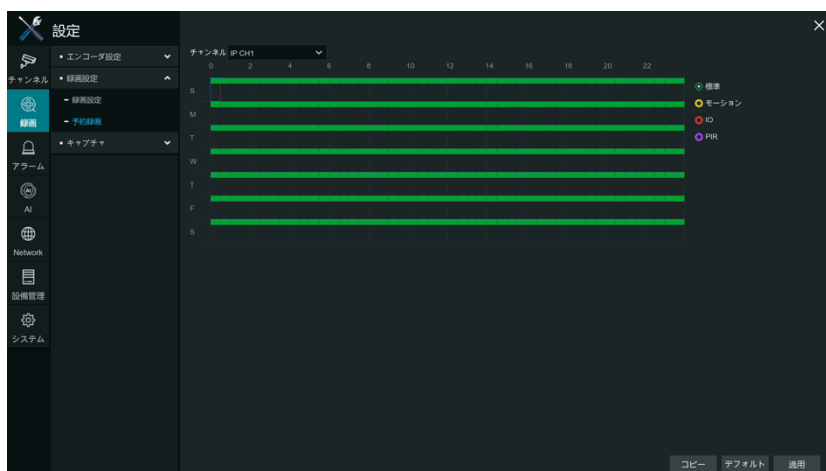
プリレコード: このオプションを有効にすると、NVR はアラームイベントが発生する数秒前に録画を開始します。主にモーションまたは I / O アラームなどのイベント録画を使用する場合は、このオプションを使用します。

5.2.2.2 予約録画

このメニューでは、各チャンネルの録画モードを定義できます。

録画スケジュールでは、標準(連続)録画、モーション録画、I / O アラーム録画の各録画機能毎にスケジュールを設定できます。(PIR 録画は利用出来ません。)

録画モードを設定するには、まず各モードのラジオボタン(標準、モーション、IO、PIR)をクリックし、カーソルをドラッグしてスロットを表示します。各時間帯が該当する色に反転している場合は録画スケジュールは 1 つのチャンネルごとに設定します。他のチャンネルで同じ録画スケジュールを使用する場合は、コピー機能を使用します。[適用]をクリックして設定を保存します。



チャンネル: チャンネルを選択して、録画パラメータを設定します。

標準: タイムスロットが緑色で表示されている場合、そのチャンネルが標準(連続)録画を行っていることを表します。

モーション: タイムスロットが黄色で表示されている場合、そのチャンネルがモーションが検知された場合に録画することを表します。

IO: タイムスロットが赤で表示されている場合は、そのチャンネルがセンサーがトリガーされた場合に録画することを表します。

PIR: タイムスロットに紫の表示がされている場合、そのチャンネルが PIR がトリガーされた場合に録画することを表します。※この機能は現在利用出来ません。

録画なし: タイムスロットが黒(色が無い)で表示されている場合は、そのチャンネルに予定している録画がないことを表します。

5.2.3 キャプチャー

このメニューでは、画像キャプチャ機能を設定できます。

5.2.3.1 キャプチャー

自動キャプチャ: チャンネルでの自動キャプチャーを有効または無効にします。

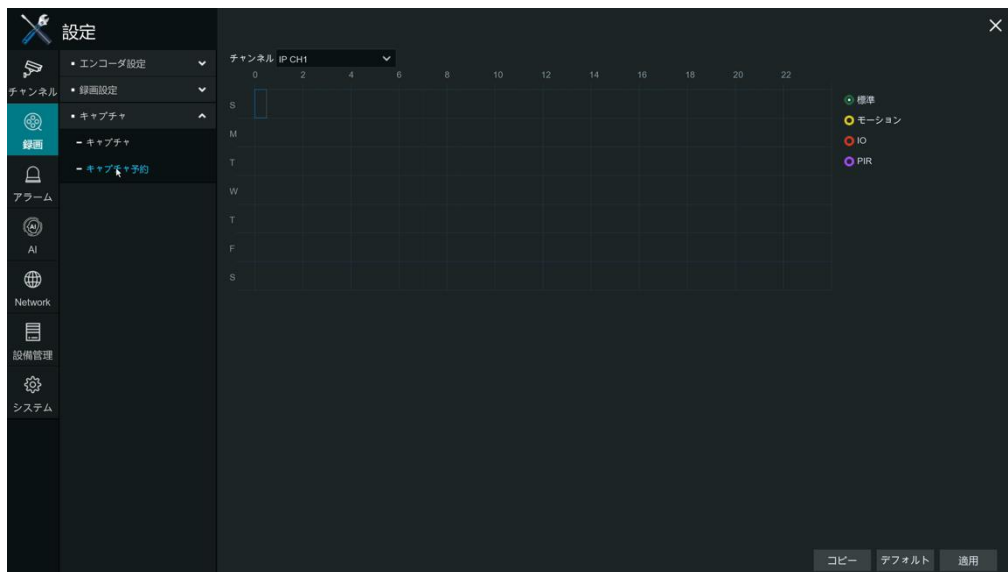
ストリームタイプ: キャプチャーを撮影するストリームをメイン、またはサブから選択します。画像の解像度に影響します。

標準間隔: 通常録画中に画像をキャプチャする時間の間隔を選択します。

アラーム間隔: モーション、IO アラームがトリガーされた際に画像をキャプチャする時間の間隔を選択します。



5.2.3.2 キャプチャー予約



チャンネル: チャンネルを選択して、キャプチャーのスケジュールを設定します。

標準: タイムスロットが緑色で表示されている場合、そのチャンネルが設定した感覚で自動キャプチャーを行っていることを表します。

モーション: タイムスロットが黄色で表示されている場合、そのチャンネルがモーションが検知された場合にキャプチャーすることを表します。

IO: タイムスロットが赤で表示されている場合は、そのチャンネルがセンサーがトリガーされた場合にキャプチャーすることを表します。

PIR: タイムスロットに紫の表示がされている場合、そのチャンネルが PIR がトリガーされた場合にキャプチャーすることを表します。※この機能は現在利用出来ません。

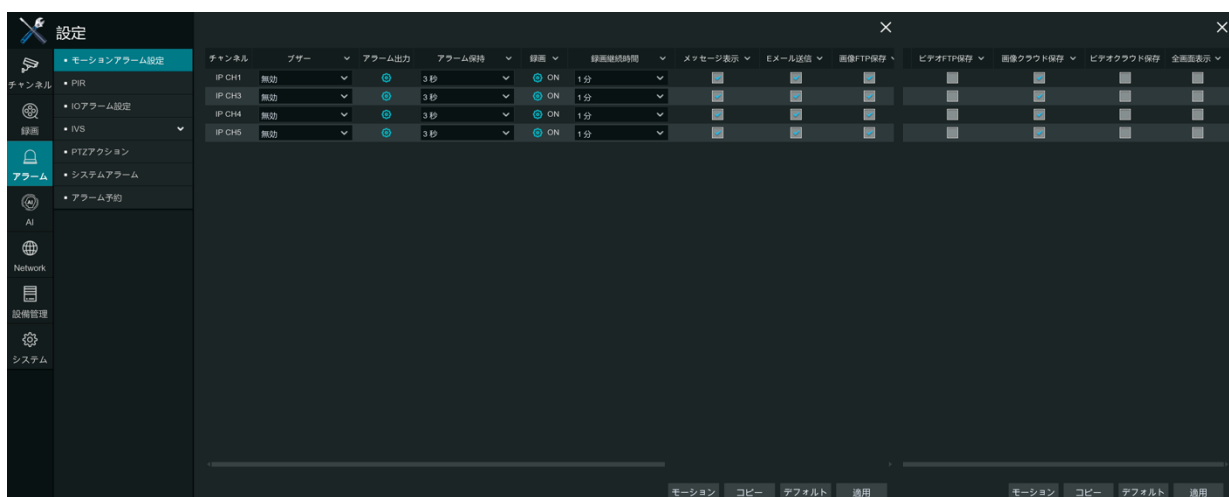
録画なし: タイムスロットが黒(色が無い)で表示されている場合は、そのチャンネルにキャプチャー保存の予定がないことを表します。

5.3 アラーム

このセクションでは、アラームパラメータを設定できます。



5.3.1 モーションアラーム設定



ブザー: NVR はその内部ブザーを使用してアラーム音を発することができます。モーションが検知された際のブザーの持続時間を設定できます。

アラーム出力: 各カメラ  をクリックして [アラーム出力] を選択します。モーションを検知したときに出力される NVR および IP カメラのアラーム出力ポートを選択します。



アラーム保持: モーションを検知した時のアラーム出力する持続時間を設定します。

録画:  アイコンをクリックして、モーションを検知したときに録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間: イベントが発生してから NVR が録画を継続する時間を設定できます。30 秒から最大 5 分までの間で設定できます。

メッセージ表示: モーションを検知した場合に、ライブビュー画面で  アイコンを表示するにはチェックを入れてください。

E メール送信: モーションを検知した場合に NVR からメールを送信したい場合はチェックを入れてください。

画像 FTP 保存: モーションを検知した場合にキャプチャ画像を FTP サーバーにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。FTP を有効にするには、[「5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする」](#)をご覧ください。

ビデオ FTP 保存: モーションを検知した場合にビデオ映像を FTP サーバーにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。FTP を有効にするには、[「5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする」](#)をご覧ください。

画像クラウド保存: モーションを検知した場合にキャプチャ画像をクラウドにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。クラウドを有効するには、[「5.6.2.2 クラウドアカウントを有効化」](#)をご覧ください。

ビデオクラウド保存: モーションを検知した場合にビデオ映像をクラウドにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。クラウドを有効にするには、[「5.6.2.2 クラウドアカウントを有効化」](#)をご覧ください。

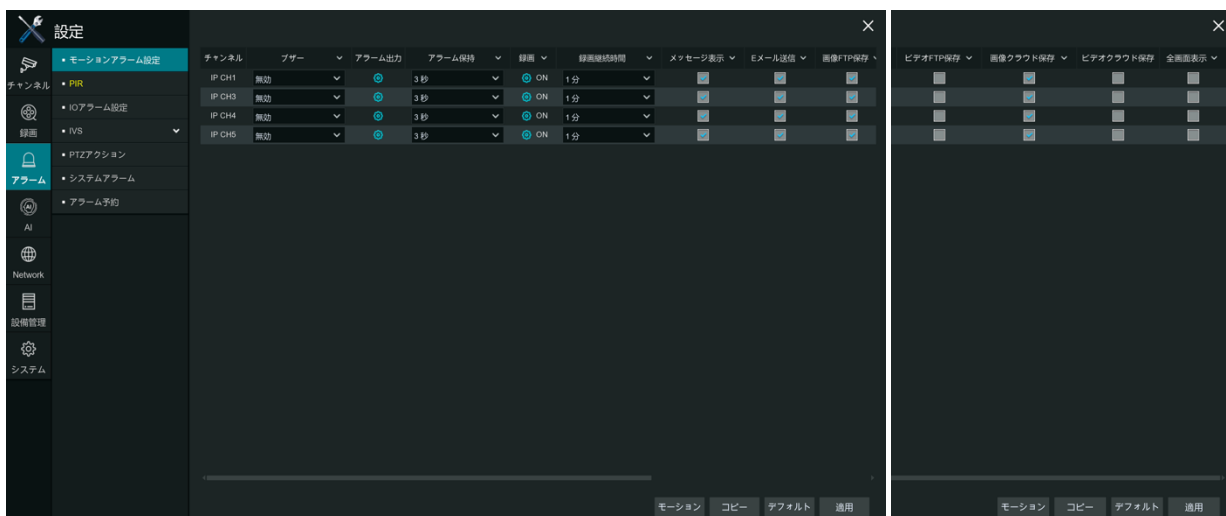
全画面表示: この機能を有効にすると、モーションを検知した場合に、そのチャンネルが全画面で表示されます。

モーション: 右下隅のモーションボタンをクリックするとモーションのパラメーター設定が可能です。詳細は [5.1.6 モーション](#) を参照してください。

コピー: 設定したチャンネルのパラメーター値を残りのチャンネルにコピーします。

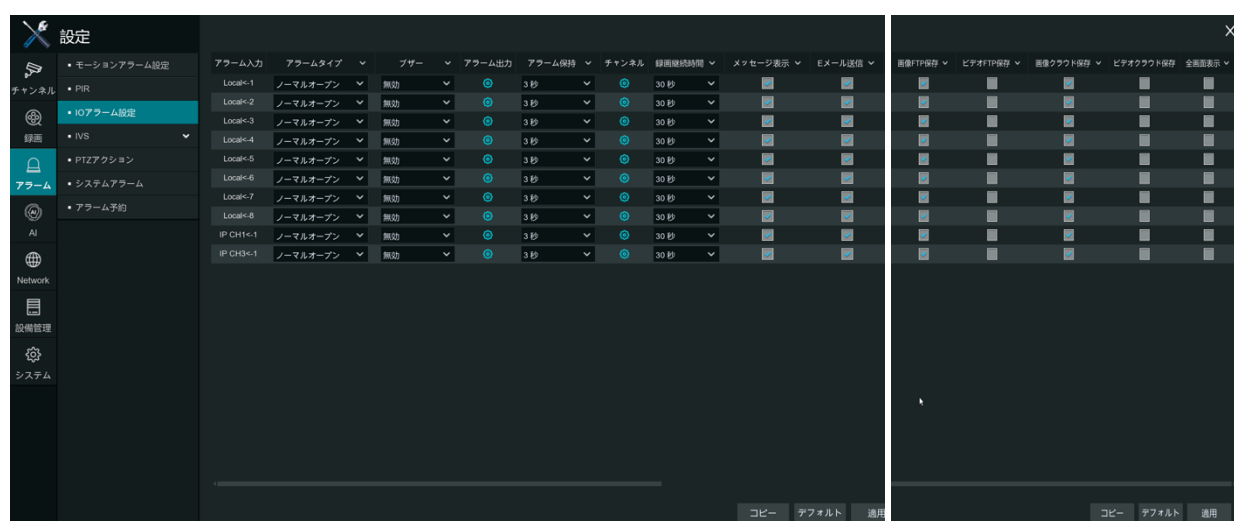
5.3.2 PIR

本機では現在ご利用いただけません。



5.3.3 I/O アラーム設定

外部 I / O アラームデバイスを接続して NVR で作動する際に設定します。



アラーム入力: アラーム入力のチャンネル(ポート)を表示します。

アラームタイプ: ノーマルオープン、ノーマルクローズ、オフの 3 つのタイプがあります。外部センサータイプに一致するものを選択するか、オフを選択してセンサートリガー機能を閉じます。

ブザー: NVR はその内部ブザーを使用してアラーム音を発することができます。センサーがトリガーされた際のブザーの持続時間を設定できます。

アラーム出力: 各カメラ  をクリックして [アラーム出力] を選択します。センサーがトリガーされたときに出力される NVR および IP カメラのアラーム出力ポートを選択します。



アラーム保持: センサーがトリガーされた時のアラーム出力する持続時間を設定します。

録画:  アイコンをクリックして、センサーがトリガーされた時に録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間: イベントが発生してから NVR が録画を継続する時間を設定できます。30 秒から最大 5 分までの間で設定できます。

メッセージ表示: センサーがトリガーされたとき画面にアラームメッセージを表示します。

メール送信: センサーがトリガーされたときに指定された電子メールにメールを送信するように設定します。

画像 FTP 保存: センサーがトリガーされた場合にキャプチャ画像を FTP サーバーにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。FTP を有効にするには、[「5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする」](#)をご覧ください。

ビデオ FTP 保存: センサーがトリガーされた場合にビデオ映像を FTP サーバーにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。FTP を有効にするには、[「5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする」](#)をご覧ください。

画像クラウド保存: センサーがトリガーされた場合にキャプチャ画像をクラウドにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。クラウドを有効するには、[「5.6.2.2.クラウドアカウントを有効化」](#)をご覧ください。

ビデオクラウド保存: センサーがトリガーされた場合にビデオ映像をクラウドにアップロードしたい場合はチェックを入れてください。クラウドを有効にするには、[「5.6.2.2 クラウドアカウントを有効化」](#)をご覧ください。

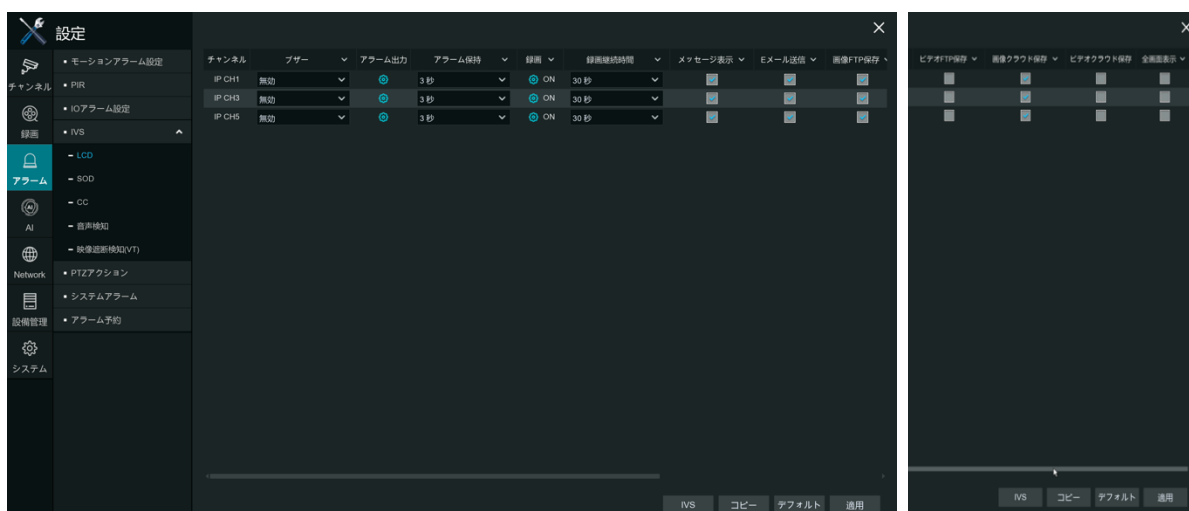
全画面表示: この機能を有効にすると、センサーがトリガーされた場合に、そのチャンネルが全画面で表示されます。

コピー: 設定したチャンネルのパラメータ値を残りのチャンネルにコピーします。

5.3.4 IVS

ラインクロス検知、静止物体検知、クロスカウントなどのオプションのインテリジェント機能を利用した場合のアラーム設定が可能です。インテリジェント機能の検出ルールに従ってイベントがトリガーされると、パラメーター設定に基づいてアラームアクションを行います。

各設定項目に関しては[「5.3.1.モーションアラーム設定」](#)、[「5.3.3 I/O アラーム設定」](#)をご覧ください。

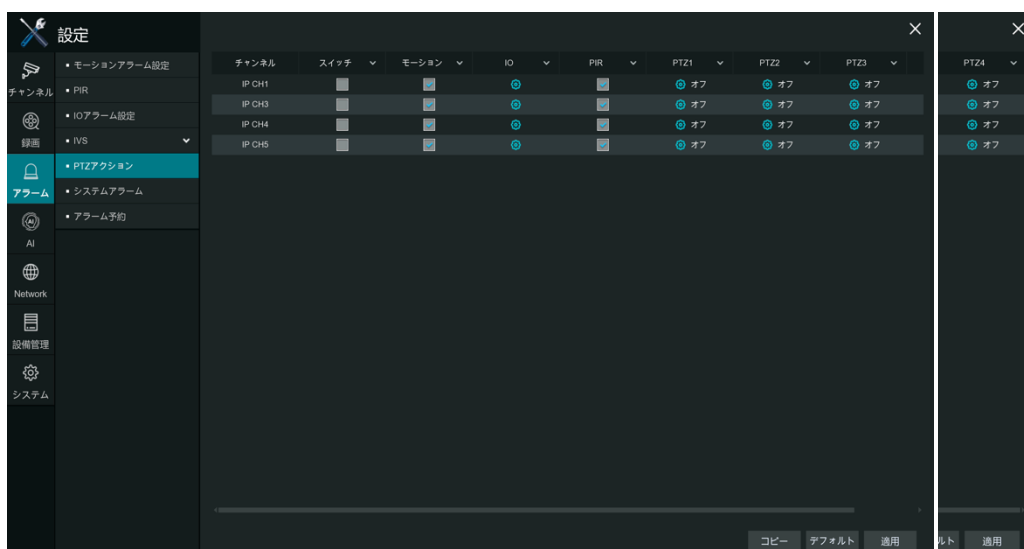


IVS: 右下隅のインテリジェントボタンをクリックすると各インテリジェント機能のパラメーター設定が可能です。詳細は [5.1.9 インテリジェント](#) を参照してください。

コピー: 設定したチャンネルのパラメータ値を残りのチャンネルにコピーします。

5.3.5 PTZ アクション

PTZ カメラを接続している場合は、アラームイベントに連動して PTZ カメラの制御が可能です。本機能を使用すると、モーションまたは I/O アラームが発生したときに PTZ カメラをプリセットポイントに向けることができます。



スイッチ: PTZ アクション機能を有効または無効にします。

モーション: モーション検知アラームにより PTZ アクションを行う場合はチェックします。

IO: センサー入力により PTZ アクションを行う場合は該当するアラームチャンネルをチェックします。

PIR: 現在本機ではご利用いただけません。

PTZ:  アイコンをクリックして、PTZ カメラをプリセットポイントに設定します。 [5.1.4.1 PTZ コントロール](#) でプリセットポイントを表示します。

5.3.6 システムアラーム

このメニューでは、NVR のシステムイベントを設定することができます。

イベントタイプ: 以下のオプションからイベントタイプを選択します。

- HDD 残容量なし/ディスク容量なし: HDD の残容量が無くなった場合
- HDD エラー: HDD が正しく利用出来なくなった場合
- ビデオロス: カメラの接続が切れた場合

スイッチ: イベントの監視を有効にするには、ボックスをチェックします。



ブザー: NVR はその内部ブザーを使用してアラーム音を発することができます。センサーがトリガーされた際のブザーの持続時間を設定できます。

アラーム出力:  各カメラをクリックして、[アラーム出力]を選択します。動体検知がトリガーされたときに出力される NVR および IP カメラのアラーム出力ポートを選択します。



遅延時間: ビデオロスイベントを検出するまでの時間を設定します。

無効の場合はビデオロス直後にアクションします。30 秒に設定した場合は、ビデオロス発生から 30 秒間はアクションしません。(30 秒の間に復旧した場合はイベントは発生しません。)

アラーム保持: イベント発生時のアラーム出力する持続時間を設定します。

メッセージ表示: ディスク容量の不足、ディスクエラーまたはビデオロスが発生するとき画面にメッセージを表示するには、ボックスを選択してください。

メール送信: イベントが発生した場合に指定された電子メールにメールを送信するように設定します。

5.4 AI

本機では高度な AI 機能をご利用いただけます。AI をクリックして AI 管理ページに移動します。

設定	 チャンネル	 録画	 アラーム	 AI	 Network	 設備管理	 システム
	チャンネル ライブ イメージコントロール PTZ ビデオカバー設定 モーション PIR 投光 IVS	エンコード設定 録画設定 キャプチャ	モーションアラーム設定 PIR IOアラーム設定 IVS PTZアクション システムアラーム アラーム予約	設定 認証 アラーム 統計	一般設定 DDNS 電子メール FTP IPフィルター	ディスク管理 クラウド	一般設定 マルチユーザ管理 保守設定 カメラメンテナンス システム情報

5.4.1 顔検出、人&車両検出の設定

5.4.1.1 顔検出

設定				チャンネル		設定	スイッチ	▼
チャンネル	顔検出			IP CH3				
	人&車両検出			IP CH4				
	録画							
	アラーム							
AI	ヒートマップ							
	スケジュール							
	認証							
Network	アラーム							
	統計							
設備管理								
システム								
				適用				

チャンネル: AI 機能が利用できる IP カメラの CH が表示されます。

スイッチ: スイッチをオンにすると AI 機能が有効になります。

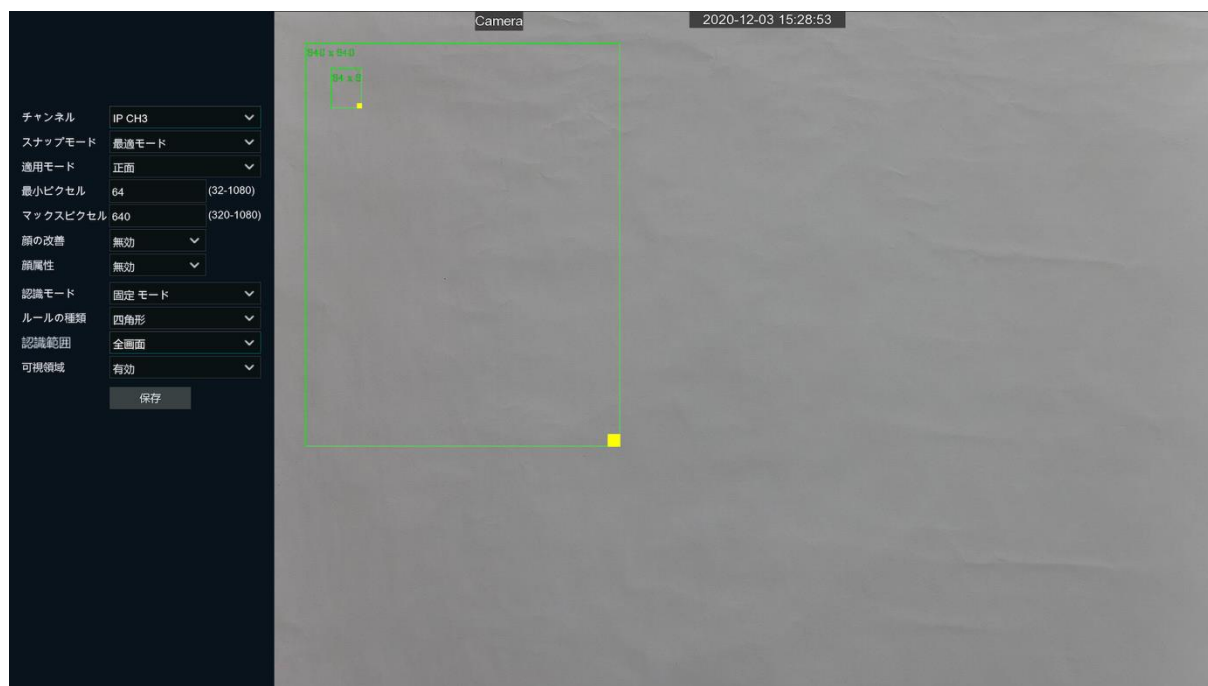


: スイッチオンが可能



: スイッチが不可能。他の機能で使用している。

設定: をクリックすると、顔検出の設定ページが表示されます。



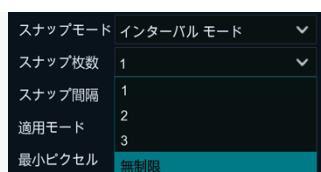
チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スナップモード: リアルタイムモード/ 最適モード/ インターバルモードから選択できます。

リアルタイムモード: 顔を捉えた際の最初の画像と、最後にもう一枚の画像をスナップします。

最適モード: 顔を捉え終えた後に、その間取り続けた画像から一枚の顔画像をスナップします。

インターバルモード: サブパラメーター「スナップ枚数」「スナップ間隔」の設定に応じて画像をスナップします。スナップ枚数:スナップする枚数を 1、2、3、無制限から設定できます。



スナップ間隔: 画像をスナップする時間の間隔を設定します。設定範囲は 1～255 です。

適用モード: 正面ビュー/ マルチアングル/ カスタマイズ 設定。カスタマイズモードを選択した場合、水平レンジ/垂直レンジ/傾斜レンジ/画像の範囲に応じて品質を設定できます。また、デフォルトの数値を使用するには、 (マルチアングルのデフォルト)または (正面ビューのデフォルト)のデフォルトを選択します。

適用モード	カスタマイズ	
水平レンジ	30	(0-180)
垂直レンジ	30	(0-180)
傾斜レンジ	45	(0-180)
画像品質	100	(0-100)
正面 デフォルト マルチアングル デフォルト		

最小ピクセル: 設定範囲は32～1080、この範囲よりも小さい顔は検出しない。

マックスピクセル: 設定範囲は32～1080、この範囲よりも大きな顔は検出しない。

顔の改善: 有効または無効に設定することができます。顔の認識精度が上がりますが、本機の負荷率が上がります。

顔属性: 有効を選択すると、マスクの有無や性別、年代など、顔の属性情報を検出することができます。

認識モード: 固定モードまたは動きモードを自由に選択できます。デフォルトは固定モードです。

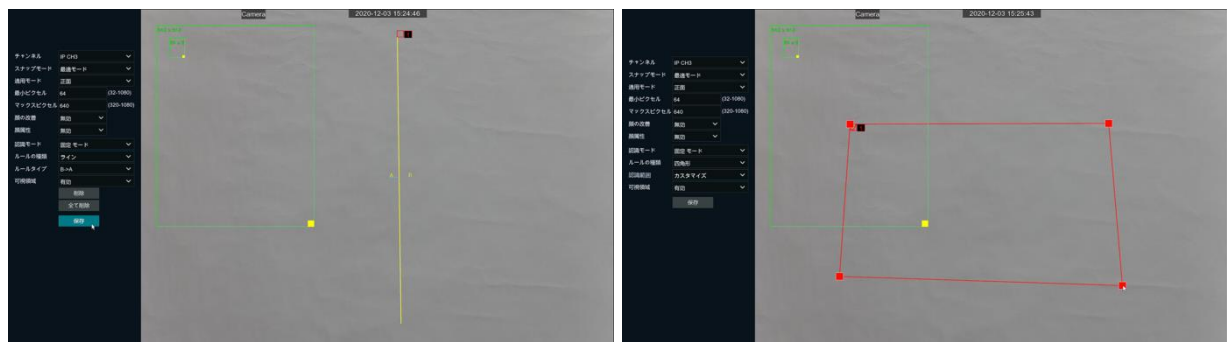
-固定モード: 検知を継続的に行います。

-動きモード: 動きが無い場合は検知しません。

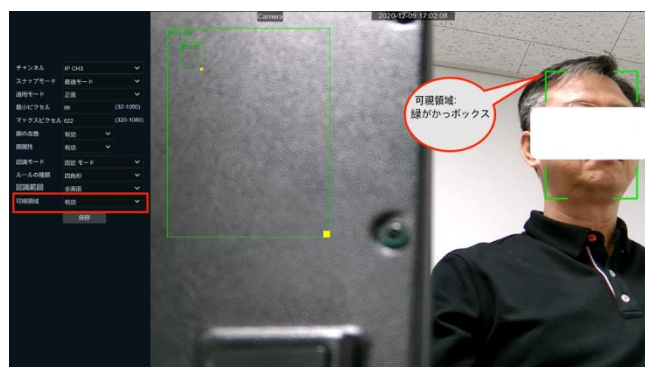
ルールの種類: 四角形の検出とライン検出を自由に選択できます。

検出範囲: ルールの種類でライン検出を選択した場合、検出範囲オプションメニューは表示されません。

ライン検出オプションのルールタイプの表示では、A-> BタイプまたはB-> Aタイプを選択できます。ルールの種類を四角形に選択した場合、[認識Range]オプションで[カスタマイズ]に設定すると、ページにボックスが表示されます。マウスでボックスのラインをクリックすると検出領域をドラッグできます。[全画面]を設定した場合は、画面全体が範囲に設定されます。デフォルトは全画面です。設定が終了したら[保存]をクリックしてください。

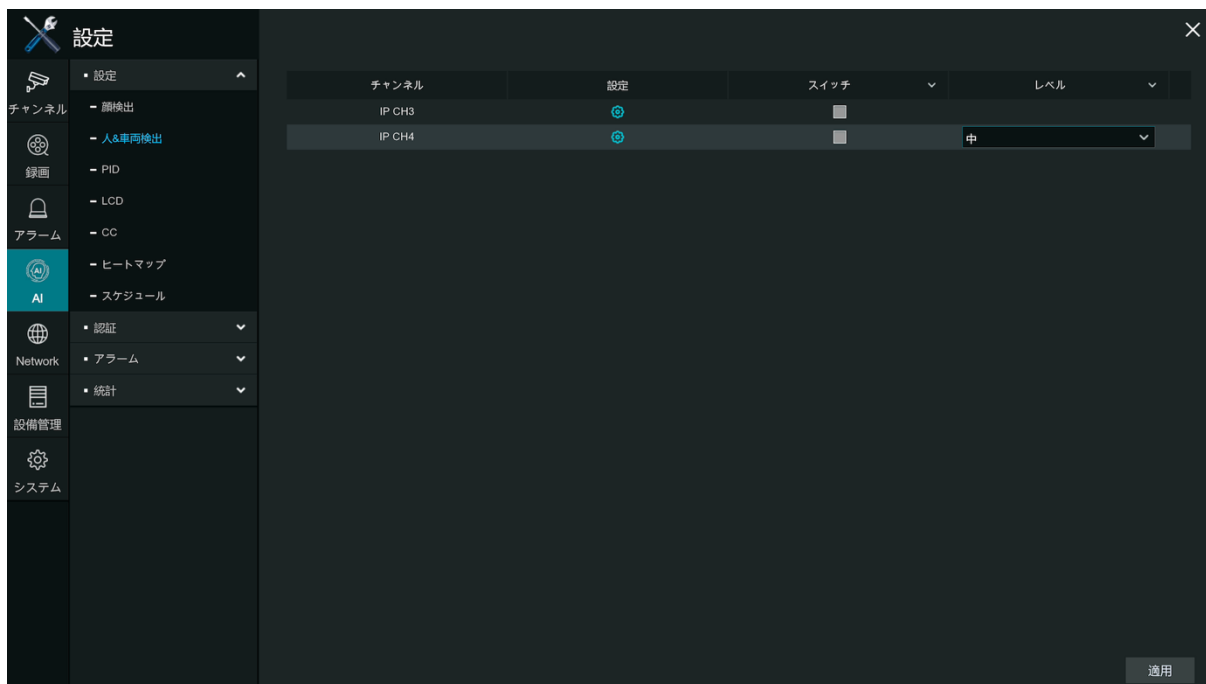


可視領域: 有効を選択すると、顔検出領域を表示する緑のボックスが表示されます。無効を選択すると、非表示になります。



5.4.1.2 人&車両検出設定

設定ページから**人&車両検出** をクリックします。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: スイッチをオンにし、[適用]をクリックします。



: スイッチオンが可能



: スイッチが不可能. 他の機能で使用している。

設定: 人&車両検知のセットアップページを  クリックします。



1. 設定するチャンネルを選択します。
2. **スナップモード:** デフォルト/リアルタイムモード/インターバルモードから選択できます。

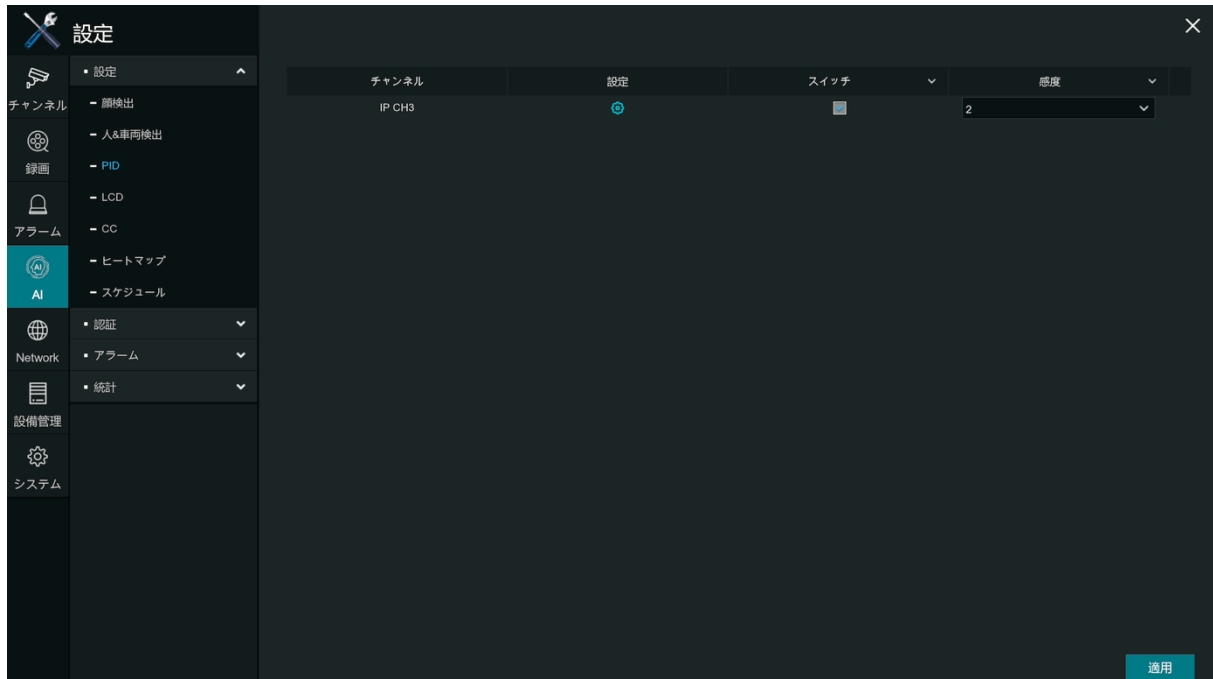
3. **スナップ枚数**: インターバルモードを選択した場合、スナップする枚数を 1、2、3、無制限から設定できます。

スナップモード	インターバル モード	▼
スナップ枚数	1	▼
スナップ間隔	1	
適用モード	2	
	3	
最小ピクセル	無制限	

4. **スナップ間隔**: 画像を保存する時間の間隔を設定します。設定範囲は 1～255 です。
5. **最小ピクセル**: 設定範囲は32～1080、デフォルト 64
6. **マックスピクセル**: 設定範囲は320～1080、デフォルト 640
7. **感度**: 設定範囲は 1～100、デフォルト 60
8. **認識タイプ**: 検出する対象を人、車両から選択します。認識タイプ ☒ 人 ☒ 車両
9. **認識モード**: 固定モード または 動きモード から選択できます。デフォルトは 固定モードです。
-固定モード: 検知を継続的に行います。
-動きモード: 動きが無い場合は検知しません。
10. **検出範囲**: [認識Range]オプションで[カスタマイズ]に設定すると、ページにボックスが表示されます。マウスでボックスのラインをクリックすると検出領域をドラッグできます。[全画面]を設定した場合は、画面全体が範囲に設定されます。デフォルトは全画面です。設定が終了したら[保存]をクリックしてください。
11. **可視領域**: 有効を選択すると、人・車両の検出領域を表示する緑のボックスが表示されます。無効を選択すると、非表示になります。

5.4.1.3 PID(Perimeter Intrusion Detection) 境界侵入検知機能

境界侵入検知機能は、定義済みの仮想領域に出入りする人、車両を検出し、カウントして統計します。統計は 1、2、3、4、5、6 日間または週間、月間、年間で集計できます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: スイッチをオンにし、[適用]をクリックします。

感度: 感度レベルを設定します。レベル 1 は最低の感度レベルで、レベル 4 は最高の感度レベルです。

設定: 人&車両検知のセットアップページを  クリックします。



認識タイプ: 人や車両を選択します。認識タイプ ☒ 人 ☒ 車両

ルール番号: これは検知エリアの番号です。設定できるエリアは最大 4 つです。

ルール切換:  アイコンになっているルール番号(エリア)だけが有効になります。

ルールタイプ:

A→B: A からサイド B への横断のみを検知します。

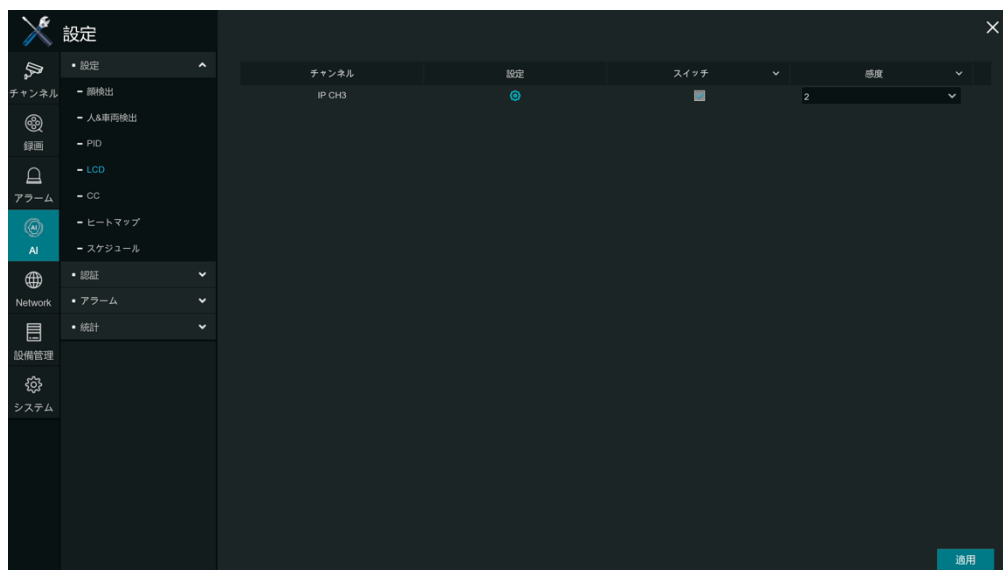
B→A: B からサイド A への横断のみを検知します。

A↔B: サイド B からサイド A、またはサイド A からサイド B への横断を検知します。

可視領域: 有効を選択すると、人・車両の検出領域を表示する緑のボックスが表示されます。無効を選択すると、非表示になります。

5.4.1.4 LCD (Line Crossing Detection):ラインクロス検知

ラインクロス検知機能は、事前に定義した画面上のバーチャルラインを横断する人、車両を検出し、カウントして統計します。統計は1、2、3、4、5、6日間または週間、月間、年間で集計できます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: LCD機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは1～4です。感度が高いほど、検出しやすくなります。

設定: 人&車両検知のセットアップページを  クリックします。



認識タイプ: 人や車両を選択します。認識タイプ ☒ 人 ☒ 車両

ルール番号: これは検知エリアの番号です。設定できるエリアは最大 4 つです。

ルール切換: ☒ アイコンになっているルール番号(エリア)だけが有効になります。

ルールタイプ:

A→B: A からサイド B への横断のみを検知します。

B→A: B からサイド A への横断のみを検知します。

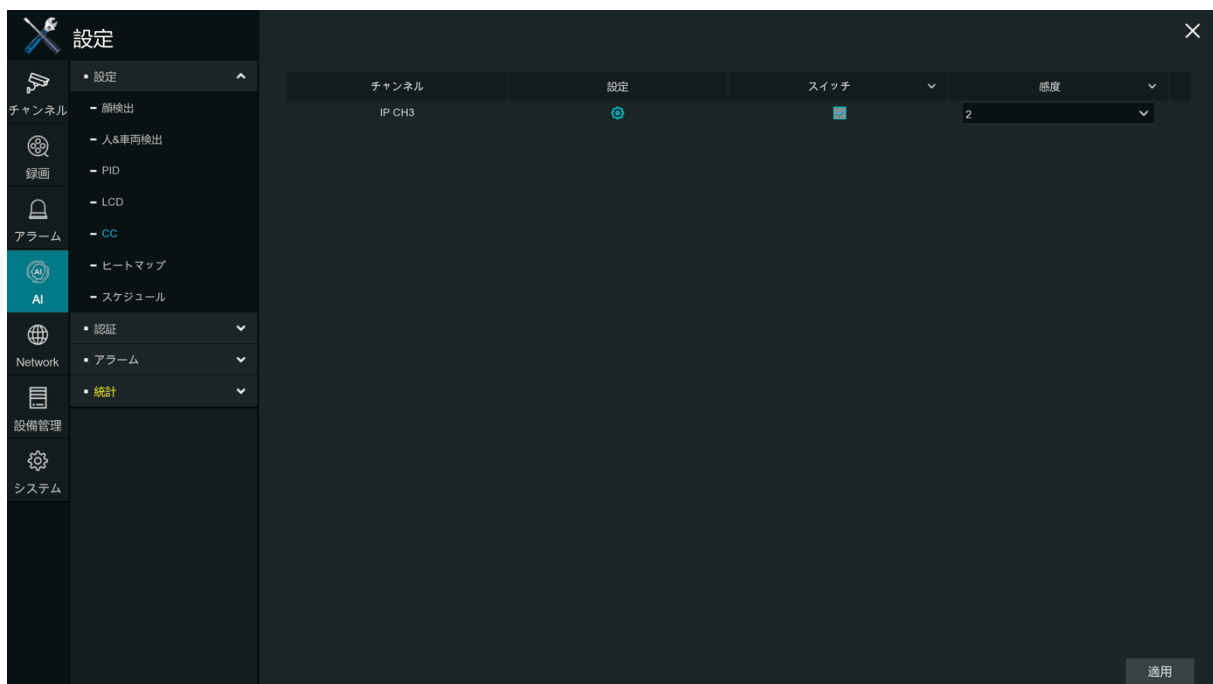
A↔B: サイド B からサイド A、またはサイド A からサイド B への横断を検知します。

可視領域: 有効を選択すると、人・車両の検出領域を表示する緑のボックスが表示されます。無効を選択すると、非表示になります。

5.4.1.5 CC (Cross-Counting):クロスカウント(人数カウント)

クロスカウント機能は、バーチャルラインを横断する人、車両、またはモーション（その他映像上での動体）を検出し、カウントして統計します。統計は1、2、3、4、5、6日間または週間、月間、年間で集計できます。

カウントされた結果は、リアルタイムで画面の左上に表示されます。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: CC機能を有効または無効にします。

感度: 感度レベルは1～4で、デフォルト値は2です。感度が高いほど、検知しやすくなります。

設定: 人&車両検知のセットアップページを  クリックします。

タイプ: モーション、人、車両を選択します。

アラーム番号: アラームを発報するカウントの閾値を設定します。例えば 50 に設定した場合、カウント数が 50 を超えたタイミングで設定したアラームが鳴動します。

(別途アラームの設定が必要です。)

開始時刻: 検知開始時間を設定する。

終了時刻: 検知終了時刻を設定する。

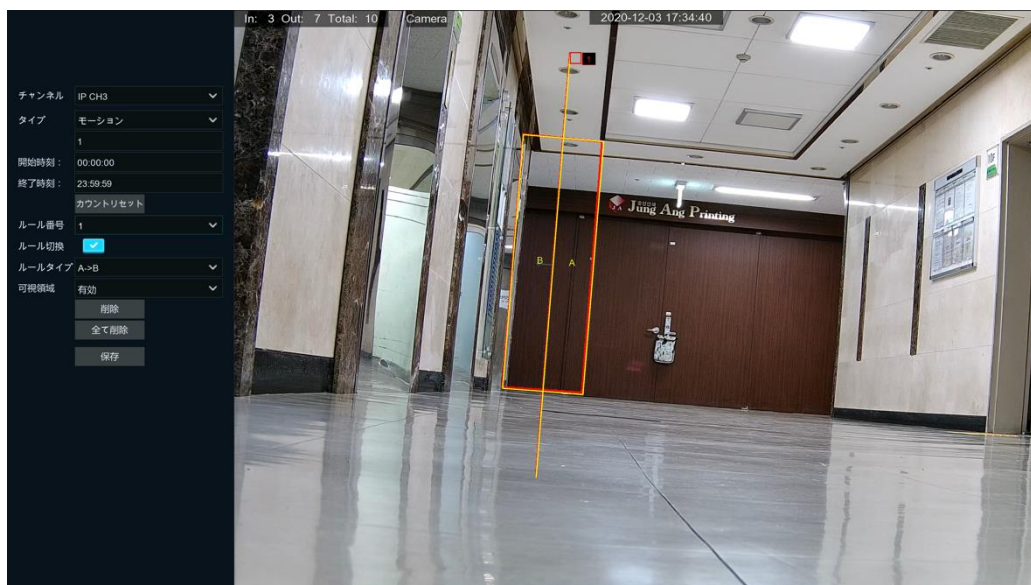
カウントリセット: 現在カウントしている集計結果をリセットし 0 にします。

ルール番号:

- ルール番号を選択します。CC では作れるバーチャルラインの数は1つのみです
- ルールスイッチをクリックします。  このアイコンになっている場合に検知が有効になります。
- マウスを使用してカメラ画像の2点をクリックし、バーチャルラインを描きます。ルールタイプでサイドA-B2点間のIN/OUTを定義します。
- [保存]をクリックして設定を保存します。

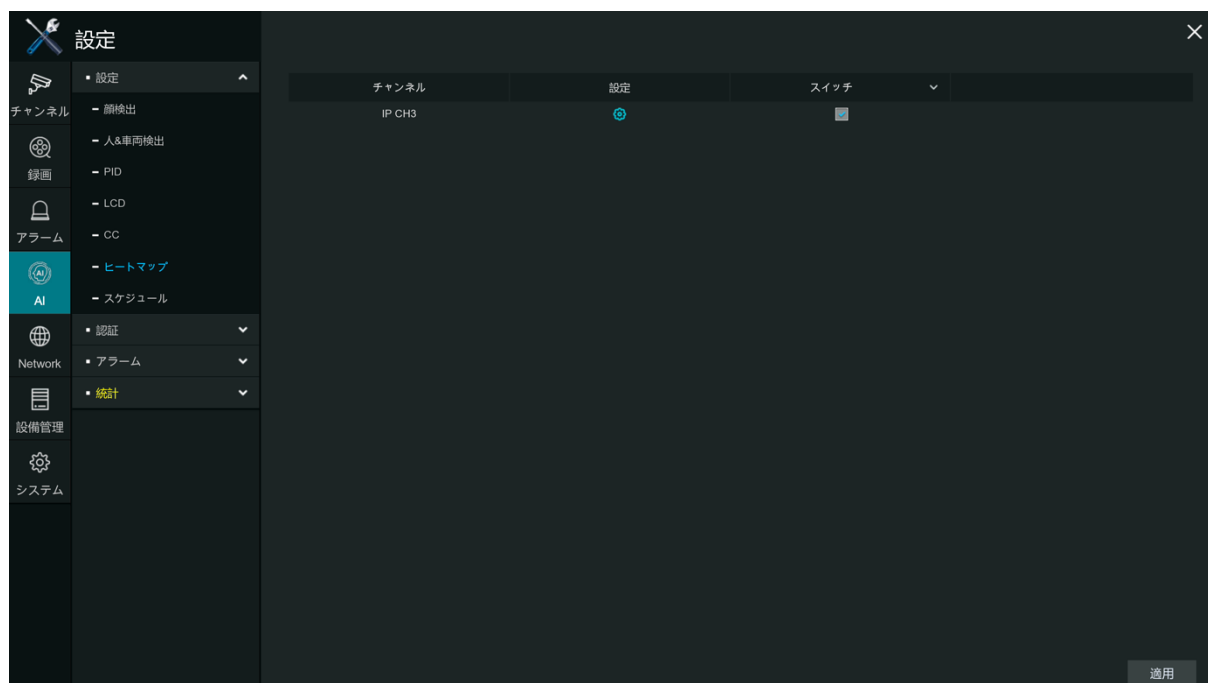
可視領域: 有効を選択すると、検出領域を表示する緑のボックスが表示されます。無効を選択すると、非表示になります。

[5.4.4.3 クロスカウント](#)の統計結果を検索および表示できます。



5.4.1.6 ヒートマップ(HeatMap)

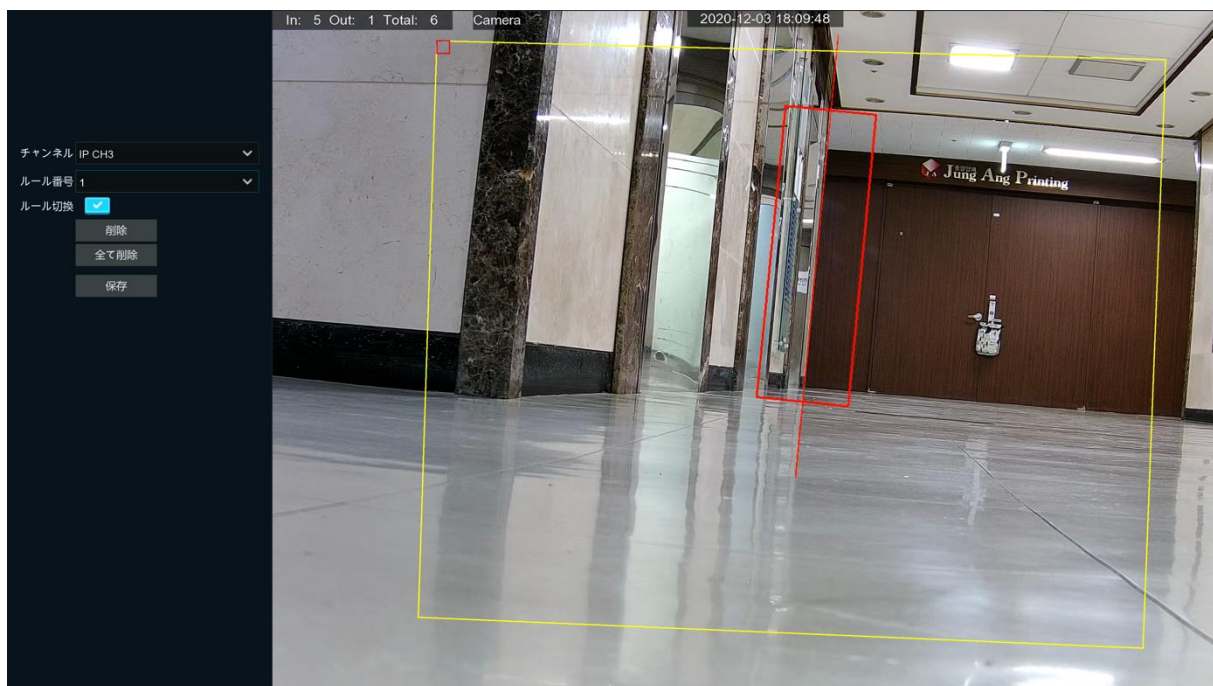
ヒートマップ(heat map)は、熱を意味するヒート(heat)と場所を意味するマップ(map)を合わせた言葉で、映像内のモーション(動体)を検出し、変化の量を段階的に色で表現することができます。変化の多い場所は赤く、少ない場所を青く表示し、映像上の動体の滞留を視覚的に捉えることができます。またヒートマップでは、変化量を時間的に統計して表示することも可能です。



チャンネル: 設定するチャンネルを選択します。

スイッチ: スイッチをオンにし、[適用]をクリックします。

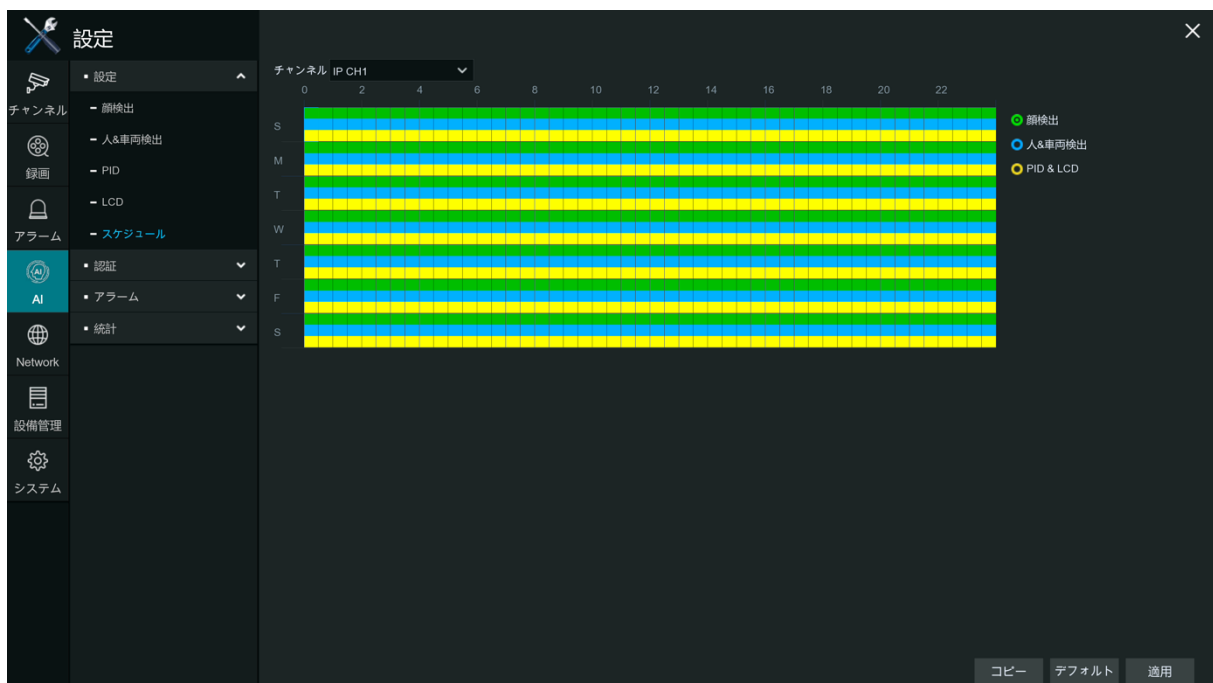
設定: 検知のセットアップページを  クリックします。



ルール番号: ルール番号を選択します。ヒートマップでは作れる検知領域の数は1つのみです

ルール切替:  アイコンになっているルール番号(エリア)だけが有効になります

5.4.1.7 AI スケジュール



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは 24 時間 x 1 週間で設定できます。

スケジュールを設定するには、チャンネルを 1 つ選択し、スロット上(マス目の上)をマウスカーソルでドラッグします。タイムスロットのブロックに各機能の色が付いている時間帯が、インテリジェント検知が有効な時間帯になります。スケジュールは、選択したチャンネルでのみ有効です。他のチャンネルで同じスケジュールを使用したい場合は、コピー機能を使用してください。[保存]をクリックして設定を保存します。

5.4.2 認証

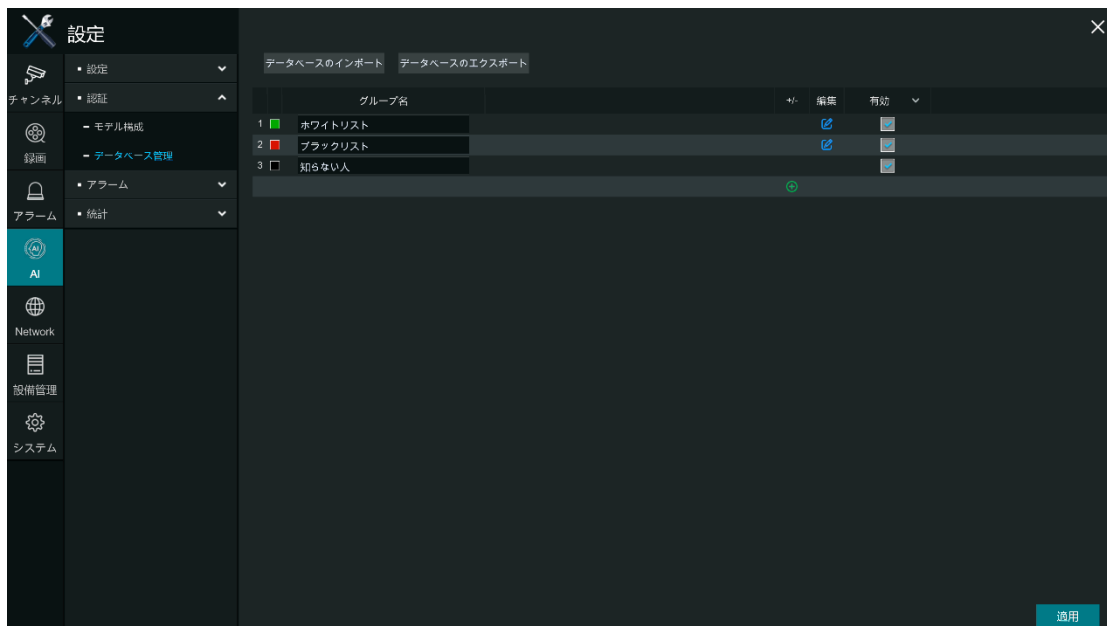
5.4.2.1 モデル構成

ここでは、顔モデルを「ローカル」と「IP チャンネル」の 2 つのオプションから選択できます。デフォルトは、[顔認識モデル自動認識]が選択されています。自動を選択すると、IP カメラが顔認証モデルである場合には IP チャンネルが選択され、カメラで顔認証します。ない場合は、ローカルで顔認識をします。自動せず、[ローカル]、または[IP チャンネル]を選択した場合は、選択したデバイスで顔認証します。

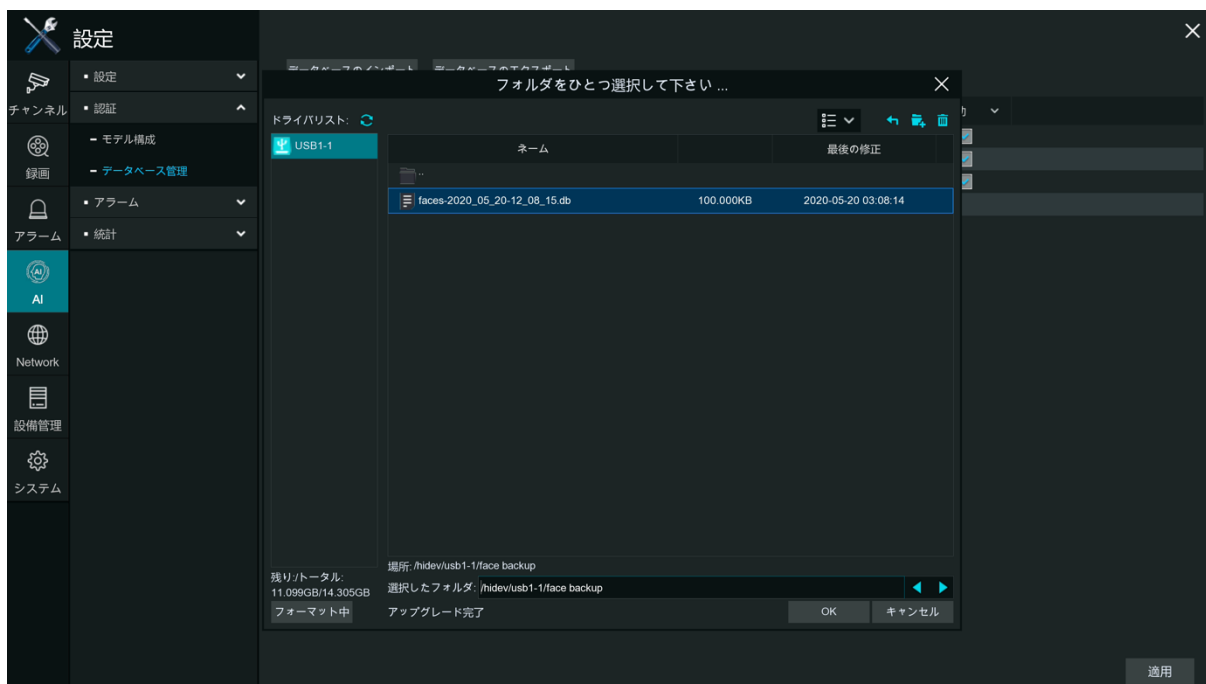
メモ: 本設定はデフォルトのままご利用いただくか、または IP チャンネルの選択を推奨いたします。

デバイス/チャンネル	顔認識モデル	FDモデル	顔認識の有効
ローカル	V0.0.0.0.1-release	-----	☒
IP CH1	V0.2.0.5.1-beta	V0.2.1.2.1-release	☐
IP CH2	V0.4.0.0.2-release	V0.4.1.6.1-release	☐
IP CH3	-----	V0.1.1.2.1-release	☐
IP CH4	-----	V0.1.1.2.1-release	☐
IP CH5	V0.2.0.5.1-beta	V0.2.1.2.1-release	☐
IP CH6	-----	-----	☐

5.4.2.2 データベース管理

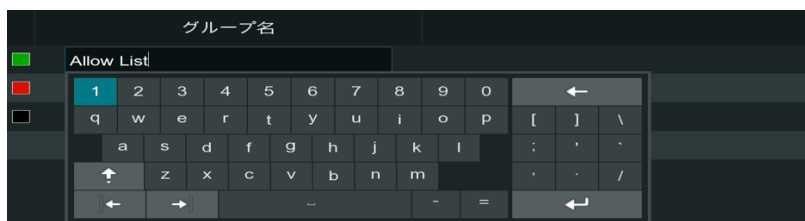


データベースのエクスポート: データベースをエクスポートする場合 **データベースのエクスポート** (データベースのエクスポート) をクリックして *.db データベースファイルを USB メモリなどの外部デバイスに保存します。



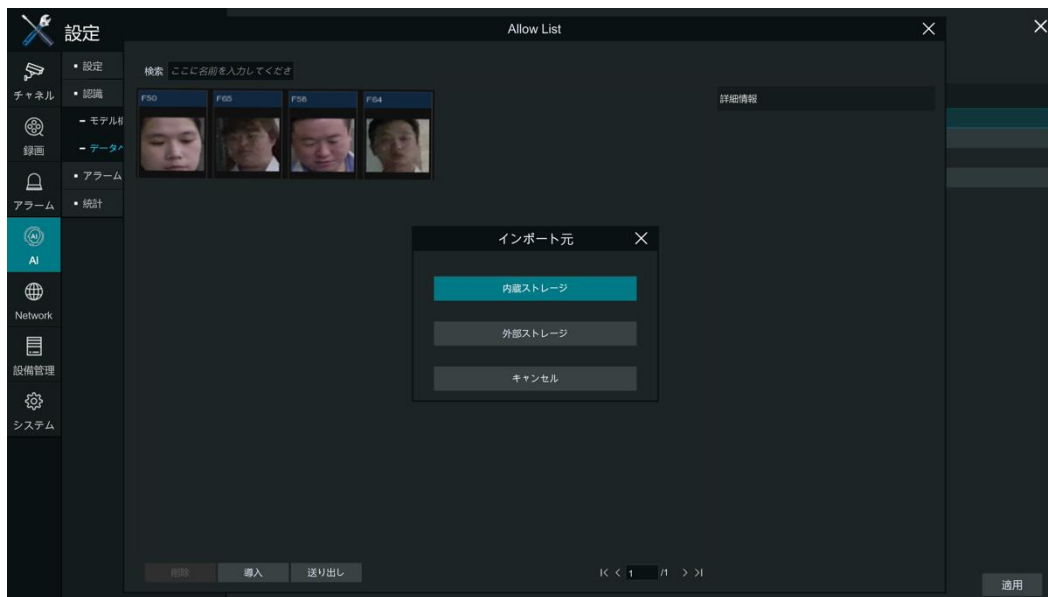
データベースのインポート: データベースをインポートする場合 **データベースのインポート** (データベースのインポート) をクリックし、USB メモリなどの外部デバイスから *.db データベースファイルを選択して **OK** をクリックします。

グループ名: デフォルトのグループ名は、ホワイトリスト/ブラックリスト/知らない人の 3 つです。グループ名をクリックするとグループ名を編集できます。



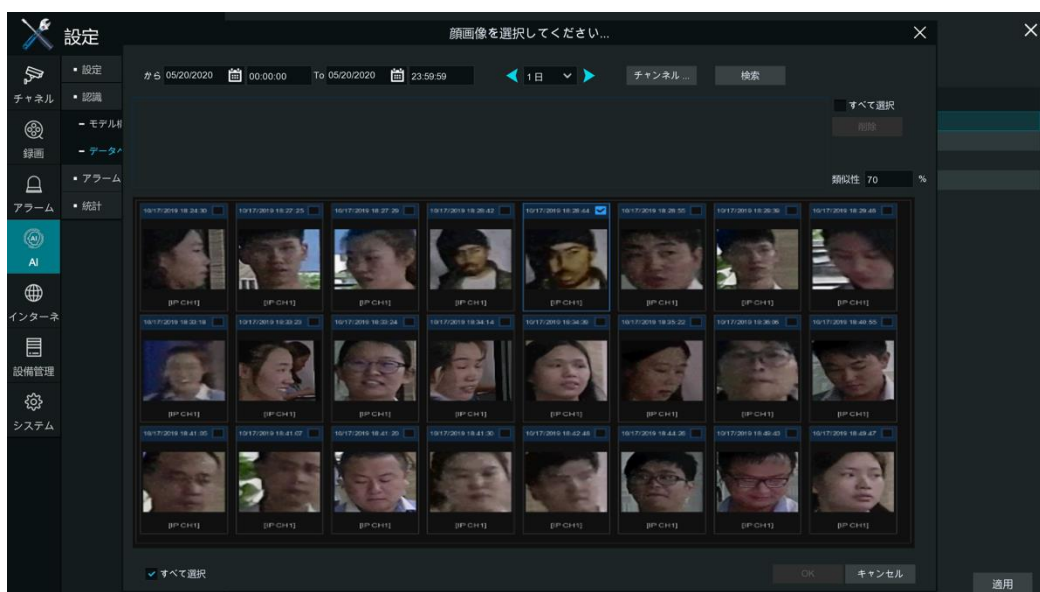
編集

編集:  をクリックし、ホワイトリストまたはブラックリストの編集画面を開きます。



読み込み: 読み込み設定ページで **導入** をクリックすると内蔵ストレージまたは外部ストレージを選択できます。

内蔵ストレージ をクリックすると内蔵ストレージに移動します。画像を検索したい開始/終了日時を設定し検索すると該当の顔画像が一覧で表示されます。登録したい顔画像の右上にチェックを入れ **OK** をクリックすると、顔画像のプロフィールを設定し登録することができます。

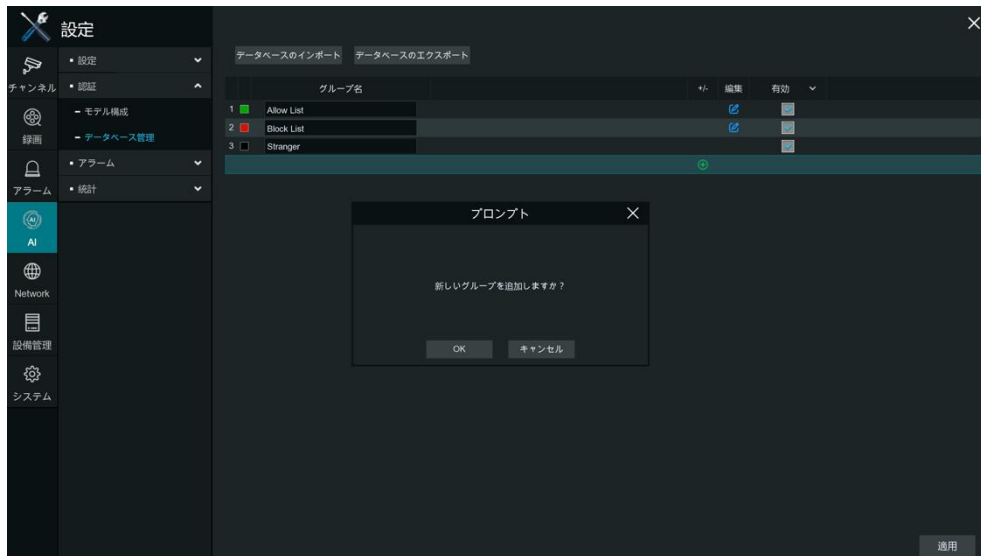


外部ストレージ をクリックすると外部ストレージデバイスに移動します。登録方法は内蔵ストレージと同様です。

送り出し: グループの顔画像リストを選択した後、**送り出し** をクリックすると外部ストレージに移動し、ディレクトリを選択して **OK** をクリックすると、顔画像が保存されます。

削除: 顔画像を選択したあと **削除** をクリックし、次に **OK** をクリックすると、顔画像が削除されます。

グループ追加: **+** をクリックした後、**OK** をクリックすると新しいグループが作成できます。



5.4.3 アラーム

AI のアラーム管理ページにある[アラーム]をクリックします。カスタムのデフォルトパラメータを使用して設定することもできます。

5.4.3.1 顔認識



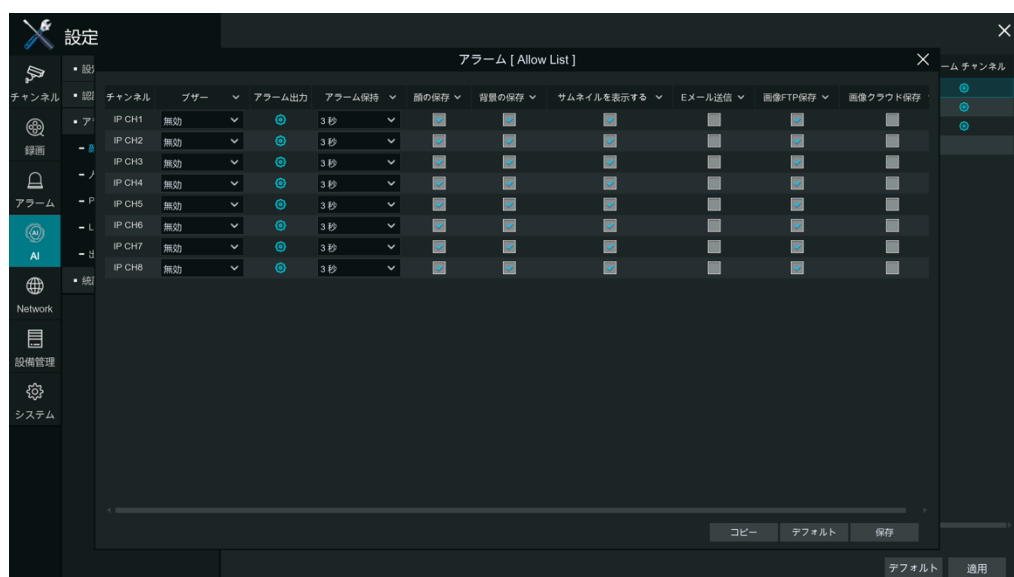
グループ名: ホワイトリスト/ブラックリスト/知らない人グループ/(カスタムグループ)

アラームを有効にする: デフォルトは有効です。アラームが要らない場合は、無効を選択します。

規則: カスタムグループの許可/除外を設定できます。

類似点: デフォルト値は 70%ですが、値を変更できます。

アラーム:  クリックして、顔検出アラームの設定ページに移動します。



チャンネル: このチャンネルを構成することができます。

ブザー: 検出がトリガーされたときに10、20、40、または60秒内アラーム音が鳴るようにブザーがアクティブされるには、デフォルトが無効になります。

アラーム出力: NVRが外部アラームデバイスへの接続をサポートしている場合、アラームトーンを発信するように設定できます。

ラッチ時間: 検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

顔の保存: オンまたはオフを選択して、顔画像の保存を有効または無効にします。

背景の保存: ON または OFF を選択して、顔画像の背景の保存を有効または無効にします。

サムネイルを表示: オンまたはオフを選択して、顔画像のサムネイルを有効または無効にします。

メール送信: オンを選択したらアラームがトリガーされると、事前に設定されたメールアカウントにメールが送信されます。

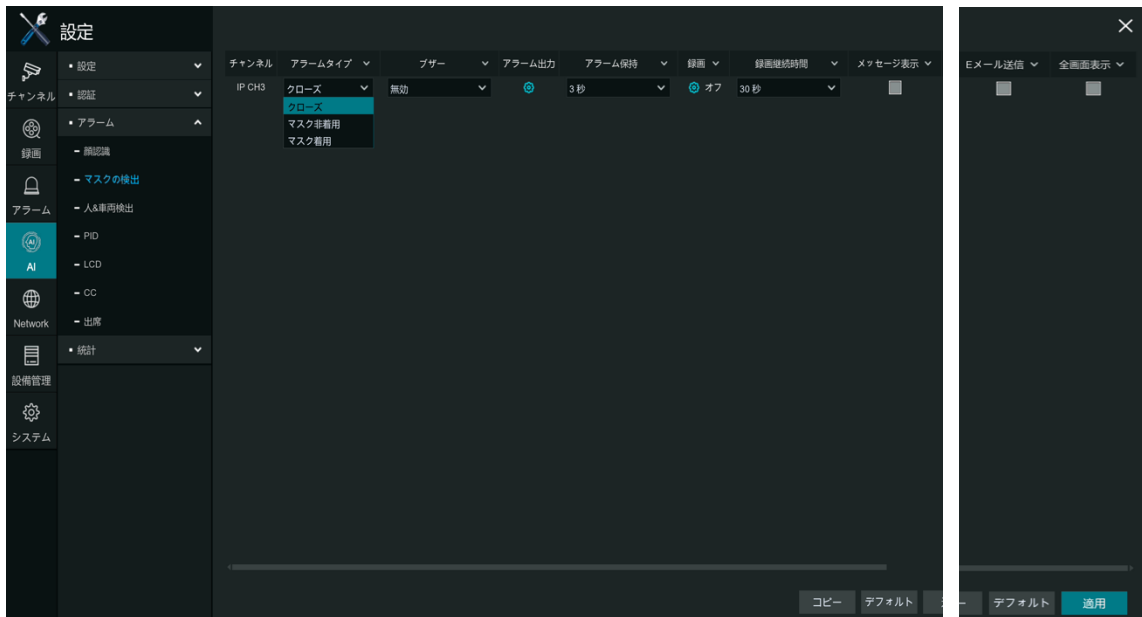
画像FTP保存: オンを選択したらアラームがトリガーされた場合、画像が事前に設定されたFTPアカウントに送信されます。 [5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルをFTPサーバーにアップロードする:](#)

画像クラウド保存: オンを選択したらアラームがトリガーされると、事前設定されたクラウドアカウントに画像が送信されます。 [5.6.2.2. クラウドアカウントを有効化:](#)

アラーム予約:

アラームチャンネル: このグループで作動するカメラを選択してください。

5.4.3.2 マスクの検出



チャンネル: このチャンネルを構成することができます。

アラームタイプ: アラーム検出するマスクの着用状態を選択します。

クローズ: マスクの着用状態を検出しない。(アラームを使用しない)

マスク非着用: マスクが非着用の場合にアラームを検出します。

マスク着用: マスクを着用している場合にアラームを検出します。

ブザー: 検知がトリガーされたときブザーが10、20、40、または60秒でアラーム音を鳴るように有効されるとデフォルトは無効にします。

アラーム出力: NVR が外部アラームデバイスへの接続をサポートしている場合、アラームトーンを発信するように設定できます。

アラーム保持: 検知がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画:  アイコンをクリックして、検知がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間: イベントが発生してから NVR が録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

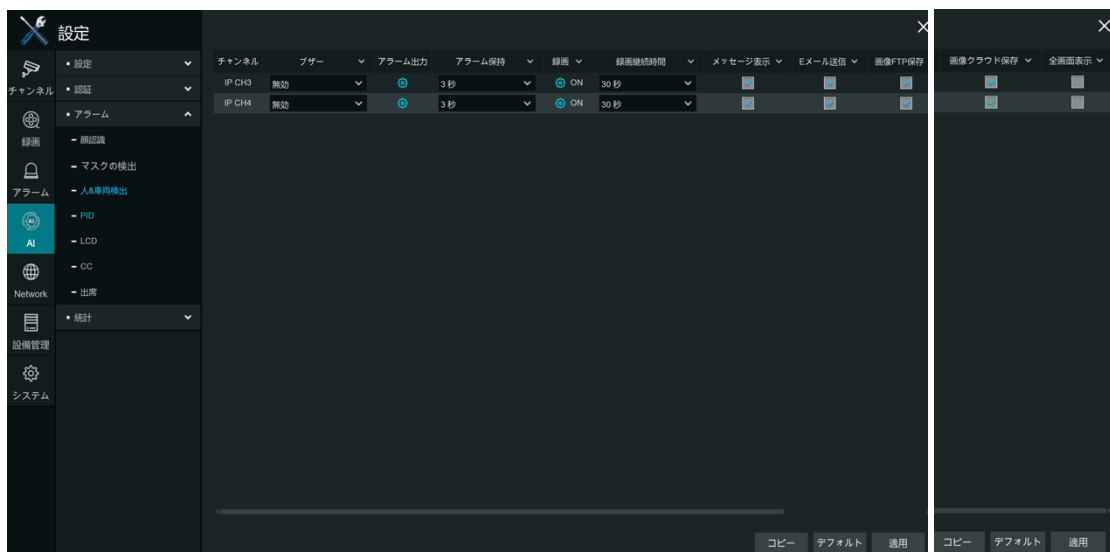
メッセージを表示: モーションが検知される時、ライブビュー画面で  アイコンを表示するにはボックスを選択してください。

メール送信: イベントが検出されたときに NVR に自動メールを送信させることができます。

全画面表示: この機能が有効になっていて、チャンネルでイベントが検出されると、そのチャンネルが全画面で表示されます。

5.4.3.3 人&車両検出/PID/LCD/CC

チャンネル: このチャンネルを構成することができます。



ブザー: 検知がトリガーされたときブザーが10、20、40、または60秒でアラーム音を鳴るように有効されるとデフォルトは無効にします。

アラーム出力: NVR が外部アラームデバイスへの接続をサポートしている場合、アラームトーンを発信するように設定できます。

アラーム保持: 検知がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。

録画:  アイコンをクリックして、モーション検知がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。



録画継続時間: イベントが発生してから NVR が録画を継続する時間を設定できます。推奨される録画時間は 30 秒ですが、最大 5 分まで設定できます。

メッセージを表示: モーションが検知される時、ライブビュー画面で  アイコンを表示するにはボックスを選択してください。

メール送信: モーションが検出されたときに NVR に自動メールを送信させることができます。

画像 FTP 保存: モーションが検出されたときアラームキャプチャ画像を FTP サーバーにアップロードします。FTP を有効するには、[5.5.4.2 NVR 画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする](#)を参照してください。

画像クラウド保存: モーションが検出されたときにアラームキャプチャ画像をクラウドにアップロードします。クラウドを有効するには、[5.6.2.2. クラウドアカウントの有効化](#)を参照してください。

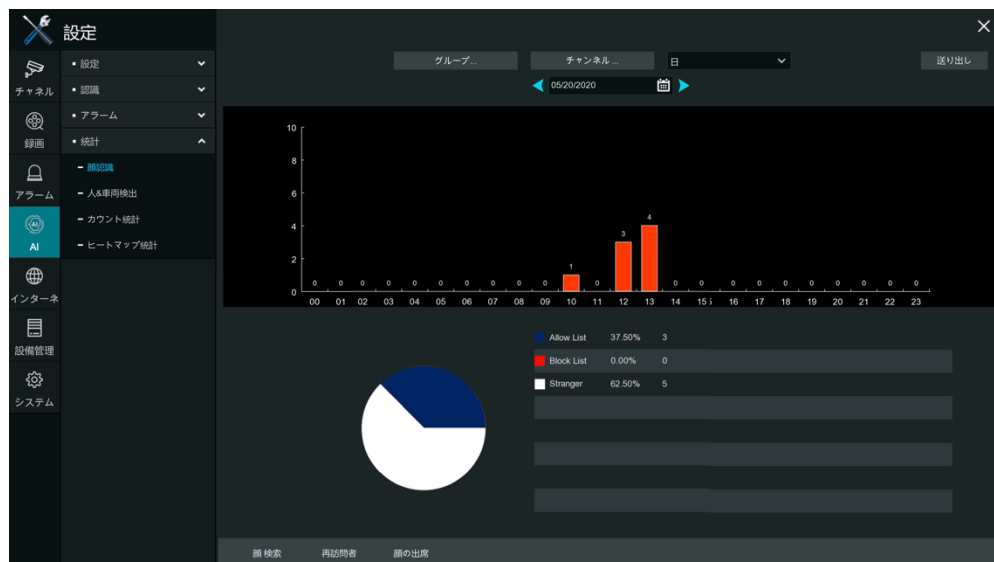
全画面表示: この機能が有効になっていて、チャンネルでモーションが検出されると、そのチャンネルが全画面で表示されます。

コピー: 設定したチャンネルのパラメーター値を残りのチャンネルにコピーします。

5.4.4 統計

AI ページで統計をクリックすると、顔検出と人&車両検出の統計チャートを確認できます。

5.4.4.1 顔認識統計



グループ...: オプションをクリックして選択します。すべてを選択、許可リスト、ブロックリスト、不明、ユーザー定義グループから選択してください。

チャンネル...: 統計チャートを確認するため、すべてまたは個別のチャンネルを選択することができます。

日: 確認したい時間間隔を選択します。

送り出し: クリックすると、統計リストが外部ストレージに送り出し、*.CSV ファイルが保存されます。

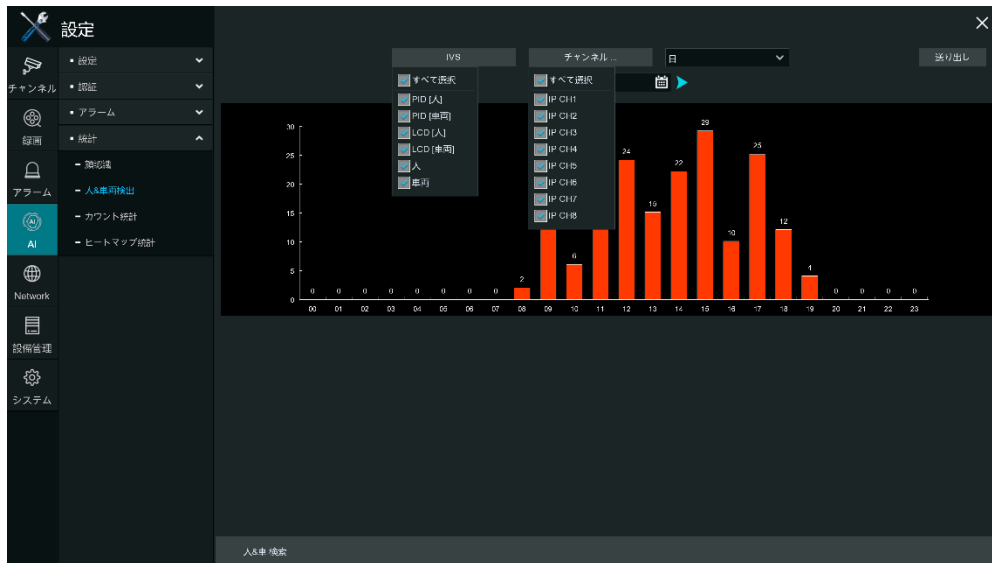
*.CSV ファイルはコンピューターを使用して開きます。顔検出リストの統計データを確認できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Start Time	End Time	Allow List	Block List	Stranger	Group 4		Summary
2	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
3	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
4	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
5	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
6	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
7	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
8	10/22/2011	10/22/201	0	0	1	0		1
9	10/22/2011	10/22/201	0	0	17	1		20
10	10/22/2011	10/22/201	12	4	101	0		117
11	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
12	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
13	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
14	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
15	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
16	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
17	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
18	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
19	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
20	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
21	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
22	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
23	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
24	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
25	10/22/2011	10/22/201	0	0	0	0		0
26	Summary		14	4	119	1		138

12/06/2018: カレンダーを表示オプションをクリックして、確認する日付を選択できます。

5.4.4.2 人&車両検出

検出された人と車両の数を日、週、月、クォーター、年単位で累積統計をグラフで表示する。



IVS: オプションをクリックして選択します。すべてを選択、PID[人], PID[車両], LCD[人], LCD[車両], 人, 車両を選択してください。

チャンネル...：すべてまたは個別のチャンネルを選択することができます。

日: 確認したい時間間隔を選択します。

送し出し: クリックすると、統計リストが外部ストレージに送し出し、*.CSV ファイルが保存されます。

* .CSV ファイルはコンピューターを使用して開きます。検出リストの統計データを確認できます。

5.4.4.3 カウント統計

バーチャルラインを横断する人、車両、モーション（動体）を検出し、カウントして統計します。統計は1、2、3、4、5、6日間または週間、月間、年間で集計できます。カウントされた累積統計をチャンネル、日付、累積時間の範囲は、検出タイプとCCタイプを選択して、コラムチャートとラインチャートで表示することができます。

チャンネル...：統計チャートを確認するため、すべてまたはチャンネルを選択することができます。

日付: 確認したい日付を選択します。

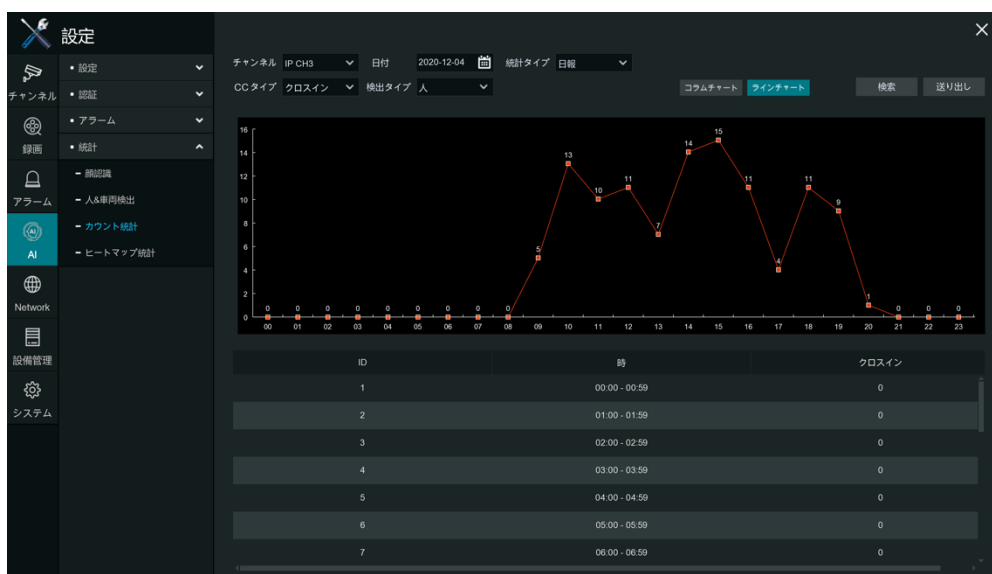
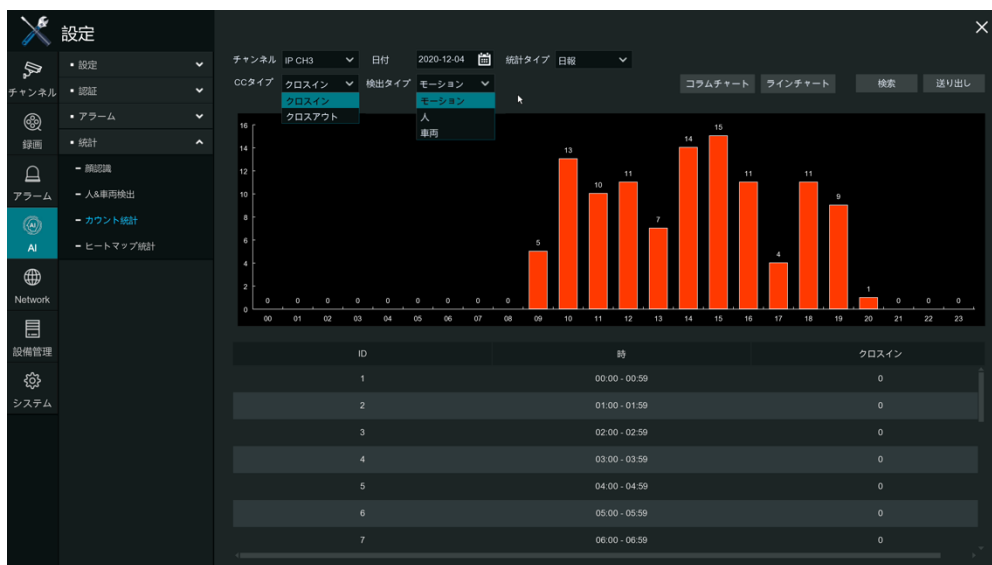
統計タイプ: 確認したい時間間隔を選択します。

検出タイプ: 検出対象のタイプのモーション、人、車両を選択します。

CC タイプ: クロスイン、クロスアウトを選択します。

検索: クリックすると設定された条件に応じて検索を実行します。

送し出し: クリックすると、統計リストが外部ストレージに送し出し、*.CSV ファイルが保存されます。



5.4.4.4 ヒートマップ統計

ヒートマップの統計は、チャンネルごとに、モーション(動体)を累積して、日付と時間の範囲内の統計情報を熱分布のグラフィック、または時間ごとのはコラムチャートで表示することができます。

チャンネル…: 統計チャートを確認するため、すべてまたはチャンネルを選択することができます。

日付: 確認したい日付を選択します。

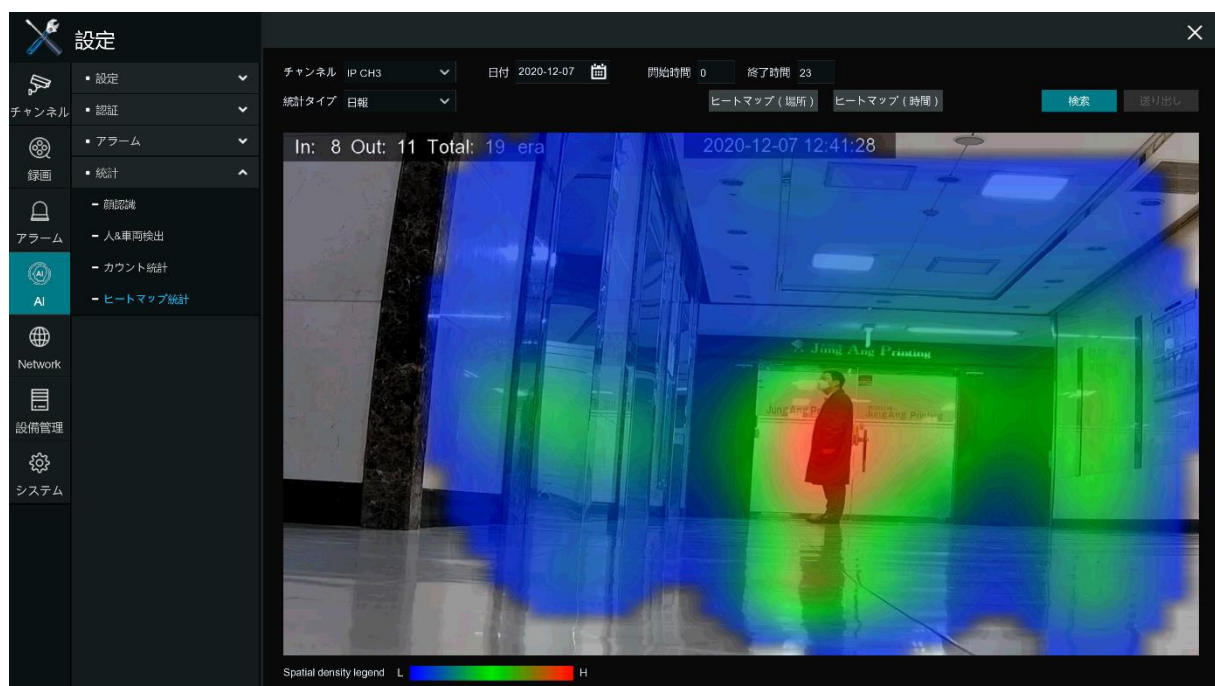
開始時間: 開始時間 を選択します。

終了時間: 終了時間 を選択します。

統計タイプ: 確認したい時間間隔を選択します。

検索: クリックすると設定された条件に応じて検索を実行します。

送り出し: クリックすると、統計リストが外部ストレージに送り出し、*.CSV ファイルが保存されます。



5.5 ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP などのネットワークパラメーターを設定できます。

設定	チャンネル	録画	アラーム	AI	Network	設備管理	システム
	チャンネル ライブ イメージコントロール PTZ ビデオカバー設定 モーション PIR 投光 IVS	エンコーダ設定 録画設定 キャプチャ	モーションアラーム設定 PIR IOアラーム設定 IVS PTZアクション システムアラーム アラーム予約	設定 認証 アラーム 統計	一般設定 DDNS 電子メール FTP IPフィルター	ディスク管理 クラウド	一般設定 マルチユーザー管理 保守設定 カメラメンテナンス システム情報

5.5.1 一般設定

5.5.1.1 一般設定

設定

チャンネル

録画

アラーム

AI

Network

設備管理

システム

一般設定

一般設定

PPPOE

ポート設定

DDNS

電子メール

FTP

IPフィルター

WLAN

内部インタフェース

DHCP

IPアドレス010.099.050.070

サブネットマスク255.255.192.000

ゲートウェイ010.099.000.001

DNS1168.126.063.001

DNS2008.008.008.008

IPアドレス010.010.025.100

サブネットマスク255.255.000.000

デフォルト

適用

DHCP: DHCP の使用を許可するルーターに接続する場合は、[DHCP]チェックボックスを選択してください。ルーターは、NVR のネットワークパラメーターを自動的に割り当てます。

IP アドレス: IP アドレスは、ネットワーク内の NVR を識別します。これは、ピリオドで区切られた、0～255 の 4 つの数字グループで構成されます。例)192.168.001.100

サブネットマスク: サブネットマスクは、ネットワークで利用できる IP アドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。サブネットアドレスも、ピリオドで区切られた 4 つの数字グループで構成されます。例)255.255.255.000

ゲートウェイ: このアドレスにより、NVR はインターネットにアクセスできます。ゲートウェイアドレスの形式は、IP アドレスと同じです。例)192.168.001.001

DNS1/DNS2: DNS1 は優先 DNS サーバー、DNS2 はバックアップ DNS サーバーのアドレスを設定します。

5.5.1.2 PPPoE

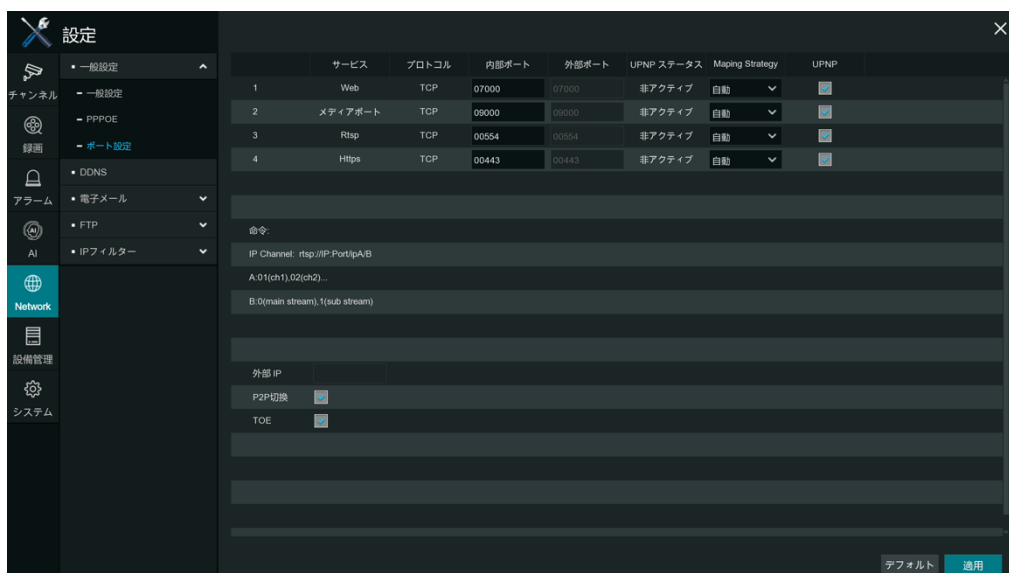
The screenshot shows the '設定' (Settings) menu with 'Network' selected. The 'PPPoE' section is active, displaying the following configuration fields:

Field	Value
PPPoE起動 (PPPoE Start)	☒
ユーザー (User)	[Empty]
パスワード (Password)	[Empty] ☐ パスワード表示 (Show Password)
IPアドレス (IP Address)	010.000.000.070
サブネットマスク (Subnet Mask)	255.255.192.000
ゲートウェイ (Gateway)	010.000.000.001
DNS1	168.126.003.001
DNS2	008.008.008.008

At the bottom right, there are buttons for 'デフォルト' (Default) and '適用' (Apply).

これは NVR が DSL モデムを介してより直接ネットワークに接続できるようにする高度なプロトコルです。「PPPoE を有効にする」ボックスをチェックし、PPPoE のユーザー名とパスワードを入力します。[適用] をクリックして保存すると、システムが PPPoE 設定を活性化するため再起動します。

5.5.1.3 ポート構成



Web ポート: これは NVR にリモートでログインするために使用するポートです(例: Web クライアントを使用)。デフォルトポート 7000 が他のアプリケーションによって既に使用されている場合は、番号を変更してください。

メディアポート: これは NVR が(モバイルアプリなどを使用して)情報を送信するために使用するポートです。デフォルトポート 9000 が他のアプリケーションによってすでに使用されている場合は、番号を変更してください。

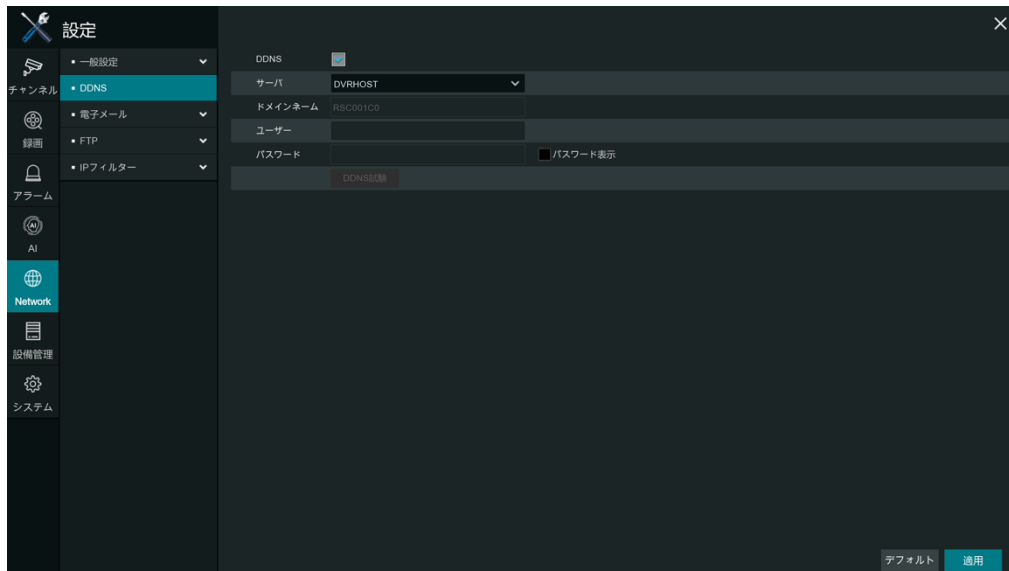
RTSP ポート: これは NVR が他のデバイスにリアルタイムストリーミングを送信できるポートです。ストリーミングメディアプレーヤーなどで利用可能です。

UPNP: Web クライアントを使用して NVR にリモートでログインする場合は、ルーターのポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート転送が手動で完了していることを確認してください。

P2P 切替: モバイルアプリを使用してリモートで NVR にログインする場合は、IP アドレスとポート番号を入力せずに QR コードをスキャンすることができます。使用する場合はこのオプションを有効にしてください。

5.5.2 DDNS

このメニューでは、DDNS 設定を構成できます。DDNS は固定アドレスを提供して NVR へのリモート接続を簡素化します。DDNS を使用するには、まず DDNS サービスプロバイダーの Web ページからアカウントを開く必要があります。



DDNS: チェックして DDNS を有効にします。

サーバ: 優先 DDNS サーバーを選択します (DDNS_3322, DYNDNS, NO_IP, CHANGEIP, DNSEXIT, DVRHOST (デフォルト))。

ドメイン: DDNS サービスプロバイダーで作成したドメイン名を入力します。これは PC を介して NVR にリモート接続する場合、URL ボックスに入力するアドレスになります。例えば: NVR.no-ip.org.

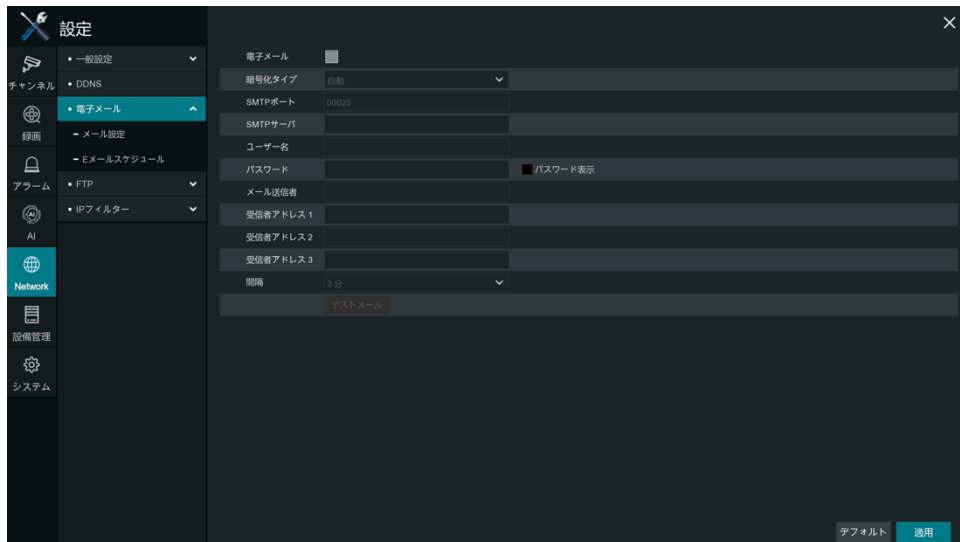
ユーザー/パスワード: DDNS サービスプロバイダーでアカウントを作成したときに取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力したら、[DDNS のテスト]をクリックして DDNS 設定をテストします。テスト結果がエラー表示である場合、ネットワークが正常に機能するか、または DDNS 情報が正しいかどうかを確認してください。

5.5.3 メール

このメニューでは、電子メール設定を構成できます。イベントがトリガーされたときにメールで通知を受信したい場合はこの設定をしてください。

5.5.3.1 メール設定



電子メール: メール機能を利用する場合はチェックを入れてください。

暗号化: メールサーバーで SSL または TLS の認証が必要な場合に有効にします。不明な場合は、自動に設定してください。

SMTP ポート: 電子メールサーバーの SMTP ポートを入力してください。

SMTP サーバー: 電子メールの SMTP サーバーアドレスを入力してください。

ユーザー名: メールアドレスを入力してください。

パスワード: Eメールのパスワードを入力してください。

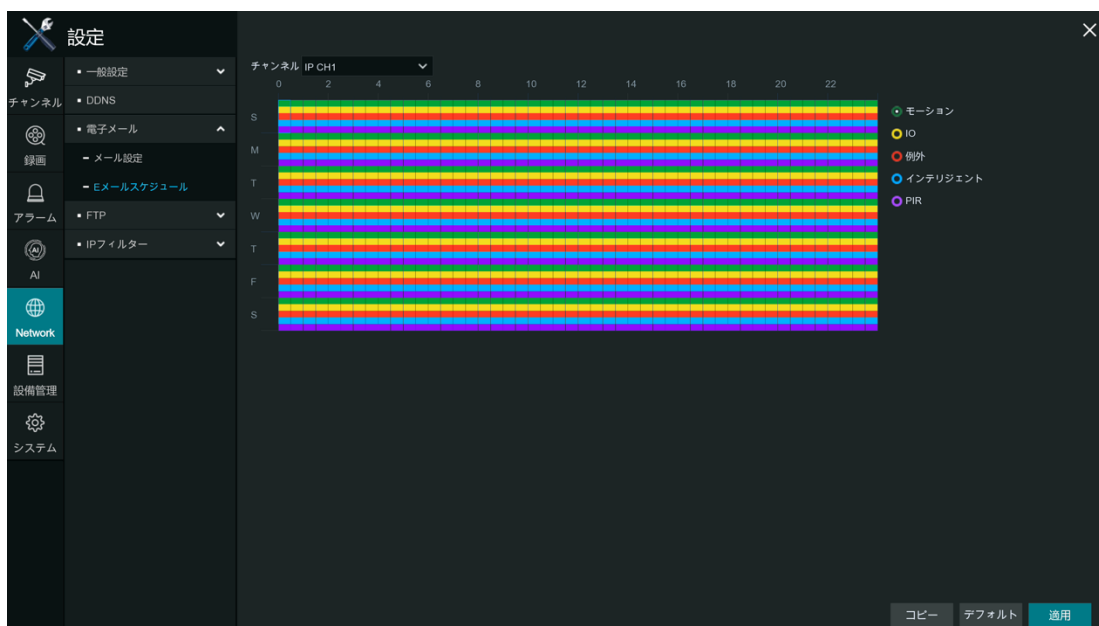
受信者 1~3: NVR からイベント通知を受信する電子メールアドレスを入力してください。

間隔: NVR から送信するメールの時間の間隔の長さを設定します。

すべての設定が正しいことを確認するには[メールをテスト]をクリックしてください。テストメールを正常に受信した場合は、設定したパラメーターが正しいことを意味します。

5.5.3.2 メールスケジュール

メール通知を実行するには、スケジュールを構成する必要があります。
スケジュールを設定した時間帯のみメール通知が有効になります。



メール予約のカラーコードには次の意味があります。:

緑: モーションイベントスロット

黄色い: I / O アラームイベントスロット

青い: インテリジェントイベントスロット

赤: システムアラームイベントスロット(HDD 残容量不足、HDD エラー、ビデオロス)

紫: PIR イベントスロット (現在ご利用いただけません。)

5.5.4 FTP

このメニューではFTP 機能を利用できます。NVR からFTP を通じてストレージデバイスに画像データをアップロードすることができます。

FTP: FTP 機能を利用する場合はチェックを入れてください。

サーバーIP: FTP サーバーのIP アドレスまたはドメイン名を入力します。

ポート: ファイル交換用のFTP ポート番号を入力します。

ユーザー名/パスワード: FTP サーバー認証用のユーザー名とパスワードを入力します。

画像解像度: アップロード画像の解像度を選択します。

画質: 画質オプションを設定できます。

ビデオストリームタイプ: サブストリームまたはメインストリームを選択できます。

最大パッケージ間隔: 毎回ハント画像パッケージの最大間隔時間を設定します。

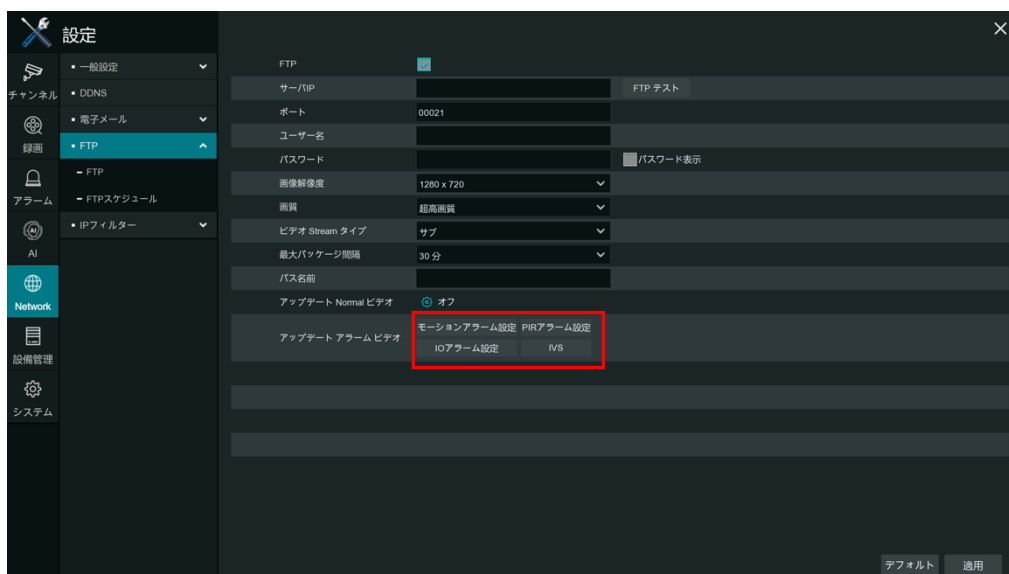
ディレクトリ名: FTP ファイル交換のデフォルトのディレクトリ名を入力します。

FTP テスト: クリックしてFTP 設定をテストします。

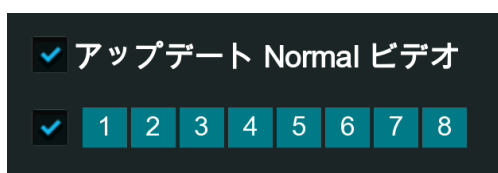
ご注意: FTP サーバーが必要であり、FTP セットアップページのサーバーIP オプションにFTP サーバーのIP アドレスまたはドメイン名を入力します。



5.5.4.1 NVR が画像とビデオファイルを FTP サーバーにアップロードする。



Normal ビデオアップロード: アップロードする一般のビデオのチャンネルを選択するか、すべてのチャンネルを選択します。



アラームビデオアップロード: これらのアラームオプションアイコンを開きます。FTP アップロードを有効にするために必要なすべてのチャンネルを有効にすることができます。

モーションアラーム設定: [5.3.1 モーション](#) を参照してください。

PIR アラーム設定: (現在ご利用いただけません。)

I/O: [5.3.3 I/O](#) を参照してください。

Intelligent: [5.3.4 インテリジェント](#) を参照してください。

5.6 デバイス管理

設定	 チャンネル	 録画	 アラーム	 AI	 Network	 設備管理	 システム
	チャンネル ライブ イメージコントロール PTZ ビデオカバー設定 モーション PIR 投光 IVS	エンコード設定 録画設定 キャプチャ	モーションアラーム設定 PIR IOアラーム設定 IVS PTZアクション システムアラーム アラーム予約	設定 認証 アラーム 統計	一般設定 DDNS 電子メール FTP IPフィルター	ディスク管理 クラウド	一般設定 マルチユーザー管理 保守設定 カメラメンテナンス システム情報

このセクションでは、内蔵 HDD とクラウドストレージ機能を設定できます。

5.6.1 ディスク管理

5.6.1.1 ディスク

このメニューでは、HDD に関する確認および設定ができます。新しい HDD を利用する場合は HDD をフォーマットする必要があります。

HDD フォーマット: フォーマットする HDD を選択し、[HDD のフォーマット]をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてフォーマットを開始します。

注意: HDD フォーマット後は、必ずセットを再起動してください。

上書き設定: HDD の容量が不足した場合に、過去の録画データを削除し上書きして録画を継続するにはこのオプションを使用します。

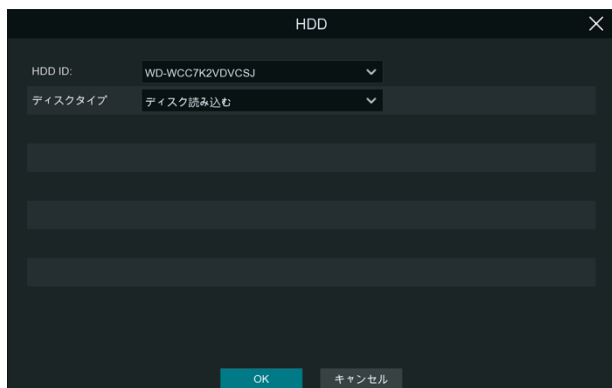
保管期間の指定が無い場合は「自動」を設定してください。

また、日数選択オプションを選択すると、設定した最新の日数分のみ HDD に保持します。

※設定した日数に対して保存可能な HDD の容量が不足している場合は本オプションは正常に機能しません。

E-SATA 録画: E-SATA インターフェイスの外付け HDD を NVR に接続すると、画面内に「E-SATA 録画」の項目が表示されます。録画に利用したい場合は、有効を選択し「適用」をクリックしてください。その後、外付け HDD が「ディスクの管理」ウィンドウに表示され、内蔵 HDD と同様にご利用いただけます。

 編集アイコンを選択するとディスクオプションが設定できます。



ディスクタイプ: 読込/書込ディスク、読取専用ディスク、冗長ディスク

読込/書込モードは、録画を保存したり、録画データを検索して再生する通常のステータスです。

上書き録画中に重要な録画データが上書きされるのを防ぎたい場合は、HDD を読取専用モードに設定できます。ただし新しい録画はこの読取専用 HDD には保存できません。読取専用 HDD からは録画の再生は可能です。

冗長ディスクを使用すると、録画(読み書き)ハードドライブのバックアップが可能です

冗長ディスクを設定した場合、録画用ディスクに障害が発生すると、録画用ディスクと冗長ディスクの両方に並行して録画します。

5.6.1.2 S.M.A.R.T

この機能を使用して、NVR 内に取り付けられたハードドライブの技術情報を表示することができます。可能性のあるドライブエラーを評価および検知するために、テストを実行することもできます。

(3 種類のタイプがあります)

全体の評価に不合格、ディスクの使用を継続: 何らかの理由でハードドライブに欠陥が発生した場合(1 つ以上の不良セクターなど)、ドライブへの保存を続けるように NVR に指示できます。

自己検査タイプ: 3 つのタイプがあります。

短い: このテストでは、読み取り/書き込みヘッド、電子機器、内部メモリなどのハードドライブの主要コンポーネントを確認します。

長い: これは上記を検証し、問題のある領域(存在する場合)を発見するために表面スキャンを実行するのみならず、不良セクターの再配置を強制するより長いテストです。

Conveyance 伝達・伝送: これはハードドライブの機械部品が作動していることを確認する非常に迅速なテストです。

ID	属性	状態	マーク	値	差	増減	RAWデータ
0x1	Raw Read Error Rate	OK	21	200	200	51	0
0x3	Spin Up Time	OK	27	202	178	21	6875
0x4	Start Stop Count	OK	32	100	100	0	535
0x5	Reallocated Sector Ct	OK	33	200	200	140	0
0x7	Seek Error Rate	OK	2e	200	200	0	0
0x9	Power On Hours	OK	32	78	78	0	16354
0xa	Spin Retry Count	OK	32	100	100	0	0
0xb	Calibration Retry Count	OK	32	100	100	0	0
0xc	Power Cycle Count	OK	32	100	100	0	212
0xd	Power-Off Retract Count	OK	32	200	200	0	196
0xe1	Load Cycle Count	OK	32	200	200	0	566
0xe2	Temperature Celsius	OK	22	117	91	0	35
0xe4	Reallocated Event Count	OK	32	200	200	0	0
0xe5	Current Pending Sector	OK	32	200	200	0	0
0xe6	Offline Uncorrectable	OK	30	100	253	0	0
0xe7	UDMA CRC Error Count	OK	32	200	200	0	0
0xe8	Multi Zone Error Rate	OK	8	100	253	0	0

Note: テストを実行すると、NVR は通常どおり動作し続けます。HDD S.M.A.R.T エラーが検出された場合 HDD は使用続けますが、録画データが失われる可能性があります。新しい HDD に交換することをお勧めします。

5.6.2 クラウド

NVR には DROPBOX や Google Drive を介してスナップショットをクラウドサービスにアップロードする機能があります。スナップショットを簡単に保存、共有し、必要なときにいつでも確認することができます。クラウド機能をアクティブ化する前に、NVR に使用している同じメールアドレスとパスワードを使用して D アカウントを作成することをお勧めします。

5.6.2.1. クラウドアカウントの有効化:

クラウドオプションを有効にします

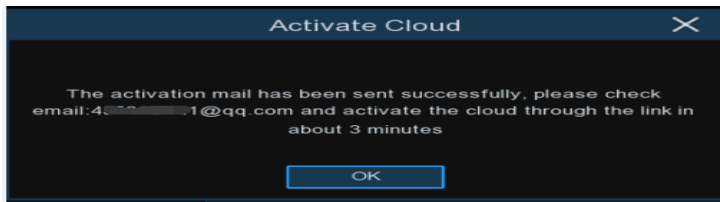
クラウドを有効するにはクラウド有効化をクリックします。

全体容量の使用率

上書き日数を設定

クラウドフォルダ名を変更することができます。

クラウド有効化をクリックすると、「クラウドを有効にしますか」と表示されます。

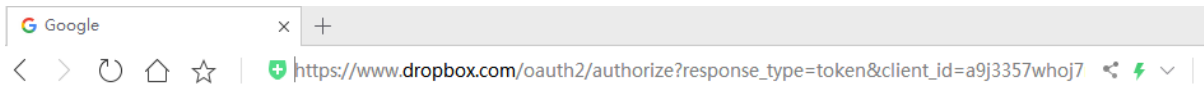


OK をクリックすると、メール設定内に設定している受信者アドレス宛にリンクアドレスをプッシュします。

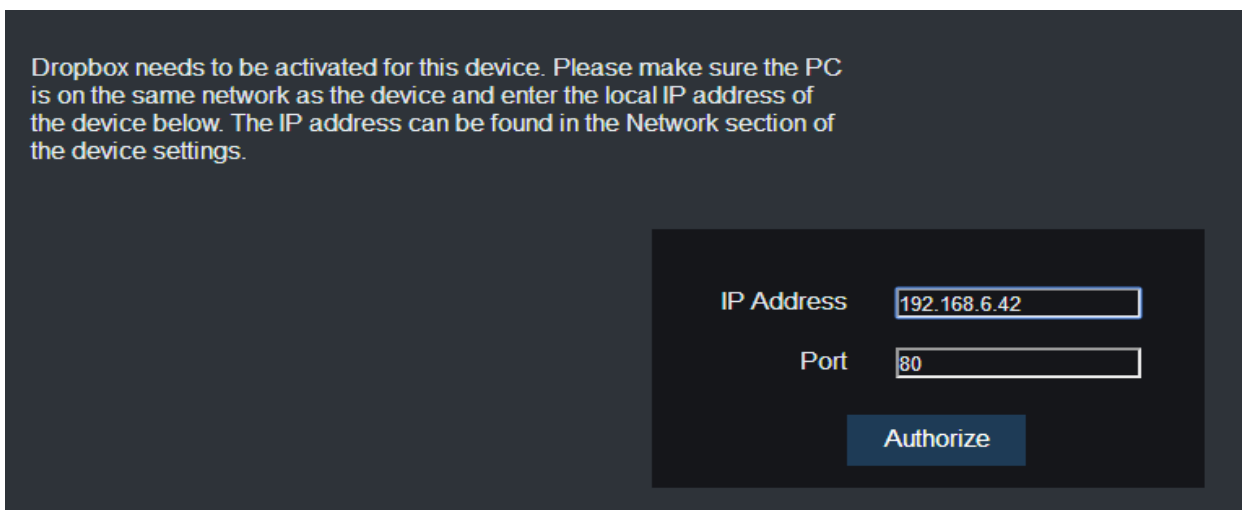
設定例) DROPBOX を利用する場合

https://www.dropbox.com/oauth2/authorize?response_type=token&client_id=a9j3357whoj7r4h&redirect_uri=https://cloud.al8.co

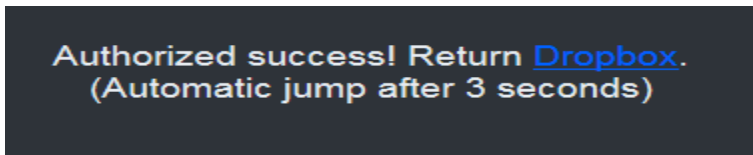
メール内のリンクアドレスにアクセスし、利用可能な DROPBOX アカウントでログインします。



アカウントログイン後、下記のような画面が表示されます。



NVR のローカル IP アドレスと Web ポート番号を入力し、[NVR / DVR ログオン]ページで[承認]をクリックします。次に、NVR のログイン画面でユーザー名とパスワードを入力します。



ログインに成功すると上記メッセージが表示され、NVR に DROPBOX アカウントが連携されます。

クラウドストレージへの画像のアップロードについては、アラームオプションにてデフォルトで有効になっています。ビデオをクラウドストレージにアップロードする場合、モーション、PIR、I/O、インテリジェントページのアラームオプションでビデオクラウドの有効化を設定する必要があります。

モーション: 5.3.1 アラームモーション設定ウィンドウ. [5.3.1 モーション](#)

PIR アラーム設定: 5.3.2 アラーム PIR 設定ウィンドウ. [5.3.2 PIR](#)

I/O: 5.3.3 アラーム I/O 設定ウィンドウ. [5.3.3 I/O](#)

インテリジェント: 5.3.4 アラームインテリジェント設定ウィンドウ. [5.3.4 インテリジェント](#)

5.7 システム

日付、時刻、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードと権限の編集などを行います。

設定	チャンネル	録画	アラーム	AI	Network	設備管理	システム
	チャンネル ライブ イメージコントロール PTZ ビデオカバー設定 モーション PIR 投光 IVS	エンコーダ設定 録画設定 キャプチャ	モーションアラーム設定 PIR IOアラーム設定 IVS PTZアクション システムアラーム アラーム予約	設定 認証 アラーム 統計	一般設定 DDNS 電子メール FTP IPフィルター	ディスク管理 クラウド	一般設定 マルチユーザ背景 保守設定 カメラメンテナンス システム情報

5.7.1 一般設定

5.7.1.1 一般設定

設定

チャンネル

録画

アラーム

AI

Network

設備管理

システム

一般設定

一般設定

日付と時間

出力構成

マルチユーザ背景

保守設定

カメラメンテナンス

システム情報

デバイス名

PRN-2208

デバイスID

000000

言語

日本語

ビデオ形式

NTSC

メニュータイムアウト

オフ

☐
 フィールドショー

デフォルト

適用

デバイス名: NVR の名前を入力します。名前には文字と数字の両方を含めることができます。

デバイス ID: NVR の ID を入力します。デバイス ID は NVR を識別するために使用され、数字でのみ入力できます。また、同じネットワークに複数の NVR が接続されている場合、他の ID と同じにすることはできません。

言語 システムメニューを表示する言語を選択します。

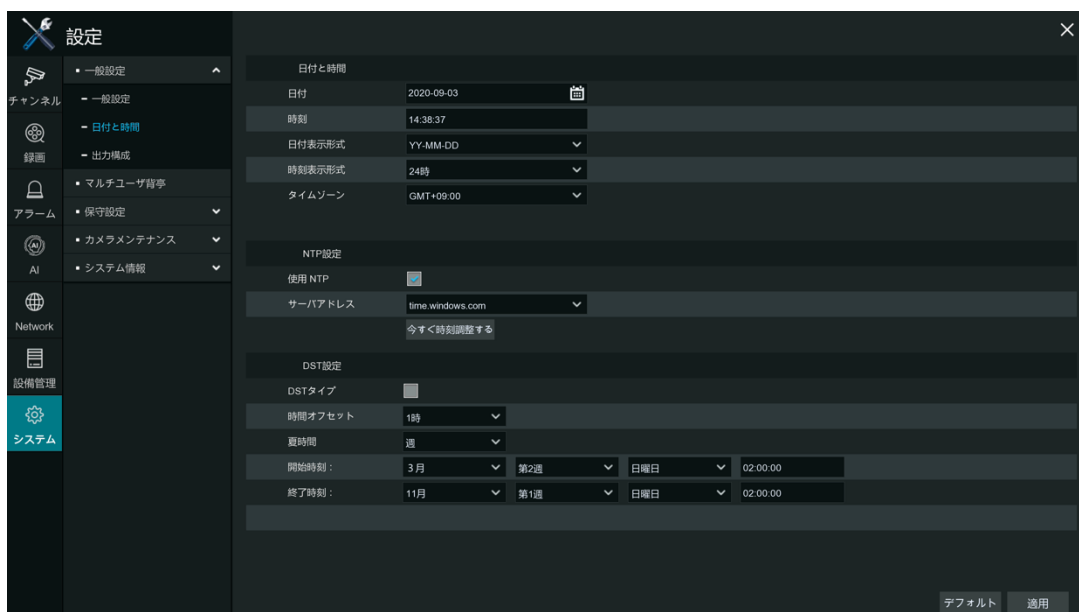
ビデオ形式: 該当地域に適したビデオ規格を選択してください。

メニュータイムアウト: ドロップダウンメニューから、NVR のメインメニューを自動終了する時間を選択します。設定した時間の間無操作状態が続くとメニュー画面を自動的に終了します。

「オフ」を選択して機能を無効にすることもできます。

ウィザード表示: NVR を起動するたびにスタートアップウィザードを表示する場合は、チェックボックスをクリックします。

5.7.1.2 日付と時間



日付と時間

日付: 日付を変更するには、カレンダーアイコンをクリックします。

時刻: 時間を変更するには、ダイアログボックスをクリックします。

日付形式: 希望する日付形式を選択します。

時刻形式: 希望する時間形式を選択します。(再生インターフェースは 24 時間形式でのみ表示されます)。

タイムゾーン: 地域または都市に関連するタイムゾーンを選択します。

NTP 設定: NTP(ネットワークタイムプロトコル)機能を使用すると、NVR は時刻をタイムサーバーと自動的に同期できます。これにより、常に正確な時刻設定が可能になります。(NVR は定期的に自動で同期します)。

日付と時間	
日付	05/20/2020 
時刻	17:30:29
日付表示形式	MM/DD/YY ▼
時刻表示形式	24時 ▼
タイムゾーン	GMT+09:00 ▼

チェックして NTP を有効にしたあとサーバーアドレスを選択し、[今すぐ更新]をクリックして日付と時刻を手動で同期します。

[適用]をクリックして設定を保存します。

NTP 機能が有効になると、システムは時刻を毎日の 00:07:50、またはシステムが起動するたびにアップデートします。

DST 設定

DST(夏時間)機能を使用すると、夏時間を選択できます。

DST設定					
DSTタイプ	☒				
時間オフセット	1時 ▼				
夏時間	週 ▼				
開始時刻:	3月 ▼	第2週 ▼	日曜日 ▼	02:00:00	
終了時刻:	11月 ▼	第1週 ▼	日曜日 ▼	02:00:00	

DST 有効化: 夏時間がタイムゾーンまたは地域に適用される場合は、このオプションを有効にしてください。

時間オフセット: タイムゾーンで夏時間が増加した時間を選択します。これは協定世界時(UTC)と現地時間の差を分単位の現れます。

DST 使用: 夏時間の開始と終了方法を選択できます。

週間: 夏時間が開始および終了する日、特定の日付と時刻を選択します。例えば、特定の月の最初の日曜日 午前 2 時。

日付: 夏時間の開始と終了する日付と時刻(カレンダーアイコンをクリック)の終了日時を選択します。

開始時間/ 終了時間: 夏時間の開始時間と終了時間を設定します。

5.7.1.3 出力構成

このメニューでは、ビデオ出力パラメーターを設定できます。

ビデオ出力: 出力オプションを選択します。

-ライブ出力: メイン出力のパラメーターを変更します。

シーケンスモード: シーケンスモードのときに表示する画面レイアウトを設定します。



シーケンス切替時間: シーケンスモードでチャンネルを切り替える時間の間隔を設定します。(最大 300 秒)

VGA/HDMI 解像度: ディスプレイに出力する解像度を設定します。ご利用のディスプレイに適した解像度で設定してください。

スケール&オフセット: ディスプレイの表示サイズと位置を画面に合わせて調整することができます。調整したい場合は設定ボタンをクリックしてください。



ズーム: 表示画面のサイズを調整します。

X オフセット: 表示画面を左右に移動します。

Y オフセット: 表示画面を上下に移動します。

矢印のボタン上でクリック、長押し、またはマウスホイールをスクロールすると数値が調整できます。マウスの右ボタンをクリックして終了し、[適用]をクリックして変更を保存します。

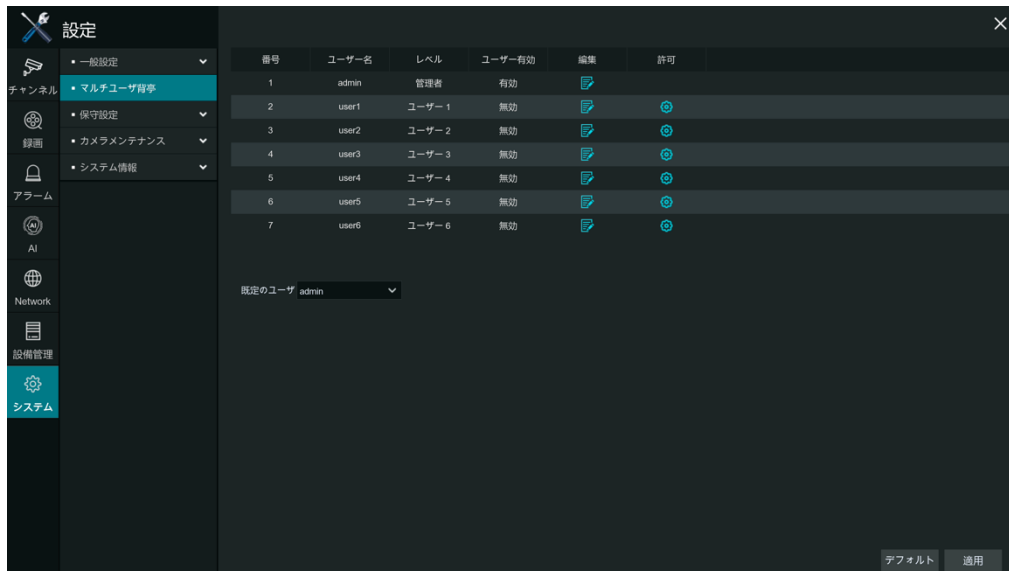
マウスポインタ非表示切替時間: ドロップダウンメニューから、操作していないときにマウスカーソルを非表示にする時間を選択します。「オフ」を選択してこれを無効にすることもできます(パスワード保護は一時的に無効になります)。

マウスポインタ速度切替: マウスカーソルを移動する速度を調整します。

透明度: 画面に表示されるメニューバー、メインメニューの透明度を変更します。

5.7.2 マルチユーザー

このメニューではユーザー名、パスワード、ユーザー権限を設定できます。



システムは次のアカウントタイプをサポートしています。:

admin — **システム管理者**: 管理者はシステムを完全に制御でき、管理者とユーザーの両方のパスワードを変更したり、パスワード保護を有効にしたり無効にすることができます。

user — **一般ユーザー**: ユーザーは、ライブ表示、検索、再生、および他の機能のみアクセスできます。さまざまなアクセスレベルで複数のユーザーアカウントを設定できます。

5.7.2.1 パスワードの変更

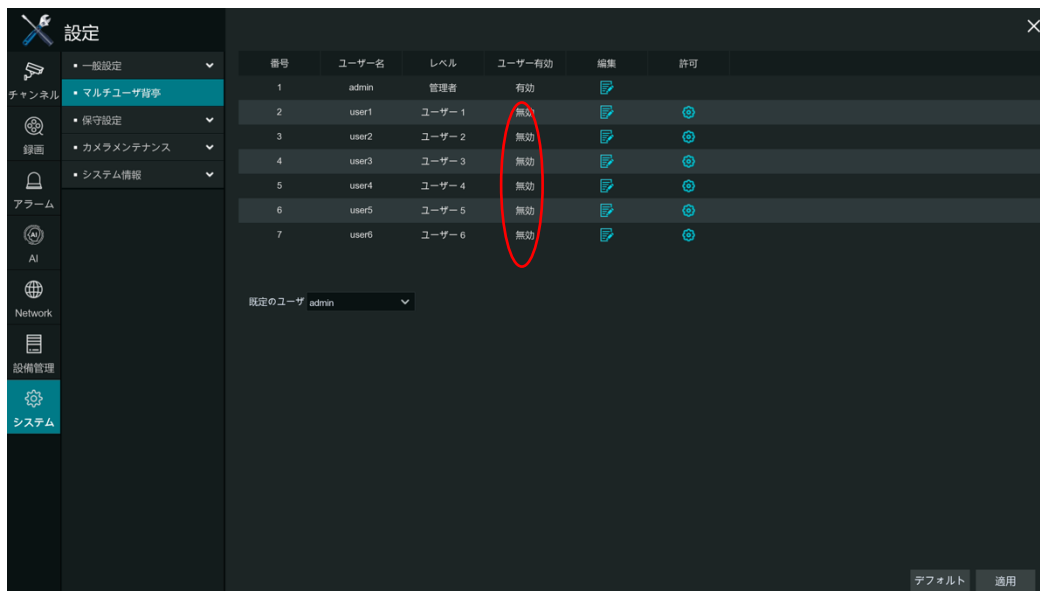
管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、ユーザー編集 アイコンをクリックします。パスワードは数字と文字を混在させることができます。新しいパスワードを入力し、確認のためにもう一度新規パスワードを入力した後、[保存]をクリックして新しいパスワードを保存します。

なお変更の際には、認証のために元のパスワードを入力する必要があります。



パスワード有効化: プライバシーを保護するためにパスワードを有効にすることを強くお勧めします。パスワード保護を無効にする場合は、NVR が安全な場所で利用されていることを確認してください。

5.7.2.2 新しいユーザーを追加



1. 現在無効になっているユーザーアカウントの 1 つを選択し、ユーザー編集  アイコンをクリックします。



2. [ユーザー有効]の横にあるドロップダウンから[有効化]を選択します。
3. [ユーザー名]の横にあるフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. [パスワード]の横にあるフィールドをクリックして、希望するパスワードを入力します。
5. [確認]の横にあるフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
6. 保存をクリックします。認証するには、管理者パスワードを入力する必要があります。

5.7.2.3 ユーザー権限設定

管理者アカウントは、すべての機能を完全に制御できる唯一のアカウントです。

各ユーザーレベルのアカウントは、特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にできます。

番号	ユーザー名	レベル	ユーザー有効	パスワード有効	編集	許可
1	admin	管理者	有効	有効		
2	user1	ユーザー 1	無効	無効		
3	user2	ユーザー 2	無効	無効		
4	user3	ユーザー 3	無効	無効		
5	user4	ユーザー 4	無効	無効		
6	user5	ユーザー 5	無効	無効		
7	user6	ユーザー 6	無効	無効		

1. [権限]タブの編集 アイコンをクリックします。



2. ユーザーがアクセスしようとするシステムメニューまたは機能の横にあるボックスをクリックしてチェックを入れてください。[全て]をクリックすると、すべてのボックスを選択します。全てのボックスのチェックを外したい場合は「クリア」をクリックしてください。
3. [保存]をクリックして変更を保存します。

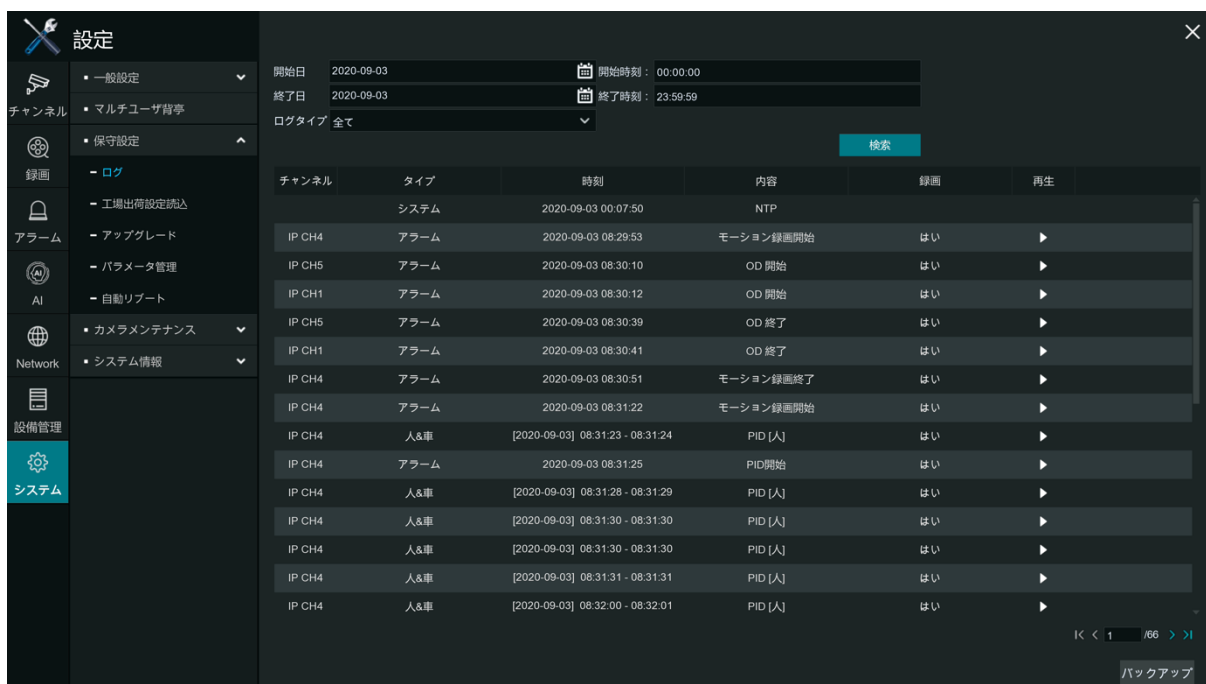
5.7.3 保守設定

このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップグレード、システムパラメータ管理、自動再起動の設定を行うことができます。



5.7.3.1 ログ

システムログには、アラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが表示できます。また期間を設定し、USB フラッシュドライブにシステムログのバックアップを取ることが可能です。



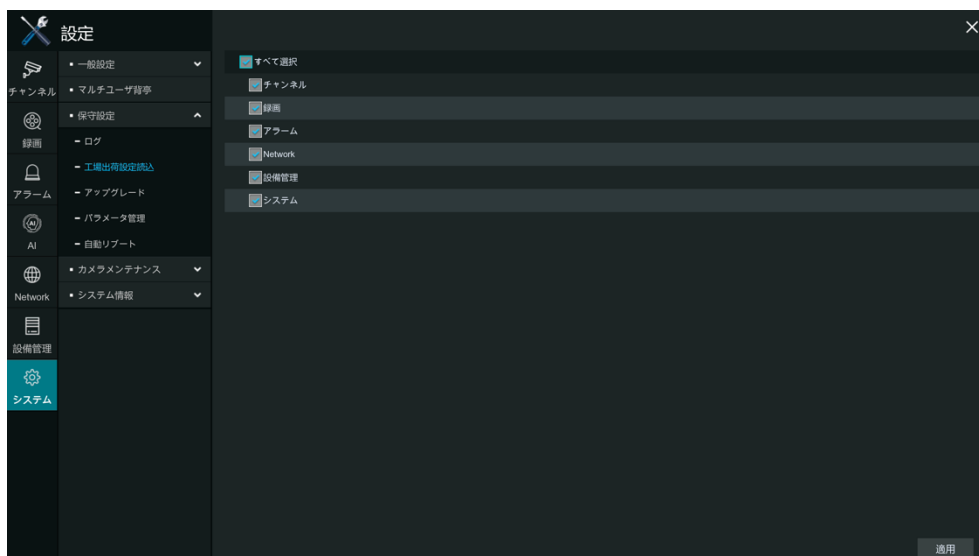
ログ検索とバックアップ:

1. [開始日と開始時刻]の横のフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索開始日と時間を選択します。
2. [終了日と終了時刻]の横のフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索終了日と時間を選択します。

3. 検索したいイベントのタイプを[ログタイプ]の横のドロップダウンから選択するか、[すべて]を選択して、選択した期間のシステムログ全体を表示します。
4. 検索をクリックします。
5. 検索期間からシステムログイベントを閲覧します。
 - 各イベントの[再生]列のボタンをクリックすると、ビデオイベントをすぐに再生できます。右クリックして検索結果に戻ります。
 - ログページが複数ある場合は、メニューの右下隅にある < 1K / > 1M ボタンを使用して、ページ移動します。
6. [バックアップ]をクリックすると、検索期間したログのバックアップが作成できます。USB フラッシュドライブが USB ポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動し、[OK]をクリックして開始します。

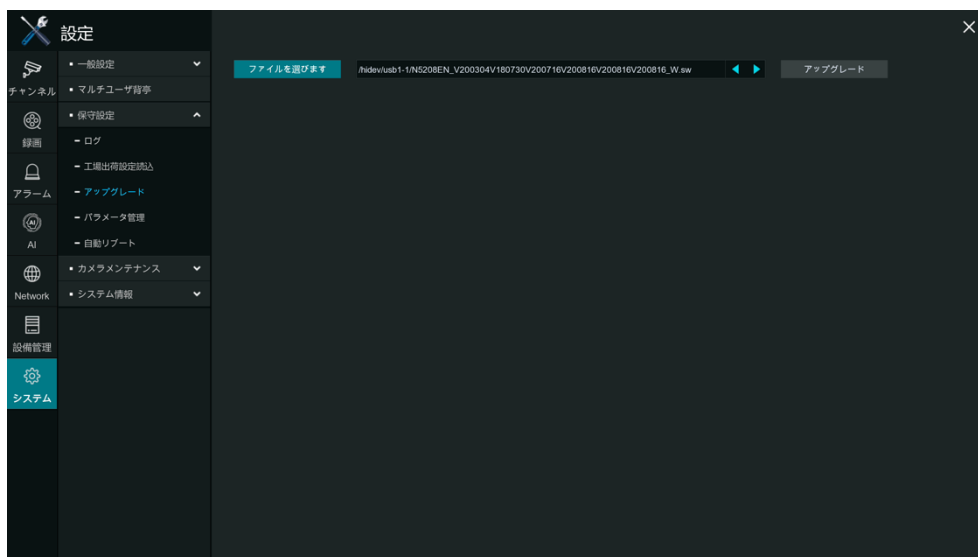
5.7.3.2 工場出荷設定読込

NVR の設定を出荷時の状態にリセットします。すべての設定を一度にリセットするか、特定メニューの設定のみをリセットするかを選択できます。工場出荷設定を復元しても、HDD に保存された録画データとスナップショットは削除されません。



復元する項目だけにチェックを入れるか、[すべて選択]をチェックしてすべての項目を選択します。[適用]をクリックして、選択した項目のデフォルト設定をロードします。

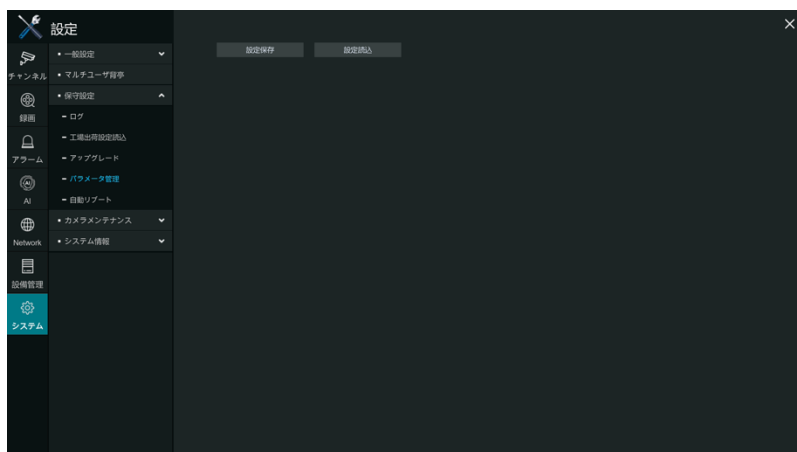
5.7.3.3 アップグレード



1. ファームウェアファイル(.sw ファイル)を USB ドライブにコピーし、NVR の USB ポートに挿入します。
2. [ファイルを選びます]ボタンをクリックして USB 内のファームウェアファイルを選択し、[OK]をクリックします。
3. [アップグレード]ボタンをクリックして、システムのアップグレードを開始します。システムのアップグレードには約 5～10 分ほどかかります。
ファームウェアのアップグレード中は、NVR の電源をオフにしたり、USB を取り外したりしないでください。

5.7.3.4 パラメーター管理

システム設定を USB フラッシュドライブに保存したり、保存した設定ファイルを USB フラッシュドライブから NVR に読み込むことができます。



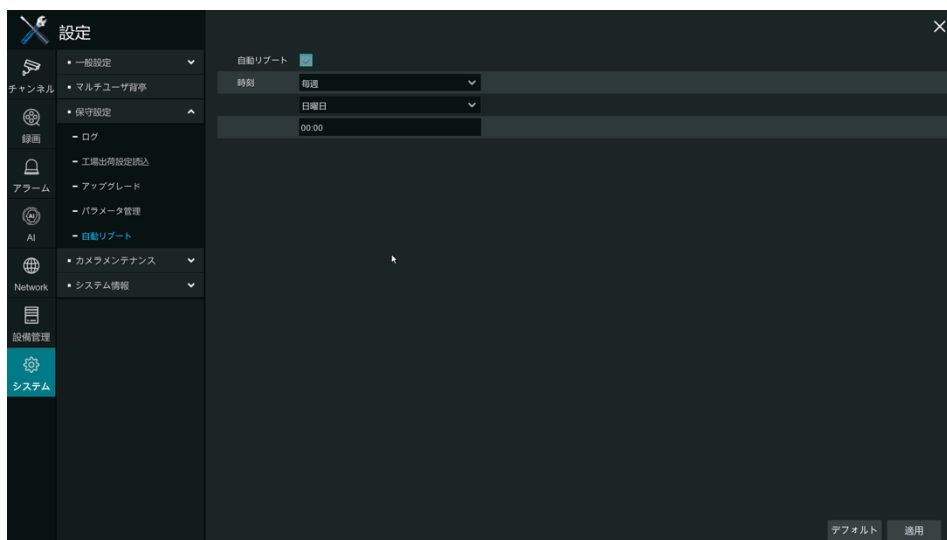
設定保存: NVR の現在のシステム設定を USB デバイスに保存します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

設定読込: USB デバイスに保存した設定を読み込みます。別の NVR で設定したデータからも読み込むことができます。[設定読込]ボタンをクリックして、読み込みたいシステム設定ファイルを選択します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

注意)異なる製品の設定は正常に読み込めない場合があります。

5.7.3.4 自動リブート

このメニューにより、システムは NVR を定期的に自動再起動することができます。自動再起動を設定することで NVR をより安定して運用することができます。



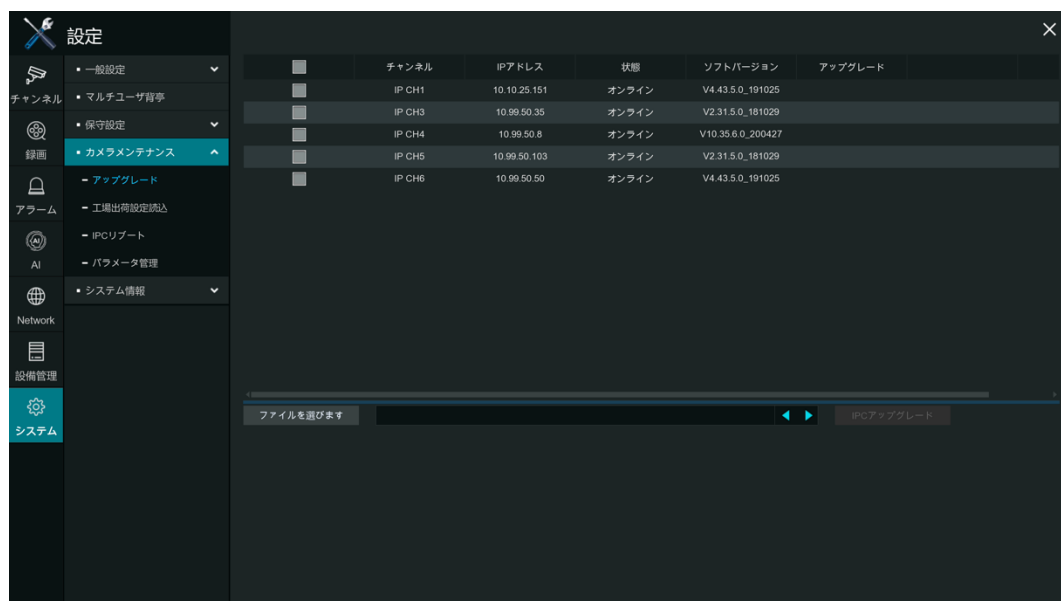
自動リブート: チェックを入れて自動再起動を有効にします。

時刻: 日、週、月のいずれかごとに再起動するように設定できます。各インターバル毎に、再起動するタイミングを設定してください。

5.7.4 IP のメンテナンス

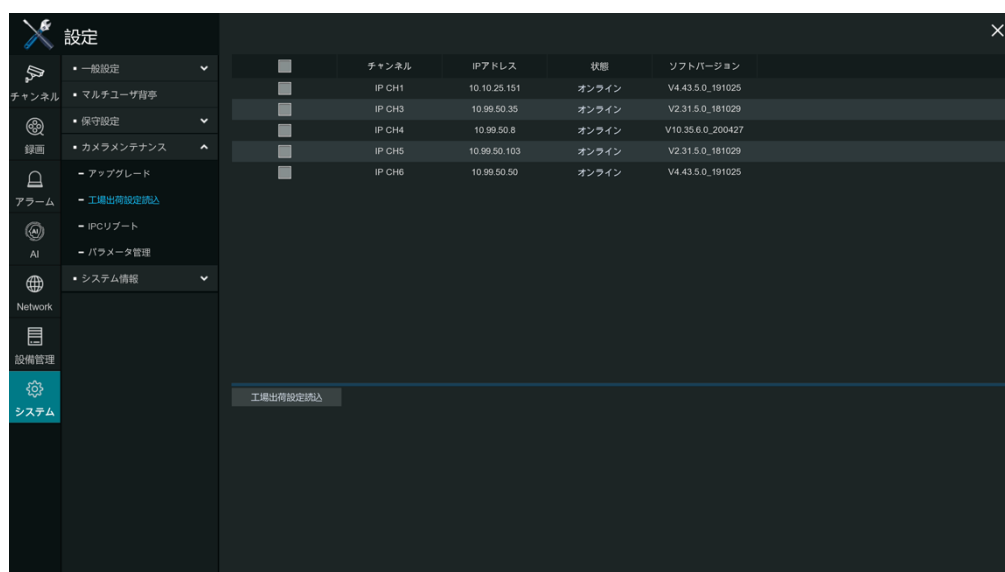
このメニューでは、IP カメラのファームウェアをアップグレード、設定のデフォルトなど、各種カメラのメンテナンスが可能です。

5.7.4.1 IP カメラアップグレード



1. ファームウェアをアップグレードしたい IP カメラにチェックを入れます。
2. [ファイルを選びます]をクリックして、USB フラッシュドライブから更新ファイル(.sw)を選択し、[OK]をクリックします。
3. [IPC アップグレード]ボタンをクリックして、アップグレードを開始します。認証のために管理者パスワードを入力してください。アップグレード中は、NVR やカメラの電源を切ったり、USB を取り外したりしないでください。

5.7.4.2 工場出荷設定読込(IP カメラ)

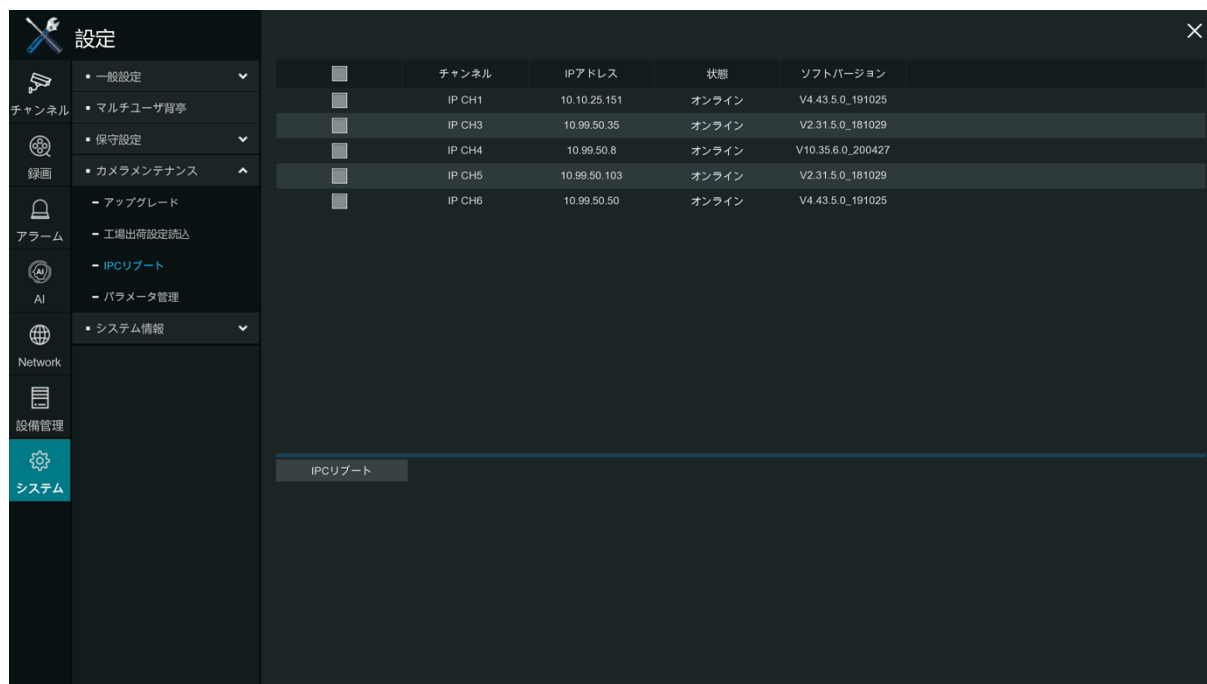


1. デフォルトの設定を復元したいカメラを選択します。

2. [工場出荷設定読込]をクリックして設定を復元します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

注意)カメラの設定を復元した場合、カメラを再度 NVR で使用する場合に設定が必要な場合があります。

5.7.4.3 IPC リポート



1. 再起動したいカメラを選択します。

2. [IPC リポート]をクリックしてカメラを再起動します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

5.7.4.4 パラメータ管理

カメラの設定を USB フラッシュドライブに保存したり、保存した設定ファイルを USB フラッシュドライブから読み込むことができます。

設定保存: カメラ設定を USB デバイスに保存します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

設定読込: USB デバイスに保存した設定を読み込みます。[設定読込]ボタンをクリックして、読み込みたいシステム設定ファイルを選択します。認証のために管理者パスワードを入力してください。

注意)カメラのモデルにより本機能が利用出来ない場合があります。

5.7.5 システム情報

このメニューでは、システム情報、チャンネル情報、録画情報、インターネット状態が表示できます。

5.7.5.1 システム情報

デバイス ID、デバイスモデル名、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョンなどのシステム情報を表示します。

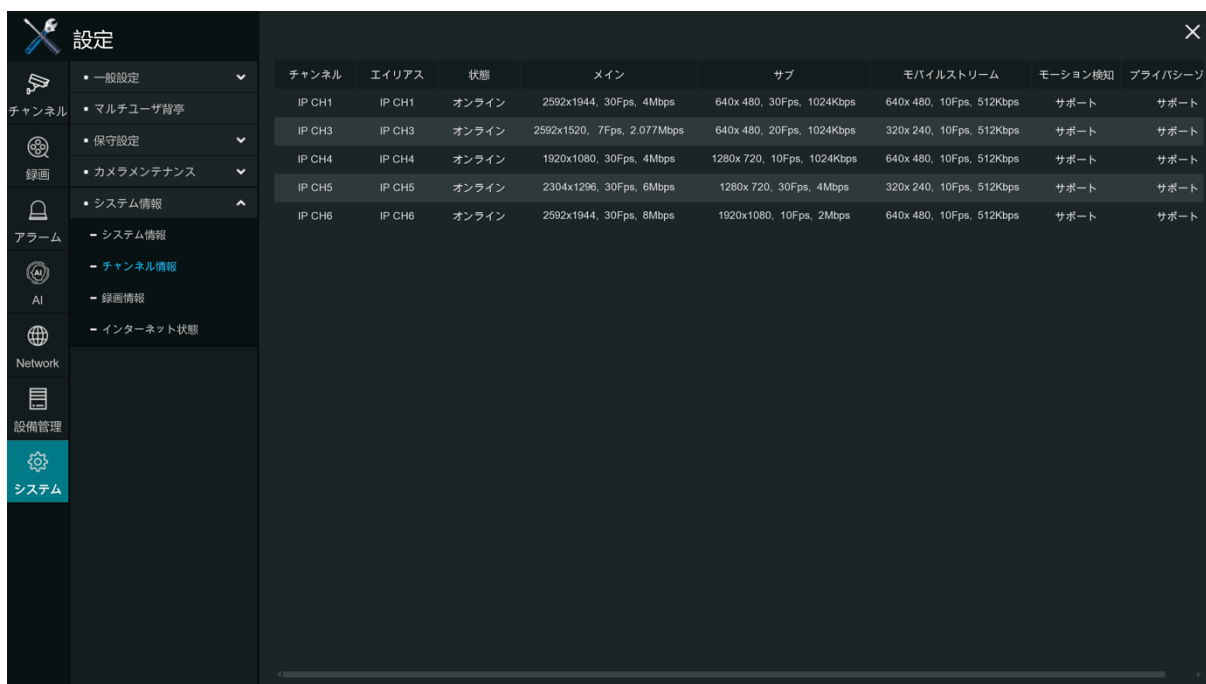
またこのページでは P2P 用の ID と QR コードを表示しています。この ID、及び QR コードを利用して、NVR にリモートでアクセスすることが可能です。

【MobileP2P ID/QR コード】は VMS(Windows)、RXCamView(Mobile)専用の P2P ID です。

【EasyP2P ID】は EMS2(Windows)、MobileCMSLite(Mobile)専用の P2P ID です。

項目	値
デバイスID	000000
デバイス名	PRN-2208
デバイスタイプ	ATS-PRN4208E
ハードバージョン	DM-287
ソフトウェアバージョン	V8.1.0-20200816
IEバージョン	V2.0.0.423
ビデオ形式	NTSC
HDDボリューム	3726G
IPアドレス	10.99.50.70
Web	7000,7000
メディアポート	9000,9000
MACアドレス	00-02-F1-C0-01-C0
インターネット状態	インターネットに接続しました
Mobile P2P ID	RSV1905033065228
EASY P2P ID	RSC001C0

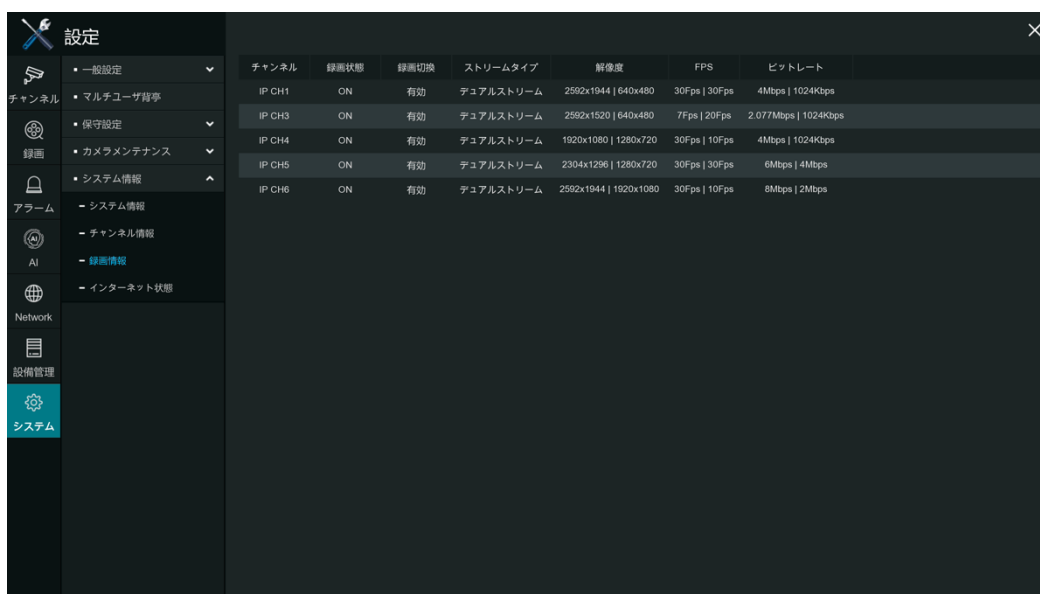
5.7.5.2 チャンネル情報



チャンネル	エイリアス	状態	メイン	サブ	モバイルストリーム	モーション検知	プライバシー
IP CH1	IP CH1	オンライン	2592x1944, 30Fps, 4Mbps	640x 480, 30Fps, 1024Kbps	640x 480, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH3	IP CH3	オンライン	2592x1520, 7Fps, 2.077Mbps	640x 480, 20Fps, 1024Kbps	320x 240, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH4	IP CH4	オンライン	1920x1080, 30Fps, 4Mbps	1280x 720, 10Fps, 1024Kbps	640x 480, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH5	IP CH5	オンライン	2304x1296, 30Fps, 6Mbps	1280x 720, 30Fps, 4Mbps	320x 240, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート
IP CH6	IP CH6	オンライン	2592x1944, 30Fps, 8Mbps	1920x1080, 10Fps, 2Mbps	640x 480, 10Fps, 512Kbps	サポート	サポート

CH 名、メインストリームとサブストリームのエンコードパラメーター、モーション検出ステータス、プライバシーゾーンなど、接続されている各カメラのチャンネル情報を表示します。

5.7.5.3 録画情報



チャンネル	録画状態	録画切換	ストリームタイプ	解像度	FPS	ビットレート
IP CH1	ON	有効	デュアルストリーム	2592x1944 640x480	30Fps 30Fps	4Mbps 1024Kbps
IP CH3	ON	有効	デュアルストリーム	2592x1520 640x480	7Fps 20Fps	2.077Mbps 1024Kbps
IP CH4	ON	有効	デュアルストリーム	1920x1080 1280x720	30Fps 10Fps	4Mbps 1024Kbps
IP CH5	ON	有効	デュアルストリーム	2304x1296 1280x720	30Fps 30Fps	6Mbps 4Mbps
IP CH6	ON	有効	デュアルストリーム	2592x1944 1920x1080	30Fps 10Fps	8Mbps 2Mbps

接続中の各カメラの録画情報を表示します。

5.7.5.4 インターネット状態

プロパティ	値
WLAN	
IPアドレス	10.99.50.70
サブネットマスク	255.255.192.0
ゲートウェイ	10.99.0.1
MACアドレス	00-02-F1-C0-01-C0
DHCP	有効
内部インタフェース	Connected
IPアドレス	10.10.25.100
サブネットマスク	255.255.0.0
DNS1	168.126.63.1
DNS2	8.8.8.8
PPPOE	無効
ポート	
Web	7000,7000,非アクティブ,有効
メディアポート	9000,9000,非アクティブ,有効
Rtsp	554,554,非アクティブ,有効
Https	443,443,非アクティブ,有効
合計帯域幅	128Mbps
使用帯域幅	34.577Mbps
TOE	有効

NVR のネットワーク情報を表示します。

合計帯域幅: NVR が入力、接続可能な帯域幅の数値を表示します。

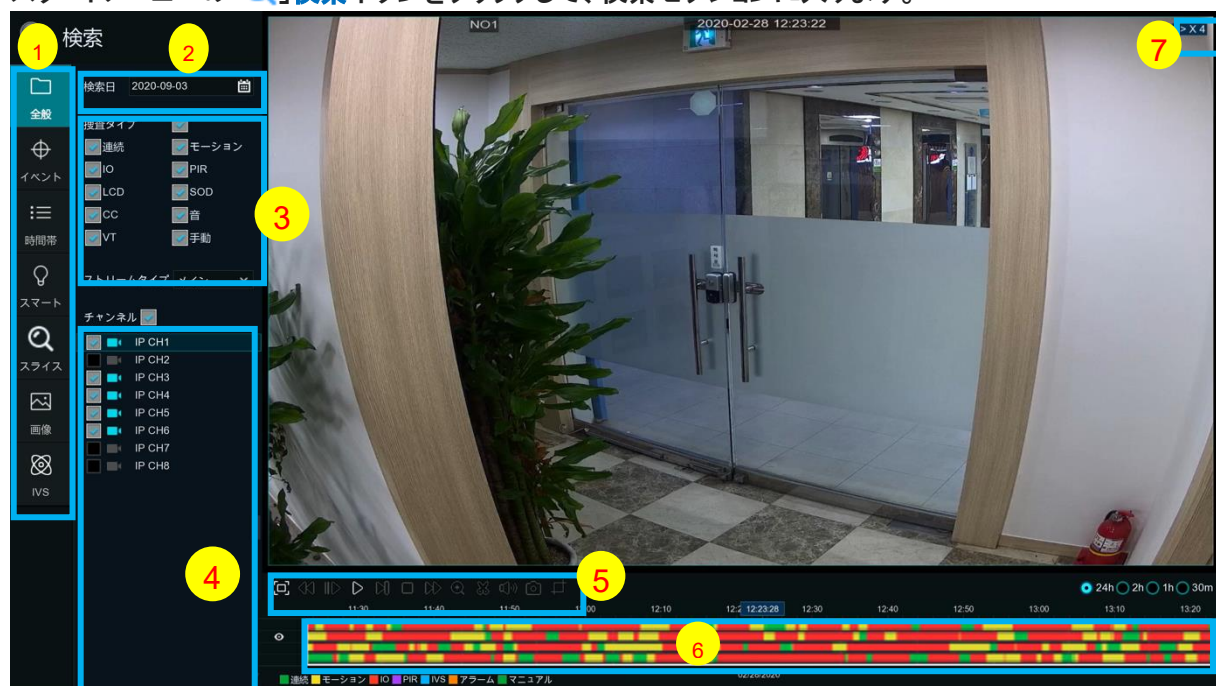
使用帯域幅: 現在接続している IP カメラの使用中の帯域幅の合計値を表示します。

Chapter 6 検索、再生&バックアップ

検索機能を使用すると、HDD に保存している録画データやスナップショットを検索して再生できます。各種イベントや時間帯などから様々な検索方法が選択できます。またバックアップ機能を使用すると、必要なデータ(ビデオ、スナップショット)を USB フラッシュドライブに保存できます。

検索機能を使用する

スタートメニューの「 検索」ボタンをクリックして、検索セクションに入ります。



- 1. 検索オプション:** 本機では、様々な検索および再生方法が可能です: 全般、イベント、時間帯、スマート、スライス、画像、インテリジェント。
- 2. 検索日:** 日付で検索して再生します。
- 3. 検索タイプ:** 検索したいデータを絞り込むためにイベントタイプを選択できます。
- 4. チャンネル選択:** 検索、再生するチャンネルを選択します。
- 5. ビデオ再生コントロール:** ビデオの再生を制御します。



 全画面表示: 再生画面を全画面に拡大します。

 巻き戻し: 逆再生を開始し、速度の調整ができます。x2、x4、x8、x16、x32、x64 速度

 スロープレイ: 再生速度を調整できます。1 / 2、1 / 4 および 1 / 8、1 / 16 速度

▶ 再生 / || 一時停止 クリックするごとに相互に切り替わります。

⏮ コマ送り: フレームごとに再生します。1 回クリックしてビデオのフレームを再生します。

⏹ 停止: 再生を停止します。

⏭ 早送り: 倍速再生を開始し、速度の調整ができます。x2、x4、x8、x16、x32、x64 速度

+ デジタルズーム: 再生中にクリックするとズームプレビュー画面が表示されます。マウスのスクロールホイールにてズーム倍率の調整、ズーム領域をドラッグするとズーム領域の移動ができます。右クリックすると通常の再生に戻ります。

✂ ビデオクリップ: 再生中にバックアップしたい時間の切り出しが可能です。

💾 バックアップ: ビデオクリップにて選択した時間のデータをバックアップします。

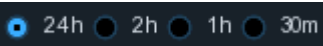
🔊 音声: クリックすると、ボリュームコントロールが表示されます。スライダバーをスクロールして、音量を上げたり下げたり出来ます。

📷 手動キャプチャ: スナップショットイメージを USB フラッシュドライブにキャプチャします。ビデオ再生が分割画面ビューの場合は、キャプチャしたいチャンネルにマウスカーソルをあわせ、

📷 アイコンをクリックしてスナップショットを保存してください。

🖼 スクリーンショット: 🖼 アイコンをクリックすると、🖼 アイコンに変更されます。この状態で、任意の CH 映像上でマウスの左ボタンを押したままドラッグすると、ドラッグしたエリアが黄色い枠(1)で表示されます。[保存]を選択すると、USB に保存されます。
また AI カメラを利用し、顔画像を領域内に選択している場合、[導入](2)を押すと撮影している顔をプロフィール登録(3)することができます。



6. **タイムライン**: タイムラインは録画のタイプごとに様々な色で表示されます。(録画のタイプと色については画面の下隅に表示されます。)また、時間枠オプション  を切り替える
と、時間の間隔が調整できます。

タイムライン種別:

A.  連続  モーション  IO  PIR  インテリジェント  アラーム  マニュアル

B.  連続録画

C.  モーション録画

D.  I/O 録画

E.  PIR 録画(現在利用できません)

F.  インテリジェント録画

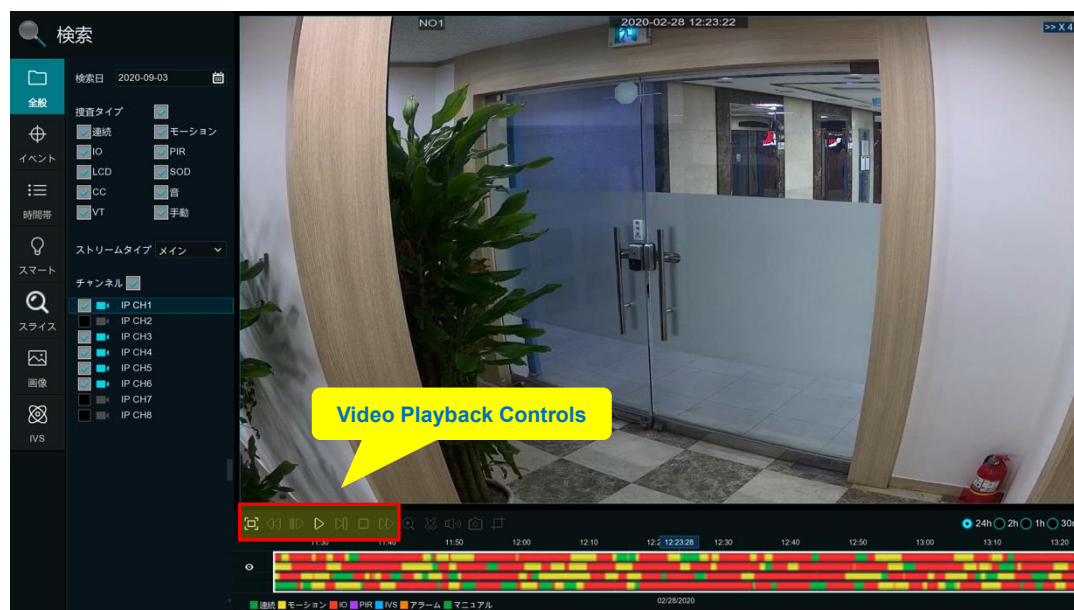
G.  アラーム録画

H.  マニュアル録画

7. **再生ステータス**: 再生中のステータスを表示します。再生、停止 >>x2, >>4, <<x2,<<x64 等

6.1 検索 - 全般

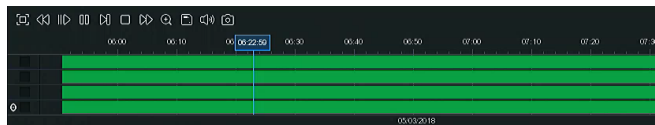
このメニューでは、日付、および録画のタイプから録画データの検索、再生ができます。



1. 検索する日付をカレンダーから選択します。※録画データが存在する日付には赤色の下線が付きます。
2. 検索したい録画データのタイプを選択します。すべてのタイプを検索するには[検索タイプ]右のボックスにチェックを入れてください。
3. 検索するストリームタイプ(メインストリーム、サブストリーム)を選択します。
4. 検索したいチャンネルにチェックを入れます。接続しているすべてのチャンネルを検索するには[チャンネル]右のボックスにチェックを入れてください。
5. 検索結果は 00:00 から 24:00(翌 00:00)までタイムラインに表示されます。

6. ▶ ボタンをクリックして再生を開始します。
7. タイムライン上、任意の時間上で左クリックすると、そこから再生を開始できます。
8. **ビデオ再生コントロール**パネルで各種再生の制御が可能です。
9. タイムラインの間隔を調整したい場合は時間枠オプション  を使用してください。
10. 再生中にデータの一部を USB フラッシュドライブに保存したい場合は、 **ビデオクリップ**バックアップ機能を使用します。

ビデオクリップバックアップ



1. USB フラッシュドライブを NVR に挿入します。
2. ビデオ録画の再生を開始します。
3.  アイコンをクリックします。
4. バックアップしたいチャンネルのタイムライン左隅にあるボックスにチェックを入れてください。
5. ビデオクリップを開始しようとするタイムラインにマウスカーソルを移動します。
6. マウスを左クリックし、ビデオクリップを終了するタイムラインまでカーソルをドラッグします。
7.  アイコンが  アイコンに変わります。 をクリックしてビデオクリップを保存します。
8. バックアップファイルのファイルタイプを選択し、[保存]ボタンをクリックしてビデオクリップを保存します。USB メモリに十分な空き容量があることを確認してください。



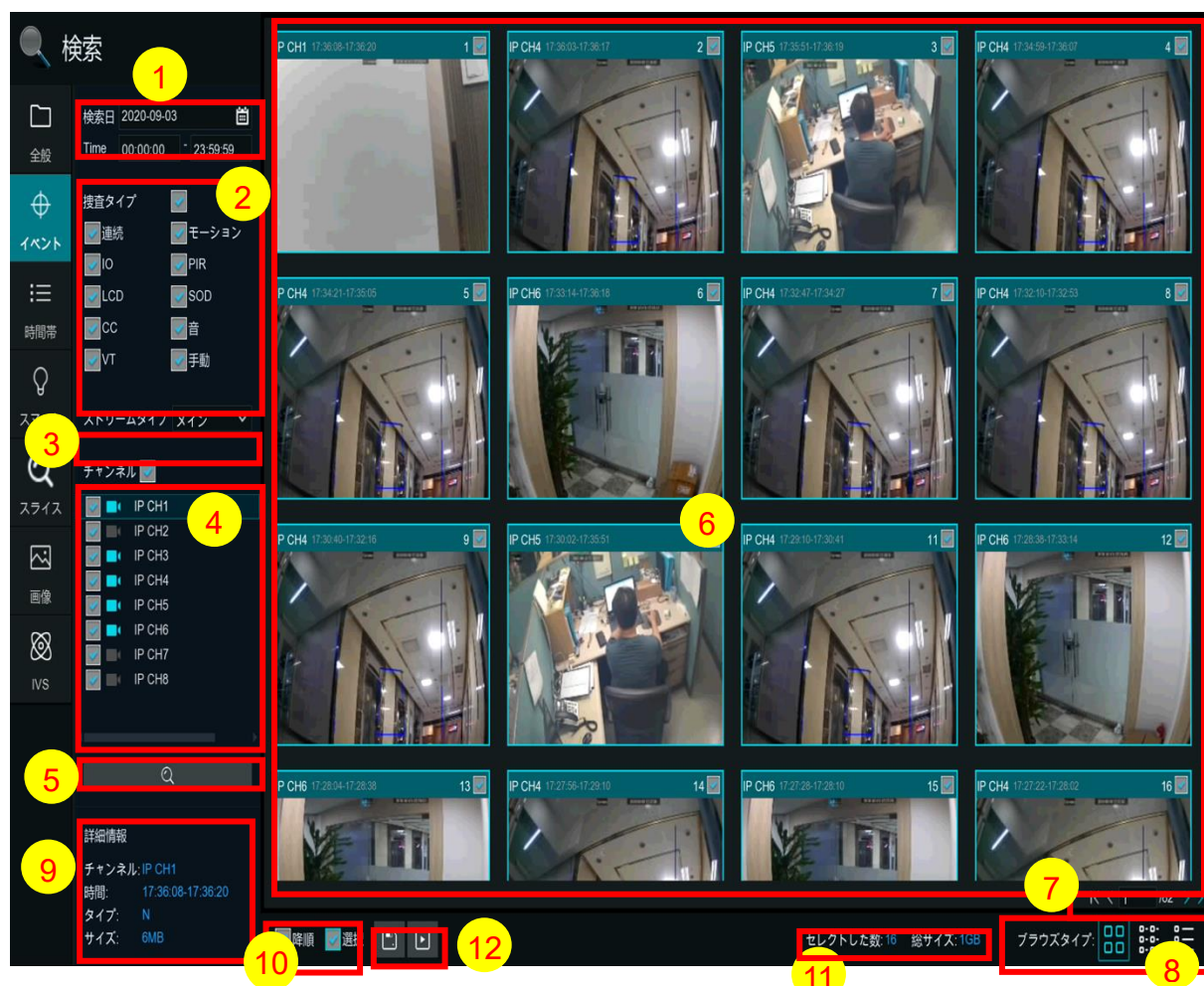
9. バックアップドライブメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダーを選択してください。
10. **OK** をクリックして開始します。ウィンドウの下部にある進行状況バーに、バックアップの進行状況が表示されます。

6.2 検索 - イベント

イベント検索を使用すると、チャンネル、開始時間と終了時間、録画タイプを選択し、ビデオ録画のリストを一覧で見ることができます。該当データを USB フラッシュドライブにバックアップすることもできます。

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索したい録画データのタイプを選択します。すべてのタイプを検索するには[検索タイプ]右のボックスにチェックを入れてください。

3. 検索するストリームタイプ(メインストリーム、サブストリーム)を選択します。
4. 検索したいチャンネルにチェックを入れます。接続しているすべてのチャンネルを検索するには[チャンネル]右のボックスにチェックを入れてください。
5.  アイコンをクリックして検索を開始します。
6. 検索条件に一致するデータがリスト形式で表示されます。いずれかのイベントでマウスの左ダブルクリックすると、ビデオを再生できます。



7. リストが複数ページに跨る場合は、メニューの右下隅にあるアイコン      をクリックして、ページ間をめくるか、または検索するページを数字入力します。
8. ブラウズタイプ: 画面の右下に表示されるアイコンをクリックして、リストフォームの表示を切り替えることができます。:
 サムネイル表示: 各データのスナップショットを表示できます。

 リスト表示: 各データがリスト形式で表示されます。

3 IP CH4 07:13:40	4 IP CH4 07:13:42	5 IP CH4 07:14:20	6 IP CH4 07:15:33	7 IP CH4 07:37:20
10 IP CH4 08:11:21	11 IP CH4 08:14:28	12 IP CH4 08:14:47	13 IP CH4 08:27:55	14 IP CH4 09:06:46
17 IP CH1 09:08:32	18 IP CH4 09:08:37	19 IP CH4 09:18:24	20 IP CH4 09:18:55	21 IP CH4 09:19:27
24 IP CH4 09:23:25	25 IP CH4 09:23:39	26 IP CH1 09:35:01	27 IP CH4 10:13:41	28 IP CH4 10:14:47
31 IP CH1 10:47:37	32 IP CH1 10:47:40	33 IP CH4 10:47:50	34 IP CH1 10:58:41	35 IP CH4 11:01:42
38 IP CH4 11:08:44	39 IP CH4 11:09:18	40 IP CH4 11:29:52	41 IP CH4 11:32:29	42 IP CH1 11:36:40
45 IP CH4 12:10:27	46 IP CH1 12:10:57	47 IP CH4 12:10:58	48 IP CH4 12:11:29	49 IP CH4 12:11:39
52 IP CH4 12:41:08	53 IP CH4 12:41:39	54 IP CH1 12:44:21	55 IP CH1 12:44:52	56 IP CH4 12:45:23
59 IP CH4 13:49:34	60 IP CH4 14:02:09	61 IP CH4 14:02:39	62 IP CH1 14:27:44	63 IP CH1 14:30:32
66 IP CH1 14:39:14	67 IP CH4 14:39:37	68 IP CH4 14:40:37	69 IP CH4 14:41:11	70 IP CH4 14:41:42
73 IP CH4 14:56:32	74 IP CH4 14:57:24	75 IP CH4 15:10:53	76 IP CH4 15:12:29	77 IP CH4 15:15:28
80 IP CH1 15:45:23	81 IP CH4 15:45:23	82 IP CH4 15:50:42	83 IP CH4 15:51:39	84 IP CH1 15:51:47
87 IP CH1 16:09:11	88 IP CH4 16:10:18	89 IP CH4 16:20:20	90 IP CH4 16:24:42	91 IP CH4 16:41:37
94 IP CH1 16:42:35	95 IP CH4 16:43:58	96 IP CH4 16:44:30	97 IP CH4 16:45:01	98 IP CH1 16:46:17
101 IP CH4 16:47:39	102 IP CH1 16:47:50	103 IP CH4 16:48:10	104 IP CH4 17:01:32	105 IP CH4 17:20:23
108 IP CH4 18:07:21	109 IP CH1 18:07:27	110 IP CH1 18:13:17	111 IP CH4 18:35:45	112 IP CH4 18:38:07
115 IP CH4 18:40:56	116 IP CH4 18:41:08	117 IP CH4 18:41:36	118 IP CH4 18:42:52	119 IP CH4 18:44:04
122 IP CH4 18:46:12	123 IP CH1 18:59:46	124 IP CH4 19:01:53	125 IP CH1 19:03:01	126 IP CH4 19:05:31
129 IP CH4 19:16:55	130 IP CH1 19:17:02	131 IP CH4 19:17:52	132 IP CH4 19:17:58	133 IP CH4 19:18:22
136 IP CH4 19:19:27	137 IP CH1 19:19:50	138 IP CH4 19:20:32	139 IP CH4 19:31:08	140 IP CH4 19:36:25

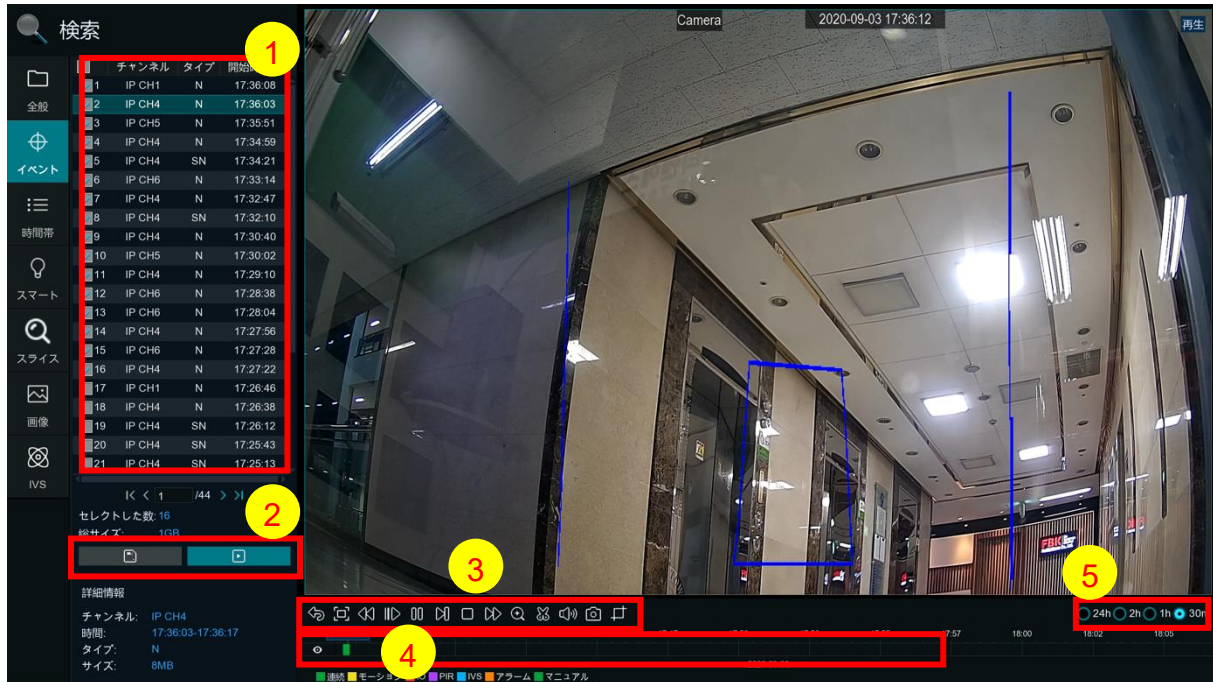
 詳細: 各データの詳細情報を表示します。

	チャンネル	タイプ	日付	開始時刻	終了時刻	サイズ	再生
1	IP CH4	S	05/12/2020	14:02:39	14:02:49	8MB	
2	IP CH1	S	05/12/2020	14:27:44	14:28:24	32MB	
3	IP CH1	S	05/12/2020	14:30:32	14:31:31	45MB	
4	IP CH1	S	05/12/2020	14:31:28	14:32:08	31MB	
5	IP CH4	S	05/12/2020	14:39:09	14:39:43	27MB	
6	IP CH1	S	05/12/2020	14:39:14	14:39:57	34MB	
7	IP CH4	S	05/12/2020	14:39:37	14:39:49	10MB	
8	IP CH4	S	05/12/2020	14:40:37	14:41:15	30MB	
9	IP CH4	S	05/12/2020	14:41:11	14:41:48	28MB	
10	IP CH4	S	05/12/2020	14:41:42	14:41:52	8MB	
11	IP CH4	S	05/12/2020	14:45:38	14:46:15	29MB	
12	IP CH4	S	05/12/2020	14:46:11	14:47:04	40MB	
13	IP CH4	S	05/12/2020	14:56:32	14:57:24	41MB	
14	IP CH4	S	05/12/2020	14:57:24	14:57:28	4MB	
15	IP CH4	S	05/12/2020	15:10:53	15:11:31	31MB	
16	IP CH4	S	05/12/2020	15:12:29	15:13:20	39MB	
17	IP CH4	S	05/12/2020	15:15:28	15:16:04	29MB	
18	IP CH4	S	05/12/2020	15:16:00	15:16:10	9MB	
19	IP CH4	S	05/12/2020	15:16:56	15:17:34	29MB	
20	IP CH1	S	05/12/2020	15:45:23	15:46:05	32MB	

詳細表示モードでは、データをロックして、データが上書きされないようにすることができます。  アイコンをクリックしてロック、  アイコンをクリックしてロックを解除します。

9. いずれかのデータをクリックすると、画面の左下隅にデータの情報を表示します。
10. データ番号の横にあるボックスをチェックしてファイルを選択するか、または[選択]横にあるボックスをチェックしてページ内のすべてのデータを選択します。
また[降順]にチェックを入れると、データのソートを切り替えます。
11. 選択したファイルの数、合計サイズの情報が画面の右下に表示されます。
12. ファイルを選択したら、 バックアップアイコンをクリックしてビデオを USB フラッシュドライブに保存できます。また、 再生アイコンをクリックしてイベント再生制御ウィンドウに移動し、ビデオを再生します。

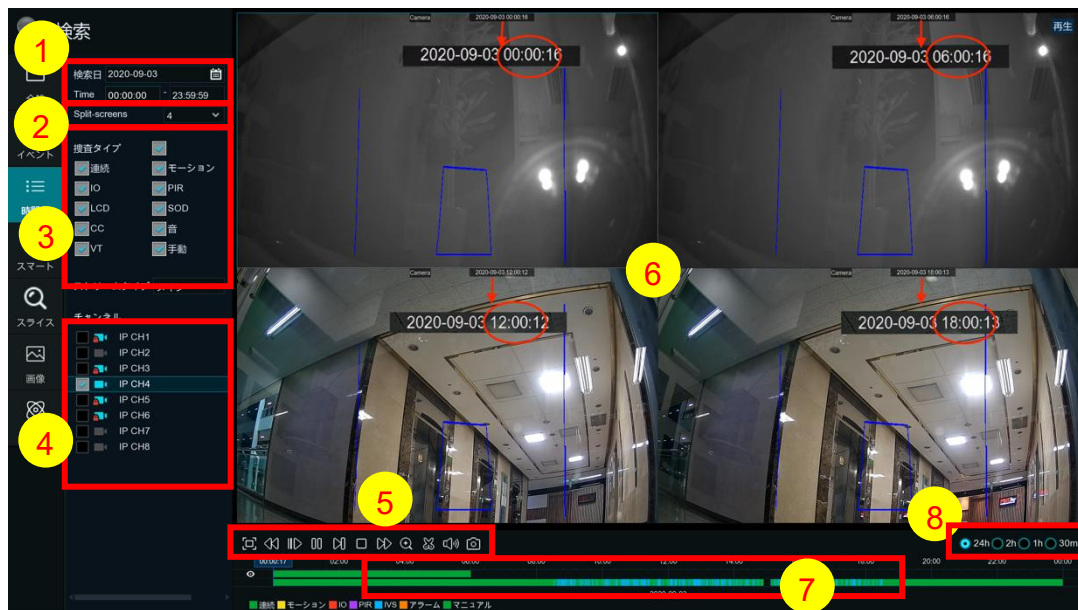
イベント再生制御



1. イベントリストが表示されます。ここでは自由にデータを選択することができます。
2. アイコンをクリックして、選択したデータを USB フラッシュドライブに保存します。動画を再生するには アイコンをクリックしてください。
3. **ビデオ再生制御** のボタンで再生を制御します。 アイコンをクリックするか、マウスを右クリックして再生を終了し、イベント検索ウィンドウに戻ることができます。
4. 現在再生しているデータがタイムラインに表示されます。
5. タイムラインの時間の間隔を切り替えるには、時間枠オプション を使用してください。

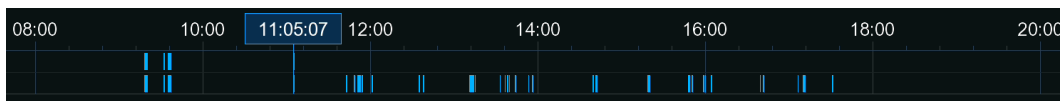
6.3 検索 - 時間帯(Sub-periods 再生)

時間帯再生では、1つのチャンネルから複数の録画データを同時に再生できます。選択したタイプ、分割画面モードに応じてビデオが均等に分割されます。



時間帯再生:

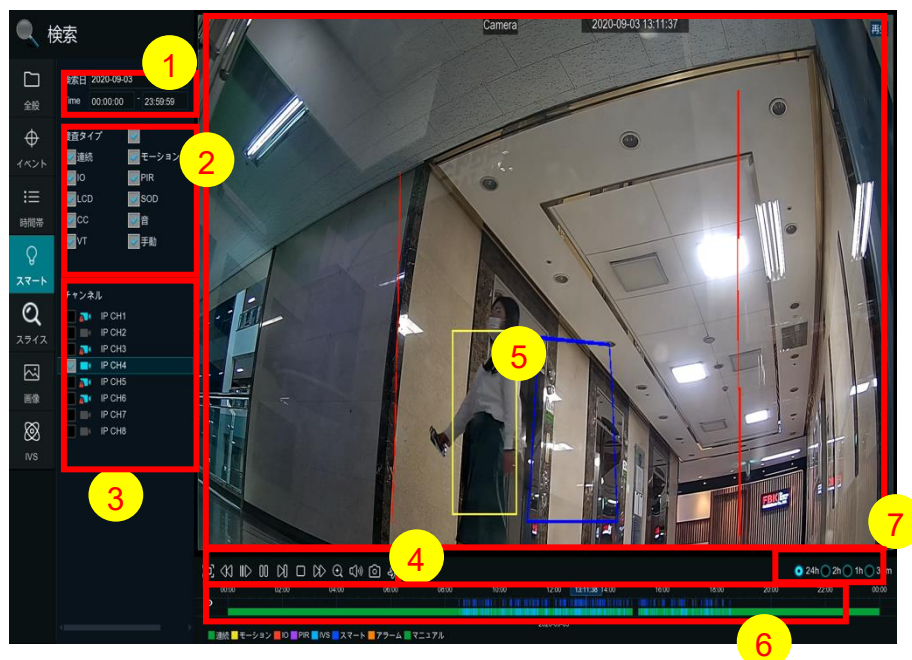
1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. Split-screens にてビデオを再生する分割数を選択します。
3. 検索する録画タイプをチェックするか、[検索タイプ]をチェックしてすべてを選択します。
4. 検索するチャンネルを選択します。この機能では、1 度に 1 つのチャンネルのみ検索と再生をサポートしています。
5. 再生ボタン▶をクリックして、再生を開始します。ビデオ再生コントロールボタンで再生を制御します。
6. 1 つのチャンネルのデータが分割画面で再生されます。
7. 特定の分割画面でマウスを左クリックすると、ビデオ分割画面の期間がタイムラインに表示されます。タイムライン上部のカラーバーは、クリックして選択している録画データの期間を示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、検索した動画全体の期間を示します。



8. タイムラインの時間の間隔を切り替えるには、時間枠オプション 24h 2h 1h 30m を使用してください。

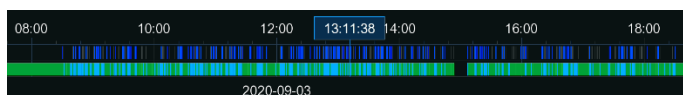
6.4 検索 - スマート

スマートモードでは、チャンネルの 1 つ以上の特定の領域でモーションイベントを簡単に検索、再生できます。



スマート検索:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索する録画タイプをチェックするか、[検索タイプ]をチェックしてすべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択すると、選択したチャンネルのモーション録画が自動的に検索されます。この機能は一度に1つのチャンネルのみ検索と再生をサポートしています。
4. 再生ボタンを▶クリックして、再生を開始します。ビデオ再生コントロールボタンで再生を制御します。
5. 画面上に動画が再生されます。
6. タイムライン上部のカラーバーは、検索した期間内のモーションイベントを示します。タイムラインの下部にあるカラーバーは、指定した録画全体の完全な期間を示します。

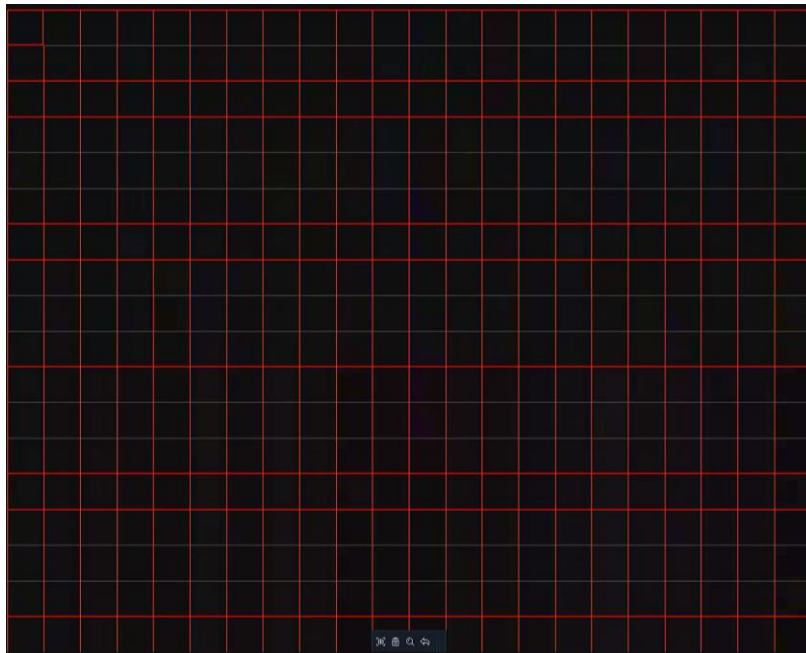


7. タイムラインの時間の間隔を切り替えるには、時間枠オプション(● 24h ● 2h ● 1h ● 30m) を使用してください。

スマート検索エリア

スマート検索機能では、初期でチャンネルの全領域のモーションイベントを検索します。特定の領域を指定して、検索範囲を絞り込むことができます。

ビデオ再生コントロールでスマートアイコンをクリックすると、カメラが全画面で表示され、スマートコントロールバーが表示されます。



コントロールバーは端をクリックしてドラッグすると、位置を変更することができます。

スマートコントロールバー



[田] すべての選択;画面全体を検出エリアに設定します。

[🗑️] すべてのクリア:設定した全ての検出エリアを削除します。

[🔍] 検索:設定した検出エリアに基づいてデータを検索し再生します。

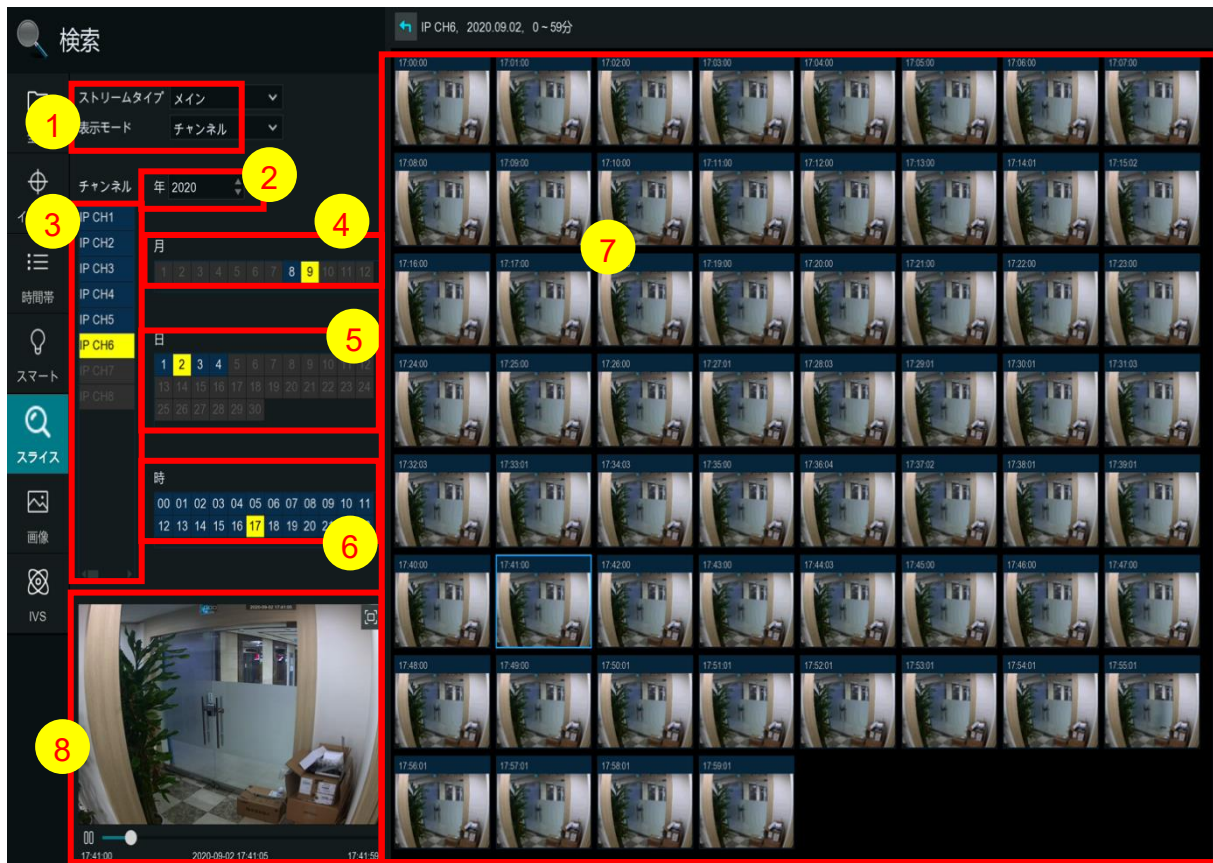
[↶] 終了:検索、再生インターフェイスに戻ります。

任意で検出エリアを定義するには、次の手順で実行してください。

1. 任意の箇所でドラッグし、定義する検出エリアを選択します。この手順で複数のエリアを設定できます。また同じ手順を繰り返し、設定したエリアを削除することもできます。設定終了後は、検索ボタンをクリックして再生してください。
2. 再生インターフェイスに戻ります。 検索条件に一致するセグメントは、タイムライン上部に青色で表示されます。

6.5 検索 - スライス

この機能では、時間とカメラによる選択条件によってサムネイルを表示し、最終的に希望する状態の画像を再生できます。

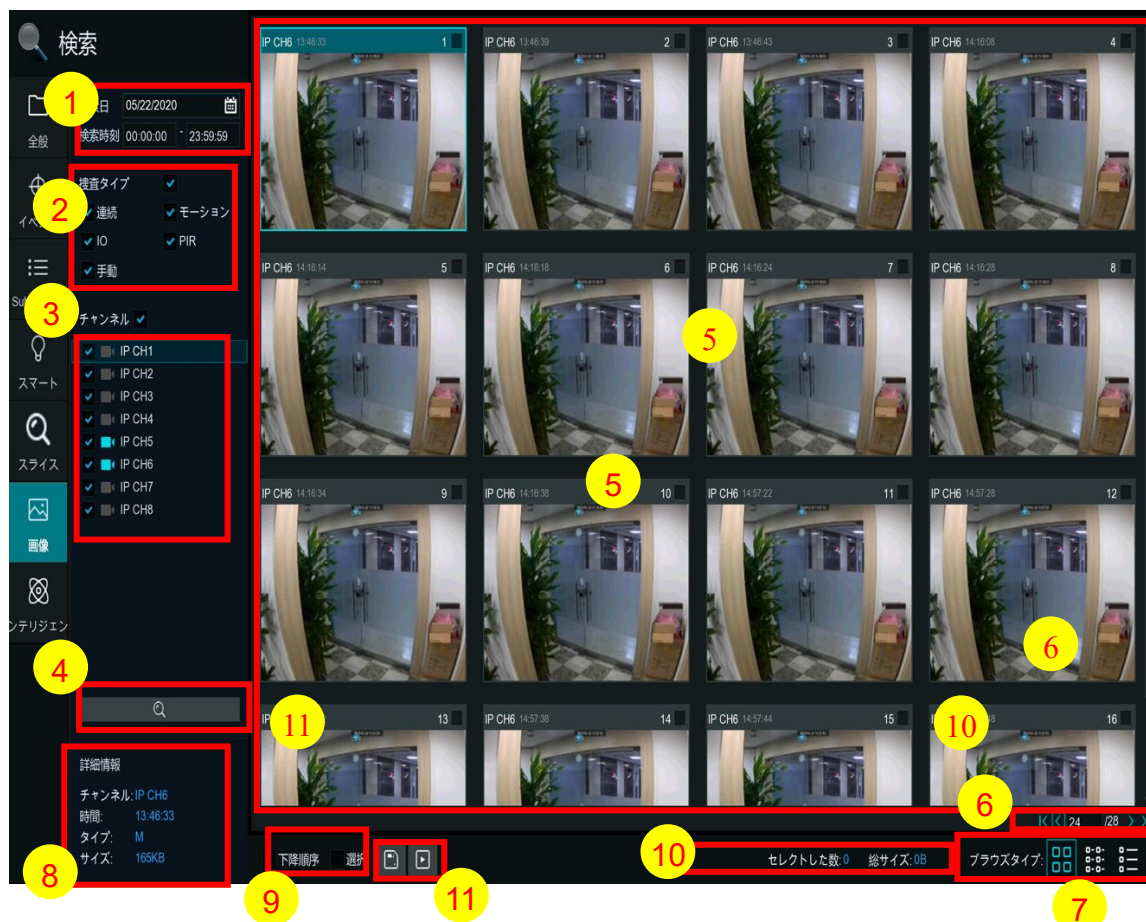


スライス検索再生:

1. メインストリーム/サブストリームのストリームタイプと表示モード(時刻/チャンネル)を選択します
表示モードが時刻の場合は、検索したい時刻を基準に検索ができます。
表示モードがチャンネルの場合は、検索したいチャンネルを基準に検索ができます。
2. 検索したい年を選択してください。
3. 検索するチャンネルを選択します。検索範囲に録画データが存在するチャンネルは青いアイコンで表示されます。アイコンを選択すると黄色に変わります。選択したチャンネルの月別サムネイルが [7] のウィンドウに表示されます。
4. 月を選択すると、サムネイルが該当月の日付毎に表示されます。
5. 日付を選択すると、サムネイルが該当日の 1 時間毎に表示されます。
6. 時間を選択すると、該当時間内 60 分のサムネイルが 1 分毎に表示されます。
7. 検索した画像をクリックすると、[8] のウィンドウで再生を開始します。

6.6 検索 - 画像

この機能では、保存したスナップショットを検索、再生、および USB フラッシュドライブに保存することができます。



画像検索:

1. 検索する日付と時刻を選択します。
2. 検索するキャプチャ画像のタイプをチェックするか、[検索タイプ]右のボックスをチェックしてすべてを選択します。
3. 検索するチャンネルを選択するか、[チャンネル]右のボックスをチェックしてすべてのチャンネルを選択します。
4. 🔍 ボタンをクリックして検索します。
5. 検索条件に一致する画像がリスト形式で表示されます。画像の1つをダブルクリックすると、拡大して表示できます。
6. リストが複数ページに跨る場合は、メニューの右下隅にある **◀ 4 /15 ▶** アイコンをクリックして、ページ間をめくるか、または検索するページを数字入力します。
7. 画面の右下隅に表示される下のアイコンをクリックして、リストフォームの表示を切り替えることができます。



サムネイル表示:各スナップショットを表示できます。



リスト表示:各データがリスト形式で表示されます。

☐ 1 CH1 00:00:00	☐ 2 CH1 00:00:45	☐ 3 CH1 00:18:30	☐ 4 CH1 00:44:03	☐ 5 CH1 01:10:48	☐ 6 CH1 01:19:22	☐ 7 CH1 01:35:37
☐ 9 CH1 02:01:12	☐ 10 CH1 02:25:38	☐ 11 CH1 02:43:17	☐ 12 CH1 03:02:08	☐ 13 CH1 03:08:37	☐ 14 CH1 03:10:01	☐ 15 CH1 03:14:54
☐ 17 CH1 04:07:23	☐ 18 CH1 04:19:35	☐ 19 CH1 04:36:40	☐ 20 CH1 05:00:20	☐ 21 CH1 05:24:12	☐ 22 CH1 05:45:55	☐ 23 CH1 06:04:07
☐ 25 CH1 06:41:12	☐ 26 CH1 06:44:25	☐ 27 CH1 07:01:42	☐ 28 CH1 07:20:43	☐ 29 CH1 07:31:23	☐ 30 CH1 07:48:04	☐ 31 CH1 08:17:33
☐ 33 CH1 08:50:34	☐ 34 CH1 09:07:05	☐ 35 CH1 09:25:12	☐ 36 CH1 09:44:07	☐ 37 CH1 09:46:08	☐ 38 CH1 10:00:52	☐ 39 CH1 10:14:18
☐ 41 CH1 10:45:57	☐ 42 CH1 11:12:48	☐ 43 CH1 11:20:27	☐ 44 CH1 11:48:18	☐ 45 CH1 12:07:25	☐ 46 CH1 12:30:12	☐ 47 CH1 12:44:43
☐ 49 CH1 13:06:48	☐ 50 CH1 13:30:46	☐ 51 CH1 13:37:51	☐ 52 CH1 13:57:01	☐ 53 CH1 14:10:24	☐ 54 CH1 14:11:16	☐ 55 CH1 14:18:12
☐ 57 CH1 14:40:31	☐ 58 CH1 14:44:42	☐ 59 CH1 14:48:38	☐ 60 CH1 15:15:44	☐ 61 CH1 15:39:06	☐ 62 CH1 16:01:07	☐ 63 CH1 16:16:00
☐ 65 CH1 16:27:29	☐ 66 CH1 16:43:47	☐ 67 CH1 16:45:43	☐ 68 CH1 17:01:14	☐ 69 CH1 17:05:03	☐ 70 CH1 17:28:30	☐ 71 CH1 17:54:23
☐ 73 CH1 18:36:07	☐ 74 CH1 18:44:14	☐ 75 CH1 18:57:14	☐ 76 CH1 19:07:37	☐ 77 CH1 19:12:12	☐ 78 CH1 19:36:50	☐ 79 CH1 19:50:34
☐ 81 CH1 20:25:40	☐ 82 CH1 20:34:32	☐ 83 CH1 20:49:48	☐ 84 CH1 21:04:51	☐ 85 CH1 21:21:09	☐ 86 CH1 21:42:12	☐ 87 CH1 21:47:36
☐ 89 CH1 22:29:59	☐ 90 CH1 22:39:14	☐ 91 CH1 22:54:42	☐ 92 CH1 22:57:45	☐ 93 CH1 23:08:03	☐ 94 CH1 23:22:59	☐ 95 CH1 23:35:50

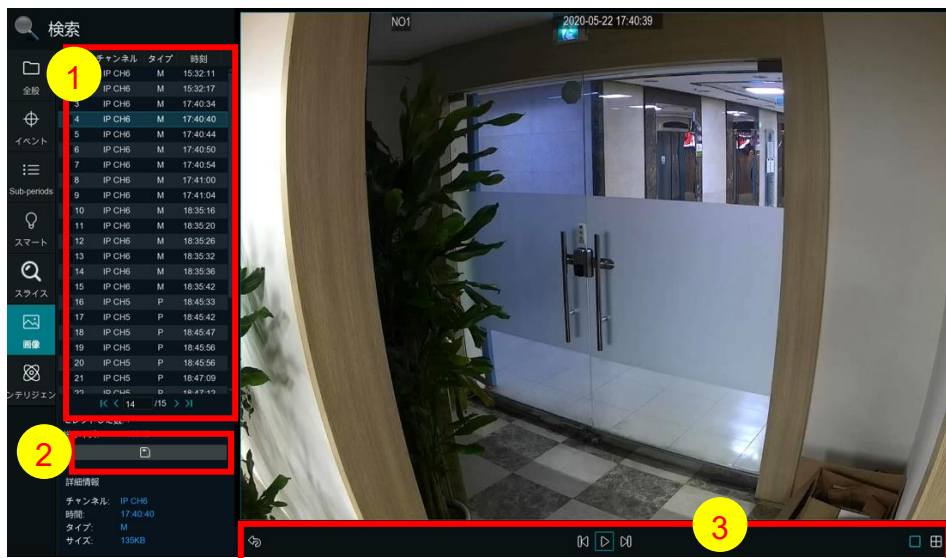
 詳細:各データの詳細情報を表示します。

☐	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback
☐ 1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	☐
☐ 2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	☐
☐ 3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	☐
☐ 4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	☐
☐ 5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	☐
☐ 6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	☐
☐ 7	CH1	MIN	10/24/2017	01:00:31	333KB	☐
☐ 8	CH1	MIN	10/24/2017	01:09:42	141KB	☐
☐ 9	CH1	MIN	10/24/2017	01:10:14	491KB	☐

- いずれかの画像の一つをマウスで左クリックすると、画面の左下隅に画像情報を表示します。
- データ番号の横にあるボックスをチェックしてファイルを選択するか、または[選択]横にあるボックスをチェックしてページ内のすべてのデータを選択します。
また[降順]にチェックを入れると、データのソートを切り替えます。
- 選択したファイルの数、合計サイズの情報が画面の右下に表示されます。
- ファイルを選択した後、 ボタンをクリックして画像を USB フラッシュドライブに保存することができます。または、 ボタンをクリックして、画像プレビューコントロールウィンドウに移動します。

画像プレビューコントロール

- 画像がリスト形式で表示されます。ここで画像を選択できます。
-  ボタンをクリックすると、選択した画像を USB フラッシュドライブに保存します。 ボタンをクリックすると、画像をスライドショーで表示できます。
-  ボタンを押して、プレビューコントロールウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。
 -  ボタンを押して一時停止し、 ボタンを押すとスライドショーを再開します。
 -  ボタンを押して、前のスナップショットまたはスナップショットのグループを表示します。
 -  ボタンを押して、次のスナップショットまたはスナップショットのグループを表示します。
 -  ボタンをクリックすると、1 度に 1 つのスナップショットを表示します。 ボタンをクリックすると、1 度に 4 つのスナップショットを表示します。



6.7 検索 - IVS

AI 機能を使用し、顔画像、人や車両の画像を利用して録画データの検索が可能です。

6.7.1 顔検索 & 再生

設定項目内、AI>統計>顔認識から **顔検索** をクリックするか、[検索]  をクリックしてから、IVS ページで顔タブ **顔** をクリックします。検索したい範囲の Time、グループ、チャンネル、属性を設定し **検索** をクリックすると、設定した範囲で検出している顔画像が、[検索結果フィールド] に全て表示されます。

属性：事前に顔検出の設定で顔属性を「有効」に選択しておく、顔画像に対して、性別、年齢、マスクの有無、眼鏡の有無、表情を選択し、検索の条件に指定することが出来ます。





比較顔画像の追加: クリックすると 内蔵ストレージまたは外部ストレージを選択して、検索したい顔画像を設定できます。

顔画像を設定すると、[比較対象フィールド] に顔画像が追加されます。追加した顔画像から、検索したい顔画像にチェックを入れ**検索**をクリックすると、[検索結果フィールド]に、条件に該当する顔画像だけが表示されます。

類似性%の数値を変更すると、比較用の顔画像との一致性を調整して検索することが出来ます。

内蔵ストレージからの追加:

内蔵ストレージに保存している顔画像から、検索したい画像を選択できます。

各リスト内にて検索したい顔画像にチェックを入れ、**検索**をクリックすると比較顔画像を追加できます。
[リストについて]

- (グループ名): データベースにプロフィール登録している各顔画像から追加できます。

- 写った顔: 任意の期間、チャンネル、類似性から対象範囲内の顔画像を絞り追加できます。

- よく使われる: 過去に検索した顔画像の履歴が表示されます。履歴から再度追加できます。



外部ストレージからの追加:

外部ストレージを選択すると、USB フラッシュメモリなどから比較する顔写真を追加できます。



手動比較: [検索結果フィールド]の任意の顔画像にチェックを入れ、**手動比較** Manual Compare をクリックすると、比較顔画像に追加できます。

顔画像は複数同時に選択し追加することができます。



[検索結果フィールド]に表示された顔画像のサムネイルをクリックすると、左下の[再生フィールド]にてプレビュー再生ができます。サムネイルをダブルクリックすると、再生画面に遷移します。

注意)

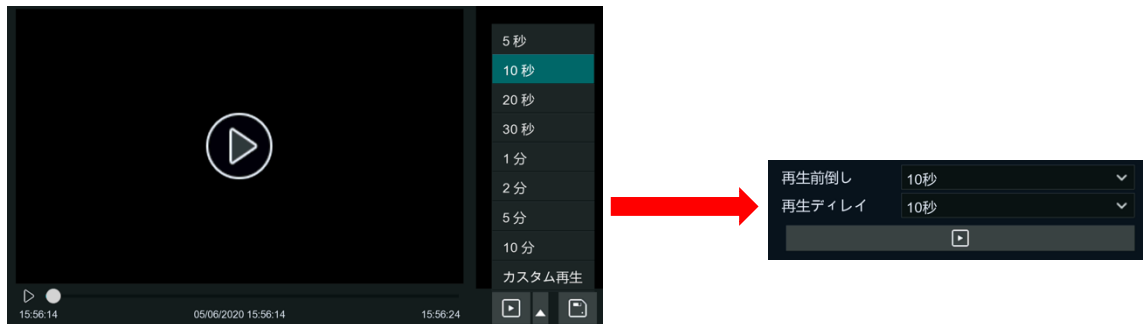
動画記録データと顔画像の保存期間は一致しません。そのため顔画像のサムネイルから再生しようとした場合に動画が再生できない可能性があります。(「レコードなし」と表示されます)

【操作パネル】

画面下端の操作パネルで各種操作が可能です。



- ▶：顔画像のサムネイルにチェックを入れクリックすると、動画データを再生します。
- ▲：顔画像のサムネイルにチェックを入れクリックすると、プルダウンメニューに時間が表示されます。時間をクリックすると、顔画像を検出した時間から該当の時間を遡って再生を開始できます。再生画面では、再生前倒しと再生ディレイで再生したい前後の時間を設定できます。



- 📁：顔画像のサムネイルにチェックを入れクリックすると、データのバックアップができます。
イメージ：選択した顔画像をバックアップします。
録画：選択した顔画像を含む録画データをバックアップします。バックアップの種類、再生前倒しと再生ディレイにてバックアップしたい前後の時間を設定し、[保存]をクリックすると録画データが USB デバイスにバックアップされます。

セレクトした数：選択している顔画像の数を表示します。
ブラウズタイプ：[検索結果フィールド]の表示方法を切り替えます。(サムネイル 1/2、リスト表示)
例)サムネイル 2

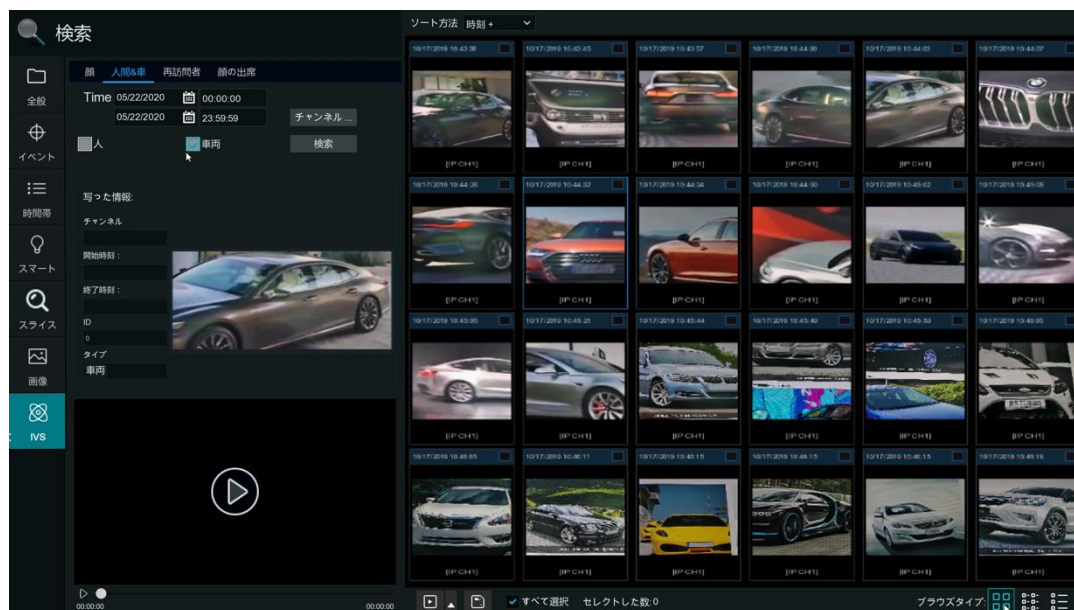


6.7.2 人&車両 検索

[検索]  をクリックしてから、IVS ページ、「人&車」タブをクリックします。Time、警戒[PID,LCD,PD]、チャンネル、検索対象(人・車両)を設定し**検索**をクリックすると、設定した範囲で検出している人・車両の画像が、[検索結果フィールド]に全て表示されます。



☒ ヒット ☒ 車両: 検索する対象を人・車両から選択できます。



[検索結果フィールド]に表示された顔画像のサムネイルをクリックすると、左下の[再生フィールド]にてプレビュー再生ができます。サムネイルをダブルクリックすると、再生画面に遷移します。

注意)

動画記録データと画像の保存期間は一致しません。そのため画像のサムネイルから再生しようとした場合に動画が再生できない可能性があります。(「レコードなし」と表示されます)

6.7.3. 再訪問者

再訪問者ページでは、類似性が一致する顔が何回撮影されたかを検索することができます。Time、グループ、チャンネル、属性、最小間隔、類似性を設定し、**検索**をクリックすると、類似性が一致する顔ごとに画像が一覧で表示され、各サムネイル画像の下部に撮影された回数が表示されます。

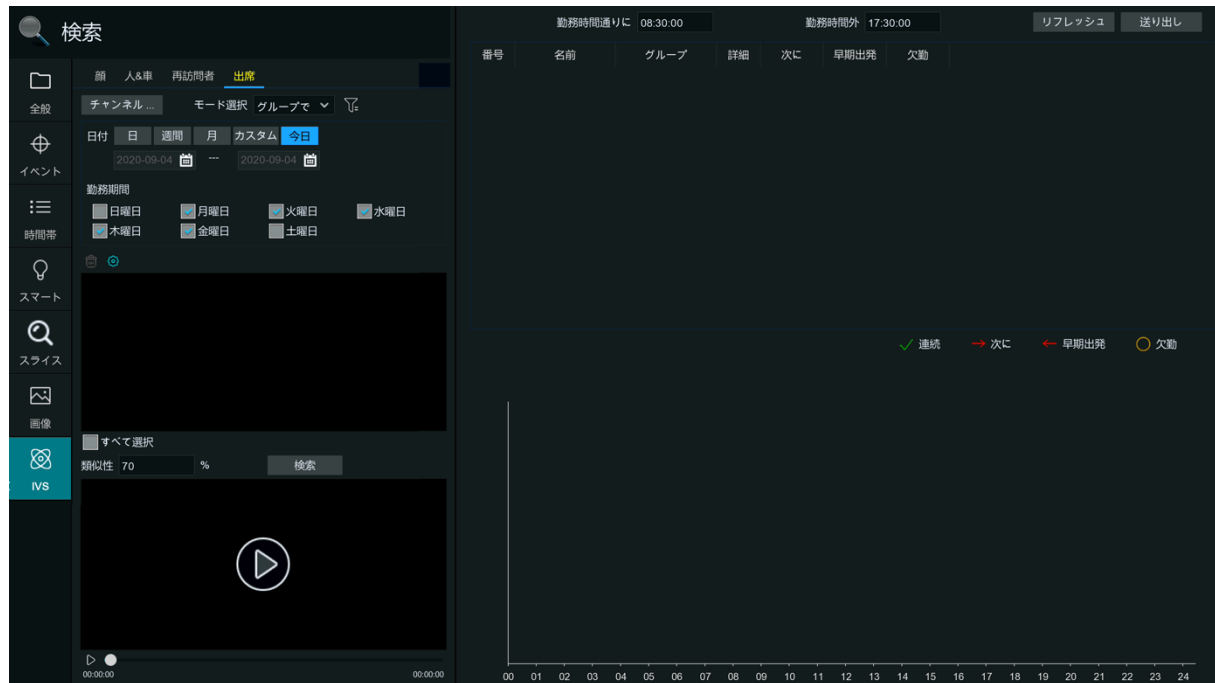
また[最小発生率]の数字を変更すると、設定した数値以上撮影した顔画像だけが表示されます。



リストに表示されたサムネイル画像をクリックすると、ページ左下で録画イベントを再生します。また、撮影された回数分のログが一覧で表示され、各ログの再生ボタンを押すとそのイベントの録画データが再生できます。

6.7.4 顔の出席

顔の出席ページでは、データベースに登録している顔の日々の撮影状況を管理し、勤怠管理などに活用することができます。



チャンネル: 検索が必要なチャンネルを選択します。

モード選択: 検索したいデータベース上の顔を**グループ別**、**個人別に**のどちらかで選択できます。

🔍: フィルターアイコンをクリックして検索したい対象のグループ、または個人を選択しチェックします。

日付: 確認したい期間の単位を選択できます。

日: クリックするとカレンダーが開きます。確認したい日付を選択します。

週間: クリックするとカレンダーが開きます。確認したい週に該当する日付を選択します。選んだ日付を対象に、月曜日を週初めとした期間が自動的に設定されます。

月: クリックするとカレンダーが開きます。確認したい月に該当する日付を選択します。選んだ日付を対象に、月始めの1日からの期間が自動的に設定されます。

カスタム: カスタムを選択した場合、検索するカレンダーに開始日と終了日を設定できます。

今日: クリックして検索すると、当日中のイベントを検索できます。

勤務期間: 出席状況を定義する曜日を選択します。チェックを入れている曜日は出席状況を確認する曜日の対象となります。チェックを外している曜日は出席状況を確認しない曜日と定義されます。

勤務時間通りに/勤務時間外: 出席状況を定義する1日の時間を定義します。

【勤務時間通りに】は出席開始の時間を、【勤務時間外】は退席の時間を設定します。

各設定を定義し検索をクリックすると、画面右に結果が表示されます。

結果画面は設定した期間に応じて、日毎に撮影状況が表示され、右端に統計結果が表示されます。



○欠勤: その日に撮影されなかった場合、[欠勤]となります。

✓連続: 出席開始時刻、退席時刻がいずれも時間通りに撮影できた場合は[連続]となります。

また[勤務期間]で設定していない曜日は、出席を確認しない曜日に定義されるため[連続]となります。

→次に:[勤務時間通りに]で設定した時間を超えて撮影された場合、遅刻扱いとなり[次に]となります。

←早期出発:[勤務時間外]で設定した時間より早く撮影された場合、早退扱いとなり[早期出発]となります。

また、集計結果で任意の個人をクリックすると、画面下に日毎に撮影された時間帯の詳細が表示されます。撮影された時間は色でマークされます。

リフレッシュ: クリックすると、現在のページのデータが更新されます。

送し出し: クリックして統計リストを外部ストレージに送し出し、*.csv ファイルを保存します。開いている*.csv ファイルはコンピューターを使用して顔の出席検出リストのすべての統計データを確認することができます。

6.8 フィルター

トップモニタリング画面の右上隅にフィルターツールが表示されます。マウスカーソルを画面右端に移動すると、フィルターツールがポップアップします。なお他のメニュー操作中はこの操作を行ってもフィルターツールは表示できません。またアラームイベントが発生すると、フィルターツールが表示されます。フィルターツールは 5 秒後に自動的に非表示になります。

6.8.1 フィルターツールボタン

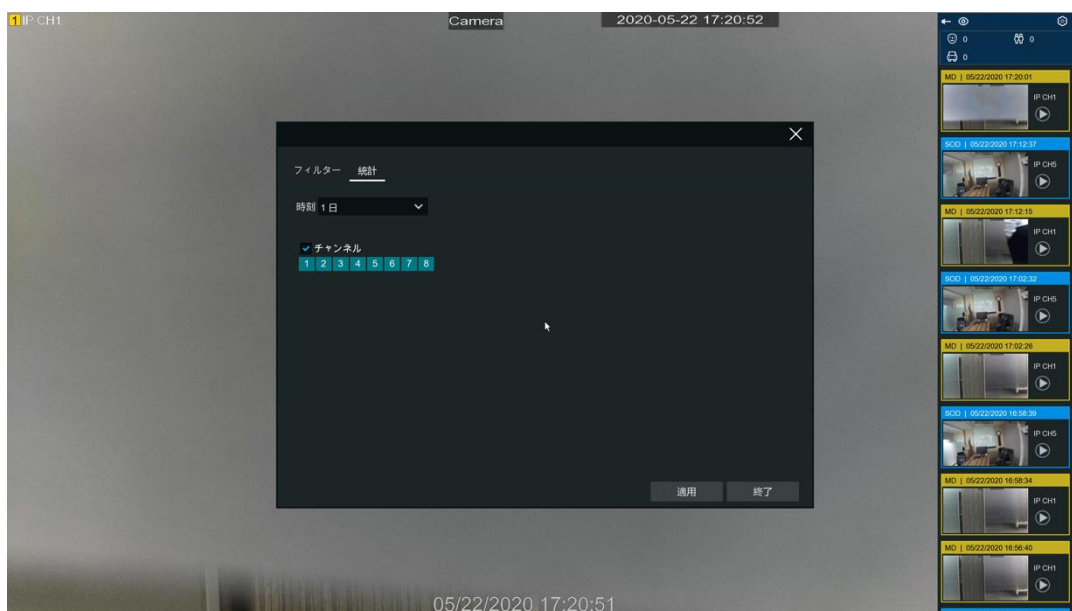


-  : フィルターツールが表示/非表示に切り替わるようになります。
-  : フィルターツールが固定して表示されます。(非表示になりません。)
-  : 下のイベントリストの表示/非表示を切り替えます。クリックすると、下のイベントリストが非表示になります。もう一度クリックすると表示されます。
イベントリストではイベントのサムネイルをクリックすると、該当の録画データが再生されます。
-  : アイコンをクリックすると AI 統計情報表を表示します。
-  : アイコンをクリックするとフィルターリストを表示します。各イベント、チャンネルごとに、イベントリストへの表示/非表示を切り替えることが出来ます。変更した場合は[適用]をクリックして保存します。

6.8.2 フィルターツール統計

⚙️アイコンをクリックしてフィルターリストを表示し、[フィルタ]タブをクリックするとフィルタツールに表示されるアラームを選択します。全アラームを表示することができ、選択された機能の検出時のアラームを表示する。[統計]タブをクリックすると、リスト上のイベント統計の期間とチャンネルが選択できます。

変更した場合は[適用]をクリックして保存します。



チャンネルバーツールで AI や他イベントの統計数を確認できます。

統計時間範囲選択:

統計をとる期間を設定できます。

フィルター 統計

時刻 3日 ▼

- 1日
- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 6日
- 7日
- 週間
- 月
- 年

機能ごとに合算表示されます。

AI統計情報:	
顔	40
人	0
車両	0
境界侵入 [人]	1683
境界侵入 [車両]	13
ライン横断 [人]	2089
ライン横断 [車両]	0

例)上記イメージの場合

顔認識 40、人検知数(HD) 0、車両認知数(VD) 0、

ヒトの PID(侵入検知)数(PID) 1683、車両 PID(侵入検知)数(PID) 13

ヒトの LCD(ラインクロス検知)数(LCD) 2089、車両の LCD(ラインクロス検知)数(LCD) 0

Chapter 7 ウェブクライアントによるリモートアクセス

Web クライアントを使用すると、PC を介していつでも NVR にリモートアクセスできます。Web クライアントにアクセスする前に、NVR のインターネット設定が適切に構成されていることを確認する必要があります。

7.1 システム環境条件

Web クライアントの実行に必要なハードウェアと OS の最小要件は次のとおりです。

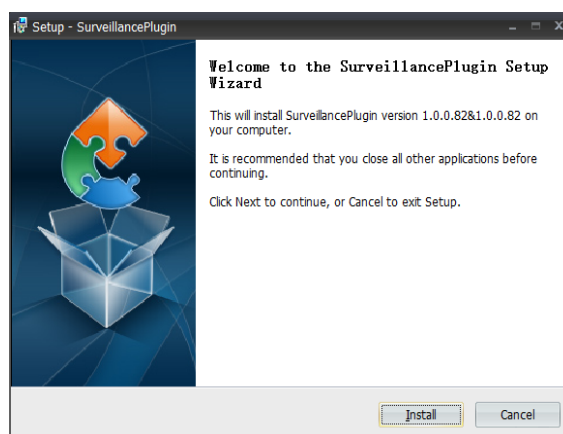
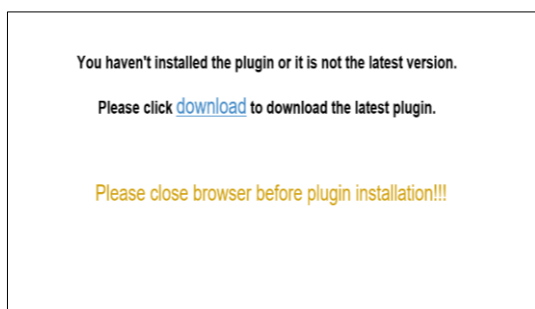
アイテム	最小	おすすめ
CPU	Intel® Core™ i5 CPU	Intel® Core™ i5 CPU or higher
RAM	4G 以上	8G 以上
ハードドライブ	500G 以上	1000G 以上
RAM 表示	2G 以上	4G 以上
解像度表示	1280*1024	1920*1080
OS	Windows 7 or above Mac OS X® 10.9 or above	
DirectX	DirectX 11	
Direct3D	加速機能	
イーサネットアダプター	10/100/1000M イーサネットアダプター	
IE	Microsoft Internet Explorer (Ver. 11,10,9,8). Edge はサポートされていません。	

7.2 ウェブプラグインのダウンロードとインストール

Web クライアントにアクセスするには、次の操作を行います。

IE の場合:

1. PC でエクスプローラを起動し、NVR で設定した NVR IP(<http://IP アドレス:ポート番号>)アドレスまたは DDNS ドメイン名(<http://ホスト名>) を URL ボックスに入力します。
2. Web クライアントを初めて実行するときは、システムに Web クライアントプラグインをインストールする必要があります。ダウンロードをクリックしてプラグインをダウンロードし、PC にインストールします。



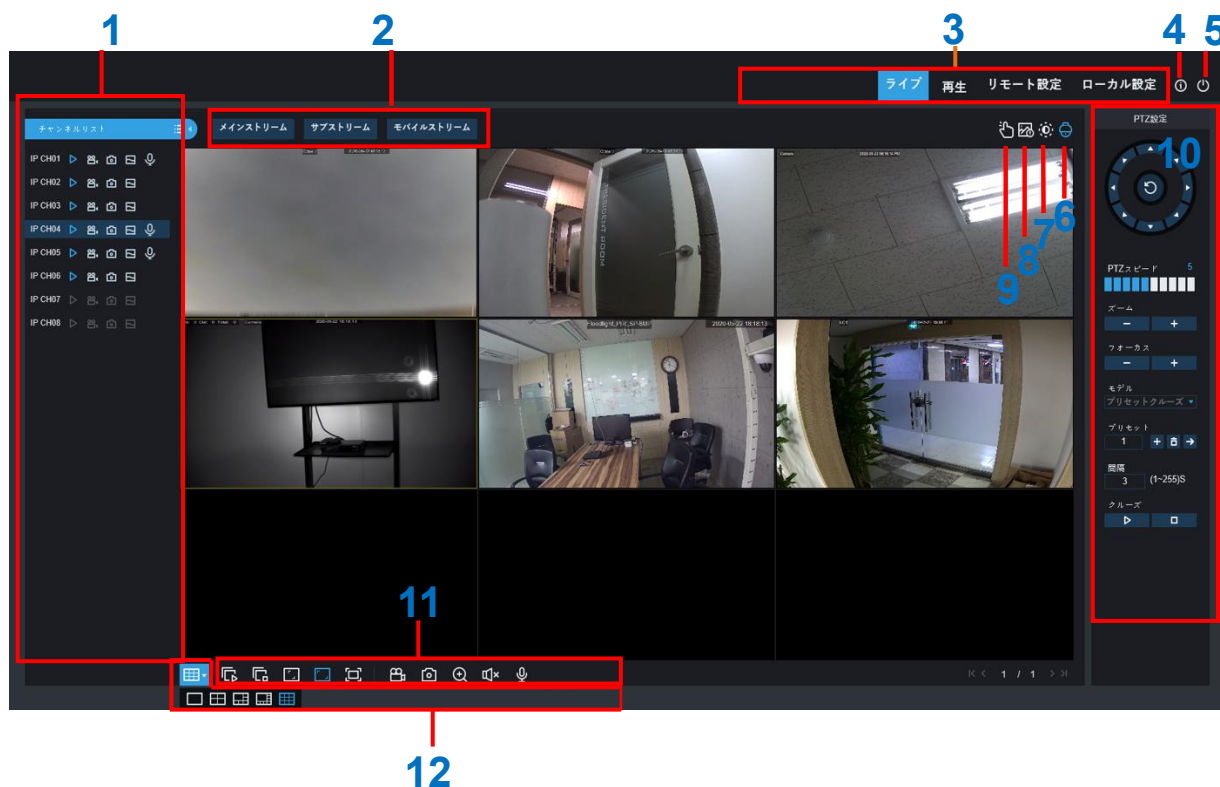
3. プラグインをインストールしたら、ブラウザを閉じて再度起動し、手順 1 を繰り返してログインページを開きます。ユーザー名とパスワードを入力して、Web クライアントにログインします。



7.3 ビューア操作

7.3.1 ライブインターフェース

Web クライアントにログインすると、はじめにライブ画面を表示します。ここでは、ライブプレビューの表示/非表示、PC への手動録画、画面のスナップショット、PTZ コントロール、カメラの映像補正などを行うことができます。



1- **チャンネルリスト**:チャンネルリストを開き、カメラのクイック機能が利用できます。

≡▶ ボタンをクリックしてチャンネルリストを非表示します。

≡◀ ボタンをクリックしてチャンネルリストを表示にします。

▶ ▶ ライブビデオストリームのオン/オフを切り替えます。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色になります。

📹 手動録画ボタン。クリックして、ライブストリームビデオの手動録画を開始します。もう一度クリックすると、録画が停止します。録画データは利用中の PC に保存されます。録画中は、ボタンは青色になります。

📷 手動スナップショットボタン。クリックすると、現在のライブ映像のスナップショットが PC に保存されます。

📺 ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、モバイルストリームの中から表示するストリームを切り替えることができます。

🔊 ライブオーディオストリームのオン/オフを切り替えます。ライブオーディオストリームがオンの場合、ボタンは青色になります。

- 2- **ライブビデオストリームオプション:** 表示中のライブ映像のストリームを一括で変更できます。
- メインストリーム:** 高品質のメインストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。
- サブストリーム:** 中品質のサブストリームビデオ設定を使用して、すべてのライブビデオを表示します。
- モバイルストリーム:** 低品質のモバイルストリームビデオ設定を使用してすべてのライブビデオを表示し、使用するネットワークの帯域幅を抑えます。
- 3- **メインメニュー:**
- ライブ:** ライブ画面を表示します。
- 記録再生:** NVR の HDD に保存されている録画データを再生します。
- リモート設定:** NVR の設定メニューを表示します。
- 現地設定:** Web クライアントを使用して保存する録画データとスナップショットのダウンロード場所を設定し、作成するファイルのファイルタイプを選択します。
- 4- **情報:** ログインしているユーザーアカウント、プラグイン情報を表示します。
- 5- **ログアウト:** アクセス中の Web クライアントからログアウトします。
- 6- **PTZ 設定:** PTZ 操作のコントロールパネルを表示します。



PTZ 方向制御と自動スキャンボタン

PTZ 速度調整
ズーム調整+, -
FOCUS 調整 +, -



- 7- **カラー:** カメラの映像補正を表示します。
- 色相:** ビデオの色合を調整します。
- 明るさ:** ビデオの明るさを調整します。
- コントラスト:** ビデオのコントラストを調整
- 彩度:** ビデオの彩度を調整します。

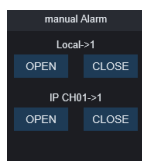
します。

- 8- **AI Alarm:** AI アラームイベントツールを表示します。クリックすると、リアルタイムに AI イベントが表示されます。



- 9- **Manual Alarm:** 手動アラームコントロールパネルを表示します。
- 手動アラームボタン

PC から手動で各アラームインターフェースのオープン/CLOSE を切り替えることができます。



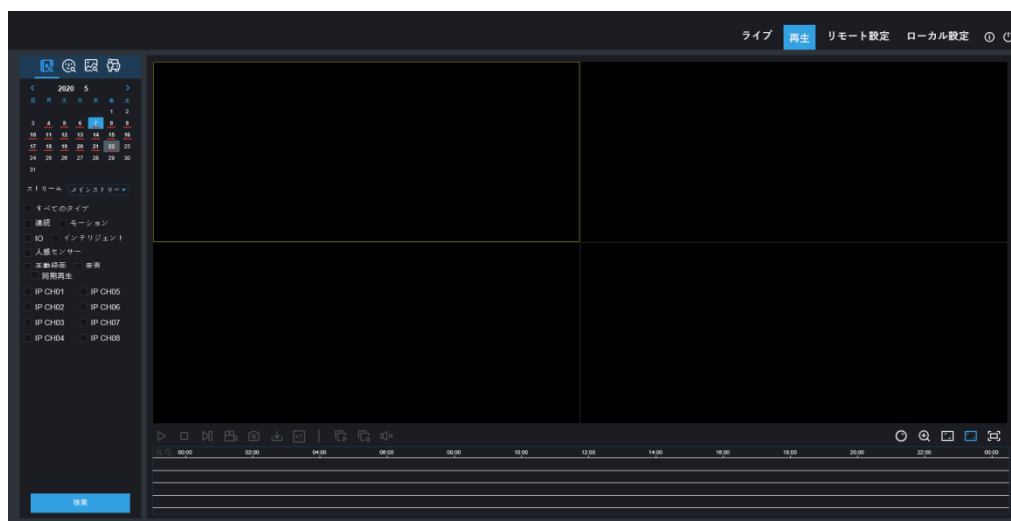
10- 制御用 UI: ここでは 6/7/8/9 で各選択したアクションウィンドウが表示されます。

11- ステータスバー

-  すべてのチャンネルのライブ映像を表示します。
-  すべてのチャンネルのライブ映像を停止します。
-  オリジナルのアスペクト比に固定します。
-  映像の枠に合わせて画面をストレッチします。
-  クリックして、現在のウィンドウを全画面表示にします。キーボードの ESC キーで全画面表示を終了できます。
-  録画スイッチ: 利用中の PC にカメラ映像を手動録画します。機能を有効にすると、指定した場所に録画データを自動保存します。
-  スナップショット: 利用中の PC にカメラ映像のキャプチャーを保存します。クリックすると、指定した場所にキャプチャーを保存します。
-  デジタルズーム
-  音量調節
-  音声インターコム

7.3.2 再生

NVR の HDD に保存されている録画ファイルを検索、再生することができます。
また録画ファイルを PC のローカルディレクトリに保存できます。



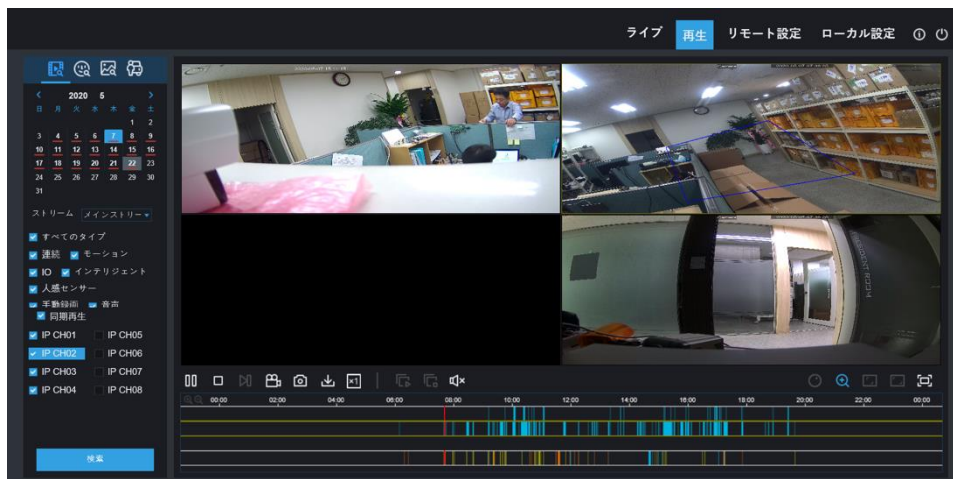
Playback をクリックして再生インターフェイスに入り、NVR HDD のレコードをリモートで表示します。1~4 チャンネルのレコード再生をサポートしています。

7.3.2.1 再生検索



基本的な再生手順

再生したい日付、Stream タイプを選択します。録画データが残っている日付には赤い下線が表示されます。



次に、レコードタイプ(全て、一般(連続録画)、モーション、IO、スマート(AI)、PIR、マニュアル録画、SoundAlarm、レンズ遮光)と、検索、及び再生したいチャンネルを選択します。再生は、最大で同時に 4 チャンネルまで可能です。

同期記録再生 を選択すると、複数のチャンネルの再生を同時に行います。

同期記録再生 を選択している場合は、各チャンネルの再生を個別に行います。

時間軸上で、再生したいチャンネルをクリックして選択することで、該当のチャンネルが再生できます。

次に **検索** をクリックすると、時間軸パネルに、検索対象の録画ファイルが表示されます。時間軸上では、**緑の帯**は連続録画、**青い帯**はスマート録画、**赤い帯**はアラーム録画、**黄色の帯**はモーション録画を示しています。色がついていない部分は録画データが存在しないことを示しています。また、オレンジ色になっている場合は、複数のイベントが同時に発生していることを表しています。

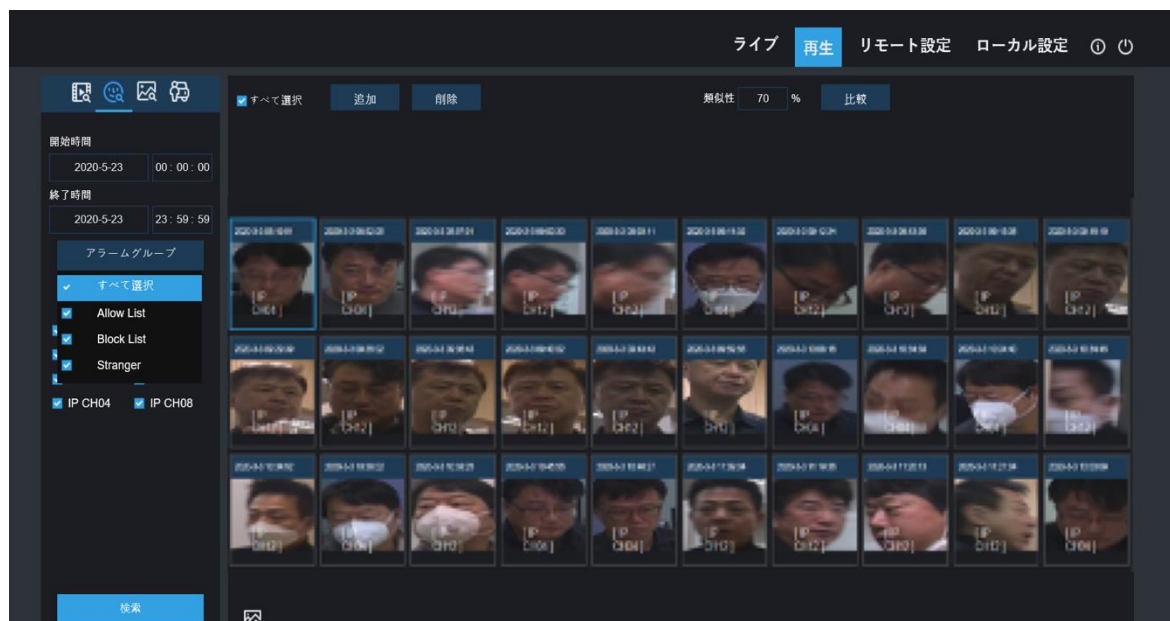
- をクリックすると、録画の再生が開始されます。時間軸上の任意の時間帯をクリックすると、その時間から再生を始めます。またマウスホイールをスクロールすると、タイムラインの表示時間の倍率を変更することができます。

注意)

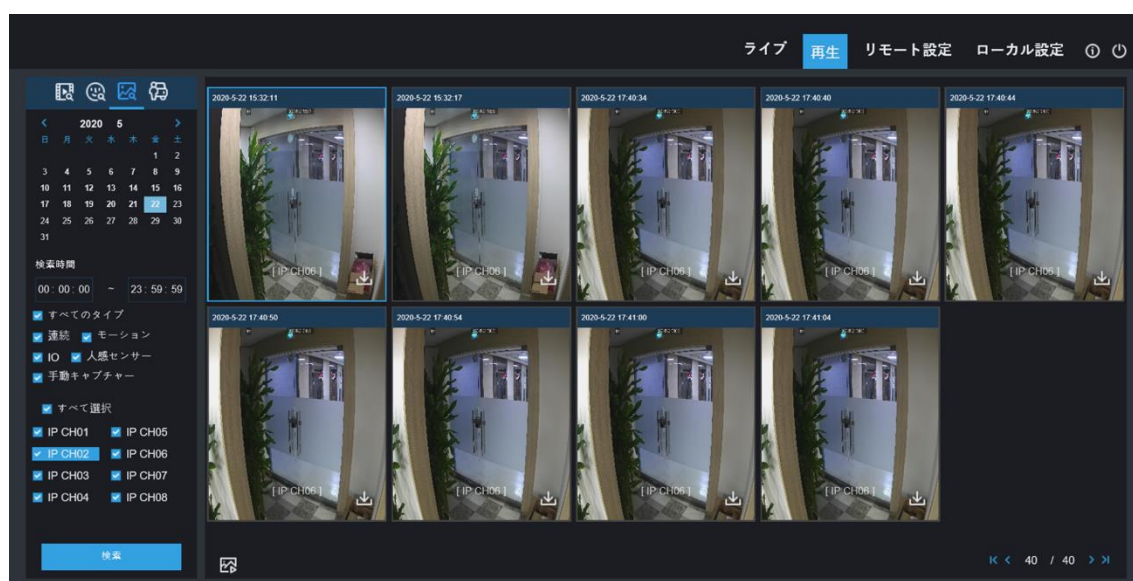
再生中は検索操作が出来ません。検索内容を変更して検索したい場合は、事前に再生を停止し操作してください。



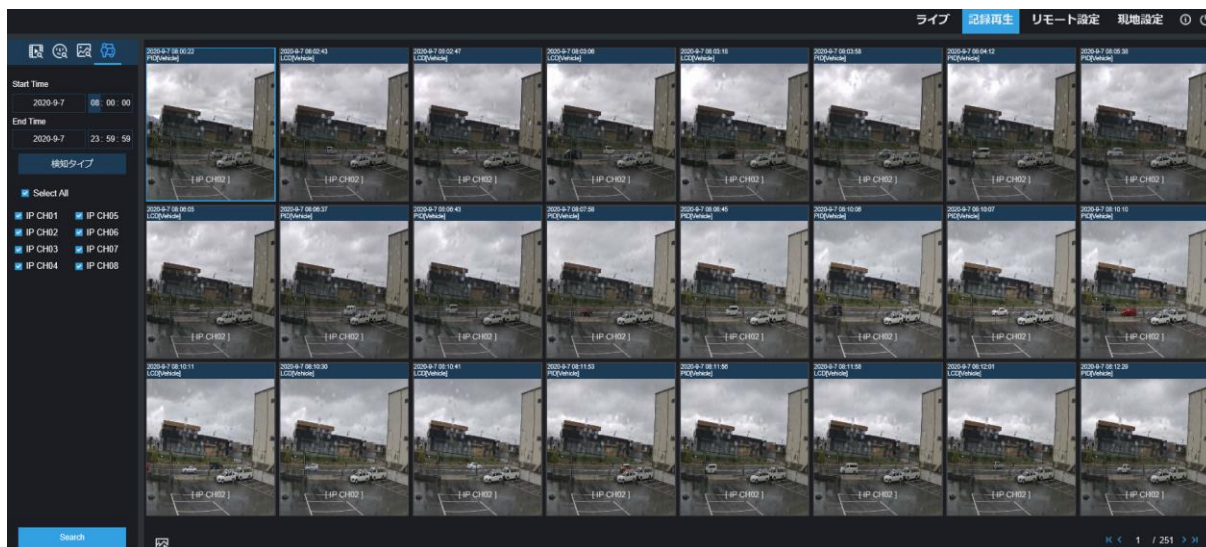
顔認証: 6.7.1 NVR の顔検索で検索します。



画像: 6.6 NVR の画像検索で検索します。



 **人&車両** 6.7.2 NVR の人&車両 検索で検索します。

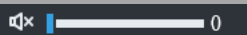


7.3.2.2 再生コントロール

再生コントロールバー



詳細な説明は以下のリストに示されています。

キー	説明	キー	説明
	再生		音量スイッチを有効にする
	一時停止		音量調節バー
	停止		低速再生1 / 2、1 / 4、1 / 8、高速再生1/2/4/8
	フレームごと		デジタルズーム
	録画クリップ		元の比率
	スナップショット		ストレッチ
	ダウンロード		全画面表示
	すべてチャンネルを再生する		すべての再生を停止する

レコードファイルクリップ

再生中に  アイコンをクリックすると、ファイルのクリップを開始します。もう一度クリックして、クリップを停止します。録画クリップファイルは現地設定で設定した PC のディレクトリに保存されます。

スナップショット

キャプチャーするチャンネルにマウスのカーソルを移動し、アイコンをクリックして、ライブ画像をリモートでキャプチャーします。画像を成功的にキャプチャーすると、パスプロンプトボックスが表示されます。キャプチャーされたファイルは.bmp 形式で保存されます。

録画ファイルダウンロード

コントロールバーのダウンロードアイコン「」をクリックすると、チャンネルの検索条件に従って、一致する全てのレコードファイルが表示されます。

		開始時間	終了時間	状態	ファイルサイズ
1		2020-05-13 12:42:40	2020-05-13 12:47:34	ダウンロードされていませ	220.55M
2		2020-05-13 12:47:34	2020-05-13 12:53:12	ダウンロードされていませ	253.51M
3		2020-05-13 12:53:12	2020-05-13 12:58:50	ダウンロードされていませ	253.54M
4		2020-05-13 12:58:50	2020-05-13 13:04:28	ダウンロードされていませ	253.75M
5		2020-05-13 13:04:28	2020-05-13 13:10:06	ダウンロードされていませ	253.49M
6		2020-05-13 13:10:06	2020-05-13 13:15:20	ダウンロードされていませ	235.59M
7		2020-05-13 13:16:10	2020-05-13 13:16:34	ダウンロードされていませ	18.38M
8		2020-05-13 13:16:34	2020-05-13 13:17:26	ダウンロードされていませ	40.61M
9		2020-05-13 13:18:02	2020-05-13 13:18:42	ダウンロードされていませ	31.44M
10		2020-05-13 13:21:46	2020-05-13 13:22:26	ダウンロードされていませ	31.43M

10 ▾

1 / 10

から表示 1 to 10, 合計 95. 1ページあたり : 10

ダウンロード開始

ダウンロード停止

ダウンロードしたい録画ファイルをチェックして[Start Download]をクリックすると、録画ファイルを順番にダウンロードし、PC に保存します。ダウンロードを開始すると、ステータスにパーセンテージ形式で表示され、ダウンロードが完了すると、ステータスバーに「完了」と表示されます。

7.3.3 リモート設定

ここでは NVR をリモートで設定することができます。詳しくは“[Chapter 5 スタートメニュー](#)”をご覧ください。



7.3.4 現地設定



録画位置: PC のドライブに手動録画ファイルを保存するパスを設定します。

ダウンロード位置: NVR から録画ファイルをダウンロードする PC のドライブのパスを設定します。

スナップショット位置: PC のドライブにスナップショットを保存するパスを設定します。

ファイルタイプ: 手動録画で保存するファイルのファイルタイプを選択します。

Capture Type: スナップショットで保存するファイルのファイルタイプを選択します。

設定した内容を保存するには[保存]をクリックして変更を保存します。

Chapter 8 Appendix

8.1 トラブルシューティング

1. Q: システムが HDD を検出しない場合はどうすればいいですか？

A: 電源システムが正しく接続され、データケーブルと電源ケーブルがしっかりと接続されているか、HDD インターフェイスに問題がないかを確認します。またご利用の HDD が本機にサポートされていることを確認してください。

2. Q: パスワードを変更しましたがパスワードを忘れました。システムにアクセスするにはどうすればよいですか？

A: システムパスワードを忘れた場合は、当社技術員にご相談ください。製品のセキュリティ上、初期パスワードの変更をお勧めします。特にセキュリティが厳しい場合は、単純なパスワードは設定しないでください。

3. Q: NVR とカメラを一緒に接続すると、異常なビデオ信号が表示される、またはビデオ信号がまったく表示されません。両方のデバイスの電源は問題ありません。なにが問題ですか？

A: NVR 側のネットワークケーブルをチェックして、ケーブルがしっかりと接続され、摩耗していて交換する必要があるか、NTSC または PAL が一貫して選択されているかを確認してください。

4. Q: NVR が熱の影響を受けるのを防ぐ方法は何ですか？

A: NVR を稼働中に十分に放熱をする必要があります。NVR の安定性と障害を防ぐために、周囲の環境をご確認の上、熱源から離れた場所に設置してください。

5. Q: PC から HDD を取り出して、NVR にインストールしたいです。できますか？

A: システムがサポートするすべての HDD を使用できます。ただし、NVR が実行されると、HDD 上のデータは失われます。

6. Q: 録画しながら再生できますか？

A: はい。システムは、録画しながら再生する機能をサポートしています。

7. Q: NVR の HDD から一部の録画を削除してもいいですか？

A: ファイルのセキュリティを考慮して、一部の録画を削除しない場合があります。すべての録画を削除する場合は、HDD をフォーマットできます。

8. Q: なぜ NVR クライアントにログインできないのですか？

A: ネットワーク接続設定が正しく、RJ-45 ポートが適切に接続されているかを確認してください。また、アカウントとパスワードが正しく入力されているか確認してください。

9. Q: 再生中にレコードが見つからないのはなぜですか？

A: HDD のデータライン接続に問題がなく、システム時刻が適切に調整されていることを確認してください。何回か試した後、再起動してください。それでも作動しないと HDD が壊れていないか確認してください。

10. Q: NVR が PTZ を制御できないのはなぜですか？

A: 以下のことを確認してください。

- a) 前面の PTZ が故障しています。
- b) PTZ デコーダーの設定、接続、インストールが正しくありません。
- c) NVR の PTZ 設定が正しくありません。

- d) PTZ デコーダーのプロトコルが NVR のプロトコルと一致しません。
- e) PTZ デコーダーのアドレスが NVR のアドレスと一致しません。
- f) 多くのデコーダが接続されている場合、反射抑制とインピーダンスマッチングを実現するために PTZ デコーダの AB ラインの最も遠い側に 120 Ω の抵抗を追加するはずですが、そうしないと、PTZ 制御が不安定になります。

11. Q: モーション検出が作動しないのはなぜですか？

A: モーション検知時間とモーション検知地域の設定が正しいか、感度の設定が低すぎるかを確認してください。

12. Q: なぜアラームが機能しないのですか？

A: アラーム設定、アラーム接続、アラーム入力信号が正しいか確認してください。

13. Q: ブザーが鳴り続けるのはなぜですか？

A: アラーム設定を確認し、モーション検出機能が有効になっていて、オブジェクトのモーションが常に検出されているかおよび I / O アラームが[常にオフ]に設定されているかを確認してください。また、該当する HDD アラーム設定を参照してください。

14. Q: 「停止」ボタンを押したりメニューの「録画停止」をクリックして録画を停止できないのはなぜですか？

A: [停止]または[録画の停止]を押すと、手動録画のみ停止できます。特定の時間単位で予約録画を停止する場合は、設定を[録画なし]に変更してください。スタートアップ録画を停止するには、録画モードを予約録画または手動録画に変更してください。その後、規定された方法で録画を停止することができます。録画を停止する他の方法は、録画設定でチャンネルをオフステータスに設定することです。

8.2 使用メンテナンス

1. NVRをシャットダウンするには、まずシステムをシャットダウンしてから電源をオフにしてください。直接電源を切らないでください。HDDのデータの消失や破損の恐れがあります。
2. NVRを熱源から遠ざけてください。
3. 内部のほこりを定期的に掃除してください。また放熱するために、NVR設置場所の通気性を確認してください。
4. オーディオおよびビデオケーブル、またはRS-232やRS-485などのポートに接続されたケーブルをホットプラグしないでください。そうしないと、ポートが損傷します。
5. HDDケーブルとデータケーブルが古くなっていないか定期的にチェックしてください。
6. NVRのオーディオおよびビデオ信号が他の電子機器に干渉されたり、HDDが静電気や誘導電圧によって損傷したりしないようにしてください。ネットワークケーブルが頻繁に差し込まれる場合は、接続線を定期的に交換することをお勧めします。そうしないと、入力信号が不安定になる可能性があります。

このドキュメントの内容は、当社の知的財産です。

このマニュアルのいかなる部分も、当社の部門による事前の書面による許可なくいかなる形式または人によっても複製、コピー、翻訳、送信、または公開することはできません。

当社の製品は継続的に改善されており、予告なしに変更を加える権利を留保しています。ただし、その内容の正確性については保証されません。

当社の製品を使用することにより引き起こされる危害に対して、当社は一切の責任を負いません。

取扱説明書に記載されている製品のモデルは認識用ですが、他社の登録商標または著作権である可能性もあります。

製品の写真は実際の製品と異なる場合があります。製品の付属品が異なる可能性があります。付属品の詳細については、最寄りの代理店にお問い合わせください。

著作権所有